

城陽市の教育

平成 29 年度
(2017 年度)

京都府城陽市教育委員会

市章

城の文字と太陽のイメージを合わせたもの
昭和 30 年（1955 年）4 月 26 日、町制施行 4 周年を機に制定。



市の木 「梅」

昭和 47 年（1972 年）10 月 24 日、市制施行を記念し制定。



市の花 「花しょうぶ」

昭和 57 年（1982 年）11 月 7 日、市制施行 10 周年を記念し制定。



市の鳥 「しらさぎ」

平成 19 年（2007 年）11 月 7 日、市制施行 35 周年を記念し制定。



城陽市民憲章

昭和 57 年（1982 年）11 月 7 日制定

かぐわしい梅の香りと清らかな水のわがふるさとを愛し、先人の遺した文化を育み、平和でかがや
かしい城陽の未来を創造するために わたくしたち城陽市民は

1. 自然を生かし 美しい緑を育てましょう
1. 教養を深め 豊かな文化をつくりましょう
1. 心身を鍛え 働く喜びを大切にしましょう
1. 隣人を愛し ふれあいの輪を広げましょう
1. 秩序を守り やすらぎのまちを築きましょう

城陽市平和都市宣言

昭和 61 年（1986 年）12 月 23 日宣言

世界の恒久平和と安全は、人類共通の願いであり、核兵器の廃絶と軍備の縮小は、全人類ひとしく
希求しているところである。

わが国は、唯一の被爆国として、非核三原則の堅持はもとより、再び戦争による惨禍を繰り返して
はならない。

国際平和年にあたり、わが城陽市は、憲法に基づいて自由と平和を愛し、思想・信条を越え
て、永遠の平和都市であることをここに宣言する。

目 次

城陽市の概要

1. 自然環境	1
2. 歴 史	1
3. 人口・世帯数の推移	2
4. 教育の沿革（戦後）	3

教育行財政

1. 教育委員会	14
2. 教育委員会評議会	17
3. 教育委員会事務局・教育機関	18
4. 予算・決算	23

学校教育

1. 学校教育指導の指針	26
2. 園児・児童・生徒数	40
3. 教職員数	42
4. 通学区域	44
5. 教科書	46
6. 進路状況	47
7. 特別支援学級	48
8. 就学（園）奨励	50
9. 学校安全	52
10. 学校施設の概要	55
11. 奨 学 金	57
12. 学校給食	58

生涯学習

1. 生涯学習の推進	62
2. 生涯学習推進会議委員	63

社会教育

1. 社会教育の重点	64
------------	----

2. 社会教育委員	69
3. 社会教育施設等の概要	70
4. 社会教育関係団体	71
5. 生涯学習事業等概要	72

社会体育

1. スポーツ推進委員	75
2. 社会体育事業	76
3. 社会体育施設等の概要	77

青少年行政

1. 施策体系	78
2. 生徒指導	79
3. 健全育成	83

文化財

1. 文化財保護	88
2. 歴史民俗資料館	95
3. エコミュージアム	100

図書館

1. 図書館	108
2. コミセン図書室	109
3. 利用状況	110

資料

その他の教育関係施設	114
------------	-----

城陽市の概要

1. 自然環境
2. 歴史
3. 人口・世帯数の推移
4. 教育の沿革（戦後）

城陽市の概要

1. 自然環境

城陽市は、京都と奈良のほぼ中間、山城盆地に位置する東西 9.0 km、南北 5.4 km、総面積 32.74k m²、年平均降水量 1,300 mm前後、平均気温 16 度の瀬戸内気候に属した温暖な都市である。

地形はおおむね平坦で、東に高く西に低くなっており、市の西端を木津川が流れている。

なお、市役所は、東経 135 度 47 分、北緯 34 度 51 分にある。

位置	北緯 34° 51'
	東経 135° 47'
面積	32.74km ²
市域	東西 9.0km
	南北 5.4km
海拔	最高 430.2m
	最低 13.0m



2. 歴史

城陽における最も古い人類の足跡は、旧石器時代にさかのぼることができる。また、縄文時代後期の史跡森山遺跡では、住居の跡とともに土器や石器が多数出土している。本市の発展が具体的にわかるのは古墳時代になってからである。最古の古墳の 1 つといわれる芝ヶ原墳丘墓や南山城最大の方後円墳である史跡久津川車塚古墳、『日本書紀』に記録された栗隈の大溝などによって当時の様子を知ることができる。

奈良時代には寺院の建立や郡役所の設置など政治・経済の中心地の 1 つであった。

中世、室町時代になると京都・奈良の寺社などの荘園となり、水度神社、久世神社の本殿（いずれも重要文化財）はこの時代に造られた。

江戸時代は幕府領、皇室領、公家領、寺社領その他の藩領など 11 ヲ村 1 町に分かれ、明治維新までその状態がつづいた。

明治以降は純農村として推移し、明治 22 年に 11 ヲ村が久津川・寺田・富野荘・青谷の 4 ヲ村に統合され、更に昭和 26 年 4 月に 4 ヲ村が合併、城陽町が誕生した。昭和 30 年代前半まで米作を中心に、甘しょ・長芋・茶・梅・果樹など都市近郊農村として推移してきたが、高度成長期に入って、京都・大阪のベッドタウンとして人口が急増する中で昭和 47 年 5 月に市制を施行した。

昭和 59 年 4 月に「城陽市基本構想」を制定し、‘歴史と未来をつなぎ、人をはぐくむ緑のまち・城陽’を都市像にかかげ、まちづくりに取り組んでいる。

3. 人口・世帯数の推移

(各年10月1日現在)

年次	人口			世帯数	1世帯あたり人員	備考
	男	女	総数			
昭和 25	6,806	6,900	13,706	2,615	5.24	第7回国勢調査
30	6,789	7,188	13,977	2,655	5.26	第8回国勢調査
35	7,101	7,589	14,690	2,926	5.02	第9回国勢調査
40	9,718	10,320	20,038	4,549	4.40	第10回国勢調査
45	17,812	17,846	35,658	9,214	3.87	第11回国勢調査
50	29,235	29,688	58,923	16,184	3.64	第12回国勢調査
55	36,762	37,588	74,350	21,024	3.54	第13回国勢調査
60	40,424	41,426	81,850	23,283	3.52	第14回国勢調査
61	40,754	41,816	82,570	23,700	3.48	推計人口調査
62	41,202	42,267	83,469	24,217	3.45	推計人口調査
63	41,638	42,804	84,442	24,722	3.42	推計人口調査
平成 元	41,871	43,301	85,172	25,164	3.38	推計人口調査
2	41,657	43,113	84,770	25,293	3.35	第15回国勢調査
3	41,456	43,020	84,476	25,468	3.32	推計人口調査
4	41,534	43,200	84,734	25,865	3.28	推計人口調査
5	41,652	43,379	85,031	26,243	3.24	推計人口調査
6	41,639	43,526	85,165	26,575	3.20	推計人口調査
7	41,757	43,641	85,398	26,970	3.17	第16回国勢調査
8	41,825	43,678	85,503	27,345	3.13	推計人口調査
9	41,664	43,622	85,286	27,706	3.08	推計人口調査
10	41,588	43,645	85,233	28,168	3.03	推計人口調査
11	41,280	43,546	84,826	28,451	2.98	推計人口調査
12	41,013	43,333	84,346	28,333	2.98	第17回国勢調査
13	40,772	43,144	83,916	28,746	2.92	推計人口調査
14	40,490	42,953	83,443	29,017	2.88	推計人口調査
15	40,314	42,892	83,206	29,444	2.83	推計人口調査
16	39,947	42,571	82,518	29,719	2.78	推計人口調査
17	39,440	42,196	81,636	29,051	2.81	第18回国勢調査
18	39,198	42,010	81,208	29,610	2.74	推計人口調査
19	39,015	41,765	80,780	29,969	2.70	推計人口調査
20	38,920	41,641	80,561	30,434	2.65	推計人口調査
21	38,685	41,529	80,214	30,779	2.61	推計人口調査
22	38,622	41,415	80,037	29,972	2.67	第19回国勢調査
23	38,321	41,173	79,494	30,149	2.64	推計人口調査
24	38,016	40,872	78,888	30,233	2.61	推計人口調査
25	37,715	40,607	78,322	30,313	2.58	推計人口調査
26	37,462	40,416	77,878	30,560	2.55	推計人口調査
27	37,211	40,204	77,415	30,703	2.52	推計人口調査
28	36,604	39,659	76,263	29,959	2.55	推計人口調査
29	36,296	39,440	75,736	29,990	2.53	推計人口調査

4. 教育の沿革（戦後）

（施政方針より）

年 月	施 策 項 目
昭 22. 3	新学制実施についての協議会（村議 4 名、区長 10 名、村学務委員 1 名、父兄会長 1 名）開かれる。新学制による下級中学校は、寺田・久津川・富野荘・大久保・小倉の 5 ヶ村組合立にすることに決まる。 教育基本法、学校教育法公布施行される。
4	新教育の出発にあたり、各国民学校を久津川・寺田・富野荘・青谷の各小学校と改称する。
5	久津川・寺田・富野荘 3 ヶ村組合立南久世中学校で開校 青谷・多賀 2 ヶ村組合立泉東中学校開校
9	富野荘小学校を富野小学校に校名変更
昭 23. 5	久津川・寺田・富野荘 3 ヶ村組合立南久世中学校は、大久保村・小倉村を加え 5 ヶ村組合立久世中学校として開校
昭 24. 4	青谷村・多賀村・井手町の 3 ヶ町村組合立泉ヶ丘中学校を設立（泉東中学校を廃止）
昭 26. 3	小倉村・大久保村の宇治市編入にともない、宇治市ほか 3 ヶ村組合立久世中学校と改称
4	城陽町の誕生により、久世中学校は宇治市・城陽町組合立となる。青谷村は泉ヶ丘中学校組合より脱会 町村合併により、綴喜郡青谷村立青谷小学校を、久世郡城陽町立 青谷小学校と改称
昭 29. 5	宇治市・城陽町組合立久世中学校を発展的に分離して、宇治・城陽にそれぞれの独立の中学校を設置することを決定
昭 30. 4	富野幼稚園を開設
昭 31. 4	城陽中学校を設置（旧久世中学校に通学、5 月 7 日新校舎で開校式）
昭 34. 4	久津川公民館竣工、青谷公民館開設、青谷小学校に養護学級を開設（京都療養所内）
5	寺田小学校に養護学級を開設
昭 37. 6	町史編纂委員会、町内の有識者を集めて初めて会合を開く。
昭 39. 4	町内各小学校でミルク給食を実施
昭 40. 4	城陽中学校に障害児学級を設置（京都療養所内） 正道遺跡が発見される。
昭 42. 3	寺田北山田に学校給食センター竣工
6	町内各小・中学校で完全給食を開始
昭 44. 3	城陽町史第 1 巻を刊行
4	久世小学校開校（校舎未完成のため、久津川小・寺田小で分散授業 9 月 1 日新校舎完成）
昭 47. 4	今池小学校開校 富野荒見田で第 2 学校給食センター操業 富野小学校に障害児学級設置
5	市制施行、城陽市となる。
昭 48. 4	市民図書室を開室
昭 49. 4	西城陽中学校開校 古川小学校開校 深谷幼稚園開園
7	市史第 2 巻近代編編纂のため「市史編纂協力委員会」発足 市民プールを開設
8	久津川公民館新築開館
9	「史跡正道官衙遺跡」指定
昭 50. 3	「城陽市近代のあゆみ」刊行
4	深谷小学校開校
11	「史跡平川廃寺跡」指定
12	カラスライド「緑と歴史の散歩道」完成 公開
昭 51. 4	寺田南小学校開校
昭 52. 3	「城陽市史年表」を刊行

年 月	施 策 項 目
5	寺田南小学校に「ことばの教室」を開設
昭 53. 2	「史跡森山遺跡」指定
昭 54. 1	「史跡久津川車塚・丸塚古墳」指定
3	寺田小学校校舎・屋体の増改築事業が完成
4	南城陽中学校開校、寺田西小学校開校
7	「城陽市史第2巻」を刊行
昭 55. 3	南城陽中学校通学路整備事業が完成
	青谷小学校の校舎・屋体増改築事業が完成
4	久世小学校に障害児学級新設
7	北市民プールが完成
8	西城陽中学校特別教室増築事業が完成
9	北公民館開設 北部コミュニティセンター開設
10	「市民図書室」を「市立図書館」に昇格
昭 56. 4	東城陽中学校開校、北城陽中学校開校
	深谷小学校、北城陽中学校に障害児学級を新設
	今池小学校に障害児学級を新設
	富野荒見田に1万食規模の学校給食センターを増設（寺田北山田の学校給食センターを廃止）
	寺田南小学校に「きこえの教室」を新設
5	社会科の副読本、「わたしたちの城陽市」を編集配布
7	青谷公民館図書室を開設
8	城陽市青少年健全育成市民会議が発足
11	東部第一コミュニティセンター開設
昭 57. 3	城陽中学校木造校舎を鉄筋コンクリート造三階建に改築
4	東城陽中学校「障害児学級」開設
	公立幼稚園2年保育を実施
	南部コミュニティセンター開設
5	城陽市体育協会発足
9	第1回たそがれコンサート開催
11	第1回市民陸上競技大会開催
昭 58. 3	「城陽の歴史をたずねて」刊行
	辻教育振興基金条例を制定
	東城陽中学校校舎増築工事が完成
4	市立図書館の日曜開館を実施
5	南城陽中学校校舎増築工事が完成
11	寺田小学校の緑化
昭 59. 2	第1回青少年の意見発表会を開催
3	「史料が語る城陽近世史・第1集青谷地域編」を刊行
	富野小学校拡張の用地購入及び造成工事が完成
	寺田小学校拡張の用地購入及び校舎増築工事が完成
4	「城陽市基本構想」を制定
6	研究指定校及びグループ研究制度の創設
9	深谷小学校便所棟増築工事完成
12	寺田西小・今池小・北城陽中の緑化
昭 60. 3	富野小学校校舎増改築工事完成
	史跡「平川廃寺跡」買上完了

年 月	施 策 項 目
昭 60.	4 市内小学校（5校）で機械警備導入 総合運動公園開園（テニスコート・野球場・多目的広場・ゲートボール場・レストハウス） 7 「史料が語る城陽近世史・第2集富野荘地域編」を刊行 9 小・中学校の給食用食器をアルマイト製ランチ皿からポリプロピレン製3点セットに改善 寺田小学校北校舎の大規模改修工事が完成 11 青少年健全育成テキスト「城陽っ子をすこやかに育てるために」（家庭・地域版）を全戸配布 12 学校環境緑化の推進（古川小学校・寺田南小学校・今池小学校・西城陽中学校・北城陽中学校）
昭 61.	1 市史古文書のマイクロフィルム化事業に着手 青谷小学校校舎の増築工事が完成 2 国際青年年記念事業“21世紀を展望する”城陽青年のつどいを開催 3 城陽中学校改築工事完成（市内小・中学校全ての普通教室棟が非木造建てとなる。） 青少年健全育成テキスト「城陽っ子をすこやかに育てるために」（保護者版）を配布 4 城陽市文化財保護条例を制定 国体準備室を国体室に改め、市長部局に移管 5 南城陽中学校校舎増築工事が完成 7 芝ヶ原古墳（12号）発掘調査により、完全な形としてはわが国初めての車輪石形銅製品（腕輪）銅製鏡など多数出土 8 城陽市芝ヶ原（12号）保存基金条例を制定 9 富野小学校の大規模改修工事が完成 11 市民体育館が完成 12 城陽中学校格技場が完成
昭 62.	3 西城陽中学校昇降口等の増改築工事が完成 4 城陽市文化財保護条例による第1回の市指定文化財の指定 8 文化財講演会（第1回）開催 リハーサル国体開催（全国教員柔道大会） 9 久津川小学校北・西校舎の大規模改修工事が完成 西城陽中学校格技場が完成
昭 63.	3 「史料が語る城陽近世史第3集寺田地域編」を刊行 7 アイリスイン城陽が完成 9 城陽中学校南校舎の大規模改造工事が完成 10 第43回国国民体育大会開催 柔道会場（市民体育館）
平元.	2 城陽市史跡整備計画の策定 3 城陽市女性行動計画「豊かな男女共同社会にむけて——城陽女性プラン」を策定 9 「史跡芝ヶ原古墳」指定 10 久世小学校北校舎・寺田小学校中校舎の大規模改造工事が完成 青谷小学校・久津川小学校百周年記念式典開催
平 2.	3 「史料が語る城陽近世史第4集久津川地域編」を刊行 5 今池コミュニティセンター開設 9 今池小学校南校舎（内部）、西城陽中学校中校舎の大規模改造工事が完成 11 東部コミュニティセンター開設
平 3.	8 今池小学校南校舎（外部）、城陽中学校北校舎の大規模改造工事が完成 9 西城陽中学校北校舎の大規模改造工事完成
平 4.	9 久世小学校南校舎（外部）、青谷小学校北校舎の大規模改造工事完成 12 正道官衙遺跡整備工事が完成
平 5.	9 久世小学校南校舎、富野小学校南校舎大規模改造工事が完成

年 月	施 策 項 目
	北城陽中学校グラウンド改良工事が完成
10	西城陽中学校グラウンド改良工事が完成 PTA 連絡協議会へ新たに事業補助を実施 「城陽の民話とくらし」を刊行
11	のびのび子育て事業の実施
平 6. 3	生涯学習まちづくり計画を策定
6	学校不適応問題相談事業実施
8	富野小学校大規模改造工事が完成
平 7. 8	西城陽中学校南校舎大規模改造工事が完成
9	寺田西小学校屋外運動場照明設備設置工事が完成
	青谷コミュニティセンター開設
10	寺田西小学校屋外運動場夜間開放
11	文化パーク城陽開設 城陽市歴史民俗資料館開設 城陽市立図書館開設 寺田コミュニティセンター開設
12	城陽市民俗調査報告書第 1 集刊行
平 8. 3	史跡森山遺跡整備工事が完成
4	コミュニティセンター6 館の施設予約管理システムの運用開始
8	今池小学校北校舎の大規模改造（内部）工事が完成 「城陽市史第 4 巻」を刊行
平 9. 3	城陽市総合運動公園石の広場整備工事が完成
4	学校給食配送業務委託の実施 城陽市文化・スポーツ振興基金を設置
8	全国高等学校総合体育大会「京都総体」を開催（開催種目：柔道及びサッカー（2 市 1 町共同）競技）
	深谷小学校南校舎大規模改造工事及び耐震補強工事が完成 寺田南小学校南校舎大規模改造工事及び耐震補強工事が完成
9	城陽市総合運動公園北側レクリエーションゾーン一部施設（プラムイン城陽等）一部供用開始
平 10. 4	南城陽中学校・北城陽中学校にスクールカウンセラー設置 小・中学校及び幼稚園の焼却炉廃止に伴いシュレッダー設置
8	深谷小学校大規模改造工事及び耐震補強工事が完成 寺田西小学校大規模改造工事（その 1）が完成
	小学校特別教室等空調整備工事が完成（古川・寺田西・寺田・今池・青谷小学校）
10	鴻ノ巣山運動公園（城陽市総合運動公園）グランドオープン
平 11. 3	城陽中学校・西城陽中学校・東城陽中学校に府の委託を受け心の教室相談員を設置 西城陽中学校・南城陽中学校・東城陽中学校・北城陽中学校・寺田西小学校にインターネットの環境整備 城陽市スポーツ施設プランを策定 「城陽市史第 3 巻」を刊行
6	小学 1 年生の歯科治療費補助を実施 「小・中学校のセクシュアルハラスメントの防止に関する要綱」を制定
8	寺田西小学校大規模改造工事・久津川小学校他 4 校の特別教室等空調整備工事が完成
平 12. 1	府緊急雇用特別基金事業の特別交付金を活用し、情報教育指導員の雇用・学校図書 of 整理を業者委託 府少子化対策臨時特例交付金を活用し、私立幼稚園・公立幼稚園への緊急設備等を整備
	総合運動公園テニスコート改修工事が完成
3	北部コミュニティセンター駐車場の設備工事が完成

年 月	施 策 項 目
	北公民館改修工事が完成
	北部コミュニティセンター20周年記念式典を実施
	「城陽市民俗調査報告書第2集」を刊行
4	特別公開「胎内からのメッセージ」を開催（～5月）
6	城陽市特別教室等整備計画の策定
8	古川小学校大規模改造工事（その1）及び耐震補強工事が完成
	外国青年（AET）の配置を3人とし、国際理解教育の推進を図るため小学校へ導入開始
12	城陽第九フェスティバル開催
平 13. 1	就学前の幼児を持つ保護者の子育て支援を行うため幼児教育センターを市立幼稚園に設置
4	全中学校にスクールカウンセラーの配置
	公立幼稚園に新たな保育サービスとして、預かり保育を実施
	完全学校週5日制推進委員会設置
7	学校、幼稚園の緊急安全対策として、全教職員に防犯ブザーを配布
9	古川小学校大規模改造工事（その2）が完成
	南城陽中学校大規模改造工事（その1）及び耐震補強工事が完成
10	城陽市学校（園）安全ボランティアを発足
11	東部コミュニティセンター20周年記念式典を実施
平 14. 1	「城陽市史第1巻」を刊行
3	幼稚園・小学校・中学校に防犯システムを設置
	情報教育の充実を図るため、小学校に高速回線（ADSL）を導入
4	完全学校週5日制の実施に伴い、毎土曜日、小学校の体育館及び運動場を遊び場として開放し、管理人を配置
	全中学校に心の教室相談員を配置
9	南城陽中学校大規模改造工事（その2）及び耐震補強工事が完成
12	南部コミュニティセンター20周年式典を実施
平 15. 3	富野小学校プール改築工事が完成
	働く婦人の家改修工事が完成
4	小学校に特色ある学校教育推進としての補助員、中学校に生徒指導の支援として補助員を配置
	親子ふれあい農園開園
	土曜日の市内小中学生歴史民俗資料館観覧料無料を開始
8	京都パープルサンガ城陽ファンクラブが設立
9	南城陽中学校南校舎大規模改造工事が完成
10	西城陽中学校体育館大規模改造及び耐震補強工事が完成
	城陽市民文化祭40周年記念式典が開催
11	文化パーク城陽 来館者1,000万人達成
	城陽市歴史民俗資料館友の会設立
平 16. 1	富野幼稚園舎改築及び大規模改造工事が完成
3	児童の安全確保として、小学校の普通教室に緊急通報システムを設置
	小中学校教職員全員に、防犯ブザーの追加配布及び緊急笛を配布
	城陽市総合運動公園駐車場条例を制定
4	中学校に生徒指導の支援として、補助員を配置
	東城陽中学校屋外運動場の照明設備の供用を開始
8	働く婦人の家・コミュニティ防災センターの改修工事が完成
10	「学校・地域連携推進事業費補助金」を創設
	施設予約管理システムを更新し、インターネット発信を開始

年 月	施 策 項 目
	コミュニティセンター・市民体育館・多目的グラウンド・野球場・トレーニングルーム・公民館使用区分を1時間単位に改正 総合運動公園駐車場の有料化を実施
12	富野森山に学校給食センターが竣工（富野荒見田の学校給食センターを廃止）
平 17. 3	城陽中学校体育館・プール改築工事が完成 幼稚園の安全対策として、110番通報装置を設置 深谷小学校地域交流室を開設
4	サンガタウン城陽による京都パープルサンガユースグラウンド設置に対し補助
8	生徒指導補助員として各中学校にスチューデント・リーダーを配置 青谷小学校北校舎大規模改造工事が完成
9	小・中学校普通教室扇風機設置工事が完成（3ヵ年計画初年度） 北城陽中学校体育館床改修工事が完成
10	青谷コミュニティセンター開館10周年記念式典を実施 久世小学校体育館大規模改造・耐震補強工事が完成
11	寺田コミュニティセンター開館10周年記念式典を実施
12	文化パルク城陽開館10周年記念式典・講演会を開催 城陽市文化芸術の振興に関する条例を制定
平 18. 1	市教育委員会から学校間に高速通信網を整備（教育イントラネット） 「城陽市民俗調査報告書第3集」を刊行
2	久津川小学校プール改修工事が完成
3	学校安全対策の一環として、防犯ブザー・通学路あんぜんマップ・防災帽子を配布 （株）サンガタウン城陽ユースグラウンド建設に支援
4	図書館情報システムを更新 図書館ホームページを開設
5	教育委員会事務局が寺田分庁舎に移転
8	小・中学校普通教室扇風機設置工事が完成（3ヵ年計画2年目） 寺田南小学校大規模改造・耐震補強工事（第1期）が完成 第30回全国高等学校総合文化祭「郷土芸能部門」の開催
9	深谷小学校グラウンド改良工事が完成 市立図書館蔵書のインターネット検索による学校団体貸出を開始
10	古川小学校体育館大規模改造・耐震補強工事が完成
12	小・中学校校舎及び幼稚園園舎対象棟の耐震診断調査を実施 城陽市史跡整備委員会を設置
平 19. 2	今池コミュニティセンター増改築工事が完成 史跡芝ヶ原古墳整備基本構想を策定
3	「城陽市文化芸術振興計画」を策定
4	AED（自動体外式除細動器）を配置（古川・深谷・寺田・今池・富野小学校） 寺田西総合型地域スポーツクラブ設立準備委員会の立ち上げを支援 米飯給食に「城陽産ヒノヒカリ」を100%使用 城陽市歴史民俗資料館リニューアル開館
5	アイリスイン城陽空調設備の改修を実施
7	第1回拡大特別展「十五年戦争と城陽」を開催（～9月） 芝ヶ原9号墳の範囲確認調査（調査面積：102㎡）を実施（～8月）
8	AED（自動体外式除細動器）を配置（陽寿苑・陽幸苑・プラムイン城陽・南部コミセン）
9	小・中学校普通教室扇風機設置工事が完成（3ヵ年計画3年目） 寺田南小学校大規模改造その2工事が完成 青谷小学校プール及び古川小学校の浄化槽を解体し、下水道接続工事が完成

年 月	施 策 項 目
10	寺田・寺田南・寺田西小学校に特別支援教育支援員（市）を配置 平川廃寺の範囲確認調査（調査面積：30 m ² ）を実施 山道東古墳の範囲確認調査（調査面積：119 m ² ）を実施 史跡久津川車塚・丸塚古墳の内、丸塚古墳の 249.22 m ² を公有地化 特別無料公開「姉妹都市バンクーバー市 バンクーバー砦 タペストリー展」を開催（～12月）
11	今池小学校体育館大規模改造工事が完成 図書館インターネット予約の開始 図書館蔵書 20 万冊達成
12	久世廃寺跡が国史跡に指定
平 20. 1	古川「放課後子ども教室」開設 アレルギー対応給食（卵除去食）開始
3	寺田南・今池・富野・青谷小学校のコンピュータ教室の機器更新及び増設 史跡久津川車塚古墳・丸塚古墳の内、久津川車塚古墳の 569.62 m ² を公有地化
4	すべての小学校にAED（自動体外式除細動器）を配置 特別支援教育支援員を配置（府配置校以外すべての小学校） 城陽市歴史民俗資料館友の会ボランティアクラブ活動開始
5	「城陽市子どもの読書活動推進計画」を策定 古川「放課後子ども教室」本格実施
6	北城陽中学校プール塗装改修工事が完成 学校耐震診断調査及び耐震補強設計業務委託の着手（寺田・富野各小学校） 図書館ボランティアの活用（図書館サポーターの採用及び読み聞かせ等登録ボランティアの活用）
7	図書館団体貸出の拡充（市内全ての幼稚園・保育園・学童保育所・健康推進課・ぱれっと J O Y O） 夏季特別展「昭和のおもちゃとこどもの遊び」を開催（～9月） 平川廃寺跡の 76.62 m ² を史跡地として追加指定 史跡芝ヶ原古墳の史跡整備に伴う発掘調査（調査面積：150 m ² ）を実施（～11月） 学校給食に城陽旬菜市の地元野菜の活用開始
8	AED（自動体外式除細動器）を配置（陽和苑・陽東苑・今池コミセン・青谷コミセン・ぱれっと J O Y O・アイリスイン城陽） 耐震性防火水槽（40 m ³ ）設置（城陽中学校敷地内） 小・中学校シャワー設備工事が完成（寺田・久津川各小学校及び西城陽・南城陽・東城陽・北城陽各中学校） 三朝町とのスポーツ交流事業を実施 東城陽ふれあいスポーツ広場の暫定利用を開始 常設展コーナーに「姉妹都市慶山市展―市民訪韓団より―」を展示（～9月）
9	城陽中学校のコンピュータ教室の機器を更新 城陽市学力向上等推進委員会を設置
10	東城陽中学校下水道接続工事が完成 校舎耐震診断調査及び耐震補強設計（久津川・久世・寺田・今池・富野各小学校及び城陽・南城陽・東城陽・北城陽各中学校）並びに体育館大規模改造及び耐震補強工事設計（寺田南・寺田西・富野各小学校）業務委託の着手 文化パーク城陽・宿泊施設・運動施設の指定管理者を公募 常設テーマ展「わたしのおすすめ！―職員の選ぶ五里ごり館のこの一品―」を開催（～12月）
11	南城陽中学校下水道接続工事が完成

年 月	施 策 項 目
12	久津川小学校体育館大規模改造及び耐震補強工事設計業務委託が完了 学校耐震診断調査及び耐震補強設計（深谷小学校・城陽中学校）業務委託の着手 富野小学校校舎大規模改造及び耐震補強工事の完成 富野小学校にソーラー発電施設を設置 城陽市生涯学習推進計画を策定
平 21. 1	深谷小学校体育館大規模改造及び耐震補強工事の完成 常設展コーナー展示「昔の暮らし」を開催（～3月） 春季特別展「久津川古墳群の衰退と新勢力の台頭－黒土1号墳とその時代－」を開催（～3月）
3	山背古道のガイドブックを作成（城陽市・井手町・木津川市） 富野小学校に風力発電機等を設置 史跡久津川車塚・丸塚古墳の内、久津川車塚古墳の242.91㎡を公有地化 史跡平川廃寺跡の113.81㎡を公有地化 学校耐震診断調査及び耐震補強設計業務委託の完了（久世小学校） 総合運動公園下水道接続工事の完成
4	AED（自動体外式除細動器）を配置（すべての中学校と教育委員会事務局）
5	アイリスイン城陽の屋上防水更新工事が完成
6	府立図書館「eサービス」の対応開始 歴史体験広場用地（芝ヶ原12号墳用地西側）の取得
7	古川小学校プール塗装工事が完成 アイリスイン城陽の温水ヒーター改修工事が完成 夏季特別展「えころじー江戸学」を開催（～9月）
8	耐震性防火水槽（40㎡）設置（南城陽中学校敷地内） 図書館「おすすめブックリスト」幼児向け100の作成・配布
9	市民テニスコート（北部コミセン北側）の砂入り人工芝改修工事が完成 久世小学校南校舎耐震補強工事（その1）が完成 コンピューター教室の機器の更新（西城陽・南城陽中学校） 第26回国民文化祭城陽市実行委員会設立 市内老人福祉施設4苑に図書の特貸し出し（利用）開始 図書館に高齢者や弱視者の方への読書支援として、拡大器の設置
11	富野小学校北校舎耐震補強工事が完成
平 22. 1	久津川小学校体育館大規模改造及び耐震補強工事が完成 市民体育館の照明制御装置更新工事が完成 図書館でDVDの貸出開始 春季特別展「城陽を語る100枚の写真」を開催（～3月）
2	アイリスイン城陽の受変電設備更新工事が完成
3	寺田小学校北校舎耐震補強工事が完成 学校ICT「地デジアンテナ」整備工事が完成 ソーラーライトの設置（東部コミセン・今池コミセン）
4	学校給食の米飯回数を週3.5回から4回に拡大
5	第1回山背古道～春のは～ふウォーク～を実施 今池コミュニティセンター開館20周年記念事業に支援
6	山背古道案内サインを設置
7	エコチャレンジ（環境教育）事業を開始 西城陽中学校で地域の方々の支援による学校支援地域本部事業を開始 夏季特別展「商いの顔」を開催（～9月）

年 月	施 策 項 目
平 23.	8 京都サンガF.C.のホームタウンとなる 小中学校に配置する英語指導助手（AET）を4名に増員
	9 学校給食用食器を強化磁器食器からPEN食器に変更 寺田小学校中校舎耐震補強工事が完成 北部コミュニティセンター開館30周年記念事業に支援 城陽中学校南校舎耐震補強工事が完成 「おすすめブックリスト 赤ちゃん・幼児向け100」の作成・配布 「おすすめブックリスト 小学生向け100」の作成・配布 小学生対象の読書ラリーを実施
	10 第26回国民文化祭プレ事業 和太鼓フェスティバル プレ大会を開催 久世小学校南校舎耐震補強工事（その2）が完成 深谷小学校北校舎耐震補強工事が完成
	1 寺田南小学校体育館大規模改造及び耐震補強工事が完成 文化パーク城陽周辺地区地上デジタル放送移行対策事業共同受信施設新設工事に着手（～4月完成） 第2回拡大特別展「藍 Japan blue—生活の中に息づくものたち—」を開催（～3月）
	2 第26回国民文化祭プレ事業 大正琴の祭典 プレ大会を開催
	3 耐震性防火水槽（40 m ³ ）を設置（西城陽中学校敷地内） 富野小学校北校舎改築工事が完成 市民運動広場進入路等整備工事が完成 平川廃寺出土塑像一括（158点）を市指定文化財に指定 史跡芝ヶ原古墳整備にともなう基盤造成工事が完成 城陽市立深谷幼稚園を閉園
	4 城陽市民余暇活動センターが公益財団法人へ移行 成人・高齢者を対象とした「映像ライブラリー」の開催
	6 文化パーク城陽プラネタリウムにデジタル投映機を導入
	9 「おすすめブックリスト 中学生用100」の作成・配布 中学生対象の読書ラリーの実施 フッ化物洗口事業をモデル校で開始（寺田南、富野小学校） 京都サンガF.C. JR城陽駅ウェルカムボード設置 城陽中学校北校舎耐震補強工事が完成
	10 久世小学校北校舎耐震補強工事が完成 寺田小学校プール塗装改修工事が完成 東城陽中学校校舎耐震補強工事が完成 文化パーク城陽・青谷コミュニティセンターアナログ放送共同受信施設を撤去 施設予約管理システム機器を更新
	11 第26回国民文化祭・京都2011 大正琴の祭典を開催 第26回国民文化祭・京都2011 和太鼓フェスティバルを開催 東部コミュニティセンター開館30周年記念事業に支援 今池小学校南校舎耐震補強工事が完成
	12 久津川小学校北校舎（1番棟）耐震補強工事が完成 図書館情報システム更新実施、利用者用のインターネット検索の端末を設置
	平 24. 1 富野小学校体育館大規模改造及び耐震補強工事が完成 文化パーク城陽にソーラーライトを設置
	2 久世小学校プールろ過装置改修工事が完成 コンピュータ教室の機器の更新（久津川・古川・久世・深谷小学校）

年 月	施 策 項 目
	3 富野幼稚園にAED（自動体外式除細動器）を配置 史跡芝ヶ原古墳整備に伴う墳丘復元・フェンス設置・一部植栽工事完成
	4 小学校全校に給食センター紹介DVD「チキンカレーができるまで」を配布
	5 京都サンガF.C. 親子応援バスツアーを開始 市議会議員と教育委員との懇談会の開始
	6 南部コミュニティセンター（働く女性の家・コミュニティ防災センター）開館 30 周年記念式典に支援 城陽市教育委員会評議会の設置
	7 城陽中学校で地域の方々の支援による学校支援地域本部事業を開始 文化パーク城陽 来館者 2,000 万人達成
	9 城陽市立図書館雑誌スポンサー制度要綱の制定
	10 小学校全校でフッ化物洗口を開始 学校給食の放射性セシウムモニタリング検査を実施（～25年2月） 今池小学校北校舎耐震補強工事が完成
	11 図書館マスコットキャラクター決定「JOYOアイブックちゃん」 文化パーク城陽災害復旧・災害対策工事が完成
平 25.	1 富野小学校南校舎耐震補強工事が完成 久世小学校東校舎耐震補強工事が完成 寺田西小学校体育館大規模改造及び耐震補強工事が完成 青谷小学校体育館大規模改造及び耐震補強工事が完成
	3 東部コミュニティセンター止水板設置工事が完成 国民文化祭記念事業 京都和太鼓フェスティバル in 城陽及び大正琴の祭典 in 城陽を開催
	4 小中学校土曜活用の日試行開始 教員用コンピュータの再整備 コミュニティセンター使用料の減免率を改定 サンガホームゲーム観戦ツアーを全ホームゲームで実施（～11月） 小学校・中学校統一献立の実施 城陽市立図書館雑誌スポンサー制度の実施
	6 城陽市通学路安全推進会議を開催
	8 文化パーク城陽・スポーツ施設・宿泊施設の指定管理者を公募 東城陽ふれあいスポーツ広場造成工事が完成
	10 東部コミュニティセンター大集会室の照明設備改修工事が完成
平 26.	1 寺田小学校体育館大規模改造及び耐震補強工事並びに寺田小学校南校舎耐震補強工事（建築）が完成 寺田小学校体育館大規模改造及び耐震補強工事並びに寺田小学校南校舎耐震補強工事（設備）が完成 西城陽中学校東校舎耐震補強工事が完成
	3 寺田南小学校グラウンド内に耐震性防火水槽（40 m ³ ）を設置 史跡芝ヶ原古墳整備工事が完成、全面開園
	4 各小中学校へ学校図書館司書を配置
	6 中学校校内実力テストを実施 サンガ応援デーをホームゲーム前の開庁日に実施
	7 「小学生向け 消費啓発冊子」を市内小学校の4～6年生へ配布
	8 富野小学校グラウンド内に耐震性防火水槽（40 m ³ ）を設置
	9 久津川小学校北校舎、古川小学校北校舎、寺田西小学校北校舎、西城陽中学校北校舎及び北城陽中学校南校舎・中校舎の耐震補強工事が完成

年 月	施 策 項 目
	生涯学習情報紙「まなび Eye」全戸配布開始
	給食用保冷食缶を導入
10	通学路カラー歩道化工事が完成
12	市民体育館会議室空調機器更新工事が完成
平 27. 3	久世小学校中校舎耐震補強工事が完成したことに伴い、全小中学校の耐震化を完了
	総合運動公園大型遊具改修工事が完成
	市民体育館アリーナ床改修工事が完成
	文化パーク城陽エントランスホール周辺工事が完成
4	市内全小中学校をコミュニティ・スクールに指定
	城陽市いじめ防止対策推進委員会を設置
	水主神社の「狛犬（2点）」を市指定文化財に指定
7	総合教育会議を初めて開催
	北公民館スロープ前舗装工事が完了
	城陽市民大学を開講（～平成28年1月）
8	史跡久津川車塚古墳整備事業に伴う発掘調査を実施
9	市内2小学校でタブレットを試用開始
11	図書館・歴史民俗資料館 開館20周年記念特別文化講演会を開催
12	市内全中学校の空調設備工事が完成
	アレルギー対応給食（エビ除去食）を開始
	城陽市スポーツ少年団30周年記念事業に補助
平 28. 3	プラムイン城陽、アイリスイン城陽の施設更新を実施
	アイリスイン城陽エレベーター改修工事が完成
4	市内小学校への学習支援員の配置
7	史跡久津川車塚古墳整備事業に伴う発掘調査を実施（～10月）
9	久世小学校校舎増築工事が完成
	城陽市エコミュージアム基本方針を策定
10	城陽市教育委員会のホームページを開設
	史跡久津川車塚・丸塚古墳に芭蕉塚古墳と久世小学校古墳（芝ヶ原9号墳）が追加指定され、史跡久津川古墳群に名称を変更
11	国語科の研究授業を通じた研修会（中学校ブロック単位）の実施（～29年2月）
	図書館情報システムの更新及びホームページのリニューアル
平 29. 1	総合運動公園石の広場手すり整備工事が完成
2	久津川小、古川小、久世小、深谷小へのタブレットの導入
	第2次城陽市生涯学習推進計画策定
	第2次城陽市文化芸術振興計画策定
	エコミュージアム事業地域資源キャラクターデザイン20体を制作
3	城陽子ども文化・科学賞を創設
	第2次城陽市子どもの読書活動推進計画を策定
	プラムイン城陽バリアフリー化改修工事が完成
	エコミュージアム事業PR冊子を作成

※コミュニティセンターは平成27年3月末まで教育委員会の所管

教育行政財政

1. 教育委員会
2. 教育委員会評議会
3. 教育委員会事務局・教育機関
4. 予算・決算

教 育 行 財 政

1. 教育委員会

教育委員会とは、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の定めるところにより、学校その他の教育機関を管理し、学校の組織編制、教育課程、教科書その他の教材の取扱い及び教育職員の身分取扱いに関する事務を行い、また、社会教育その他の教育、学術及び文化に関する事務を管理し、執行するために、都道府県や市町村に設置される合議体の執行機関である。

教育委員会は、通常教育長及び4人の委員で組織され、教育長は人格が高潔で、教育行政に関し識見を有するもの、委員は同じく人格が高潔で、教育、学術及び文化に関し識見を有するものうちから議会の同意を得て、市長が任命する。教育長の任期は3年、委員の任期は4年である。

教育長は、教育委員会の会議を主宰するとともに、具体的な事務執行の責任者、教育委員会事務局の指揮監督者として教育委員会を代表し、また、教育委員会の権限に属する事務を具体的に処理し執行するための事務機構として、教育委員会事務局が教育長のもとに設置されている。

教 育 委 員



井関教育長



崎川教育長職務代理者



安井委員



岩見委員



小森委員

(平成29年12月28日現在)

職名	氏名	年齢	任期
教育長	井関 守	72	平27.12.26～平30.12.25
教育長職務代理者	崎川 武雄	62	平29.11.14～平33.11.13
委員	安井 さかゑ	73	平26.12.1～平30.11.30
委員	岩見 悦明	54	平26.12.1～平30.11.30
委員	小森 弥生	51	平27.12.25～平31.12.24

歴代の教育委員長

氏 名	任 期
西 山 正 次	昭和27年10月 5日 ~ 昭和31年 9月30日
並 河 敬太郎	昭和31年10月 1日 ~ 昭和37年 2月28日
森 沢 四 郎	昭和37年 3月 1日 ~ 昭和37年 9月30日
林 治 雄	昭和37年10月 1日 ~ 昭和42年 9月30日
大 木 弥一郎	昭和42年10月 1日 ~ 昭和44年 9月30日
大 谷 良 一	昭和44年10月 1日 ~ 昭和48年 9月30日
大 木 弥一郎	昭和48年10月 1日 ~ 昭和49年 9月30日
大 谷 良 一	昭和49年10月 1日 ~ 昭和52年 9月30日
堀 士 修 一	昭和52年11月24日 ~ 昭和57年11月23日
吉 岡 文 雄	昭和57年11月24日 ~ 平成 5年11月13日
川 村 久 夫	平成 5年11月14日 ~ 平成 9年11月13日
梅 村 泰 一	平成 9年11月14日 ~ 平成11年 9月30日
島 本 憲 司	平成11年10月15日 ~ 平成14年11月13日
木 村 文 子	平成14年11月14日 ~ 平成18年12月31日
安 宅 公 男	平成19年 1月24日 ~ 平成22年10月 1日
崎 川 武 雄	平成22年10月 2日 ~ 平成27年12月25日

歴代の教育長

氏 名	任 期
伊 崎 知 典	昭和28年 5月 1日 ~ 昭和37年 9月30日
森 沢 四 郎	昭和37年10月 1日 ~ 昭和44年 5月31日
津 阪 幾 三	昭和44年 6月 1日 ~ 昭和52年 5月11日
新 井 一 夫	昭和53年 4月 1日 ~ 平成 6年 3月31日
毛 呂 幸 生	平成 6年 4月 2日 ~ 平成 9年 9月30日
種 村 稔 也	平成11年 1月 4日 ~ 平成13年12月28日
西 尾 雅 之	平成14年 4月 1日 ~ 平成23年 1月 3日
中 村 範 通	平成23年12月26日 ~ 平成27年12月25日
井 関 守	平成27年12月26日 ~

歴代の教育委員

任命制以降（昭和31年10月1日～平成29年12月31日現在）				（教育長）
富田武三 S31.10.1～35.9.30	並河敬太郎 S31.10.1～35.9.30	南村美智香 S31.10.1～34.9.30	恵美哲夫 S31.10.1～35.9.30	伊崎知典 S31.10.1～35.9.30
堀井好嗣 35.10.1～39.9.30	並河敬太郎 35.10.1～37.9.30	林治雄 34.10.1～38.9.30	森沢四郎 35.10.1～39.9.30	伊崎知典 35.10.1～37.9.30
大木弥一郎 37.10.1～41.9.30	村井晋 37.10.1～41.9.30	林治雄 38.10.1～42.9.30	堀井好嗣 39.10.1～43.9.30	森沢四郎 39.10.1～43.9.30
大木弥一郎 41.10.1～45.9.30	村井晋 41.10.1～44.9.30	林治雄 42.10.1～46.9.30	森沢四郎 43.10.1～47.9.30	津阪幾三 44.5.12～48.5.11
大木弥一郎 45.10.1～49.9.30	大谷良一 44.10.1～48.9.30	堀士修一 46.10.1～50.9.30	河本清 47.10.1～51.9.30	津阪幾三 48.5.12～52.5.11
大木弥一郎 49.10.1～53.9.30	大谷良一 48.10.1～52.9.30	堀士修一 50.10.1～54.9.30	熊走智彦 52.11.14～56.11.13	新井一夫 53.4.1～57.3.31
服部玄尚 53.10.1～57.9.30	吉岡文雄 52.11.14～56.11.13	堀士修一 54.10.1～58.9.30	熊走智彦 56.11.14～58.3.1	新井一夫 57.4.1～61.3.31
服部玄尚 57.10.1～61.9.30	吉岡文雄 56.11.14～60.11.13	堀士修一 58.10.1～62.9.30	川村久夫 58.7.9～60.11.13	新井一夫 61.4.1～H2.3.31
服部玄尚 61.10.1～H2.9.30	吉岡文雄 60.11.14～H元.11.13	梅村泰一 62.10.1～H3.9.30	川村久夫 60.11.14～H元.11.13	新井一夫 2.4.1～6.3.31
西山温子 2.10.1～6.9.30	吉岡文雄 元.11.14～5.11.13	梅村泰一 3.10.1～7.9.30	川村久夫 元.11.14～5.11.13	毛呂幸生 6.4.2～9.9.30
西山温子 6.10.1～10.9.30	島本憲司 5.11.14～9.11.13	梅村泰一 7.10.1～11.9.30	川村久夫 5.11.14～9.11.13	種村稔也 11.1.4～13.12.28
西山温子 10.10.2～14.3.31	島本憲司 9.11.14～13.11.13	木村文子 11.10.1～15.9.30	竹谷 恵 10.10.2～14.10.1	西尾雅之 14.4.1～15.1.3
靱山昭恵 14.4.1～14.10.1	島本憲司 13.11.14～17.11.13	木村文子 15.10.1～19.9.30	竹谷 恵 14.10.2～18.10.1	西尾雅之 15.1.4～19.1.3
靱山昭恵 14.10.2～18.10.1	島本憲司 17.11.14～21.11.13	平沼 薫 19.12.25～23.12.24	安宅公男 18.10.2～22.10.1	西尾雅之 19.1.4～23.1.3
靱山昭恵 18.10.2～22.10.1	崎川武雄 21.11.14～25.11.13	小森弥生 23.12.25～27.12.24	岩見悦明 22.12.1～26.11.30	中村範通 23.12.26～27.12.25
安井さかゑ 22.12.1～26.11.30	崎川武雄 25.11.14～29.11.13	小森弥生 27.12.25～31.12.24	岩見悦明 26.12.1～30.11.30	井関 守 27.12.26～30.12.25
安井さかゑ 26.12.1～30.11.30	崎川武雄 29.11.14～33.11.13			

教育委員会の開催状況

教育委員会の会議は、原則として毎月1回定例会を開き、その他必要に応じ臨時会を開催している。

2. 教育委員会評議会

教育委員会評議会は、市民参画の教育行政を推進することを目的として、教育長、教育委員及び評議委員で組織され、教育に対する意見交換等を行っている。評議委員は6人以内とし、任期は2年である。

教育委員会評議委員

(敬称略)

(平成29年12月31日現在)

区分	氏名	備考	任期
学識経験者	玉村 公二彦	奈良教育大学教育学部教授	平成30年3月31日まで
教育に関する識見を有する者	細川 治	弁護士	
	佐々木 貞	歯科医師(元学校歯科医師)	
P T A代表	池野 亮光	城陽市P T A連絡協議会代表	
公募による市民	坂口 知子		
	筑紫 貴美		

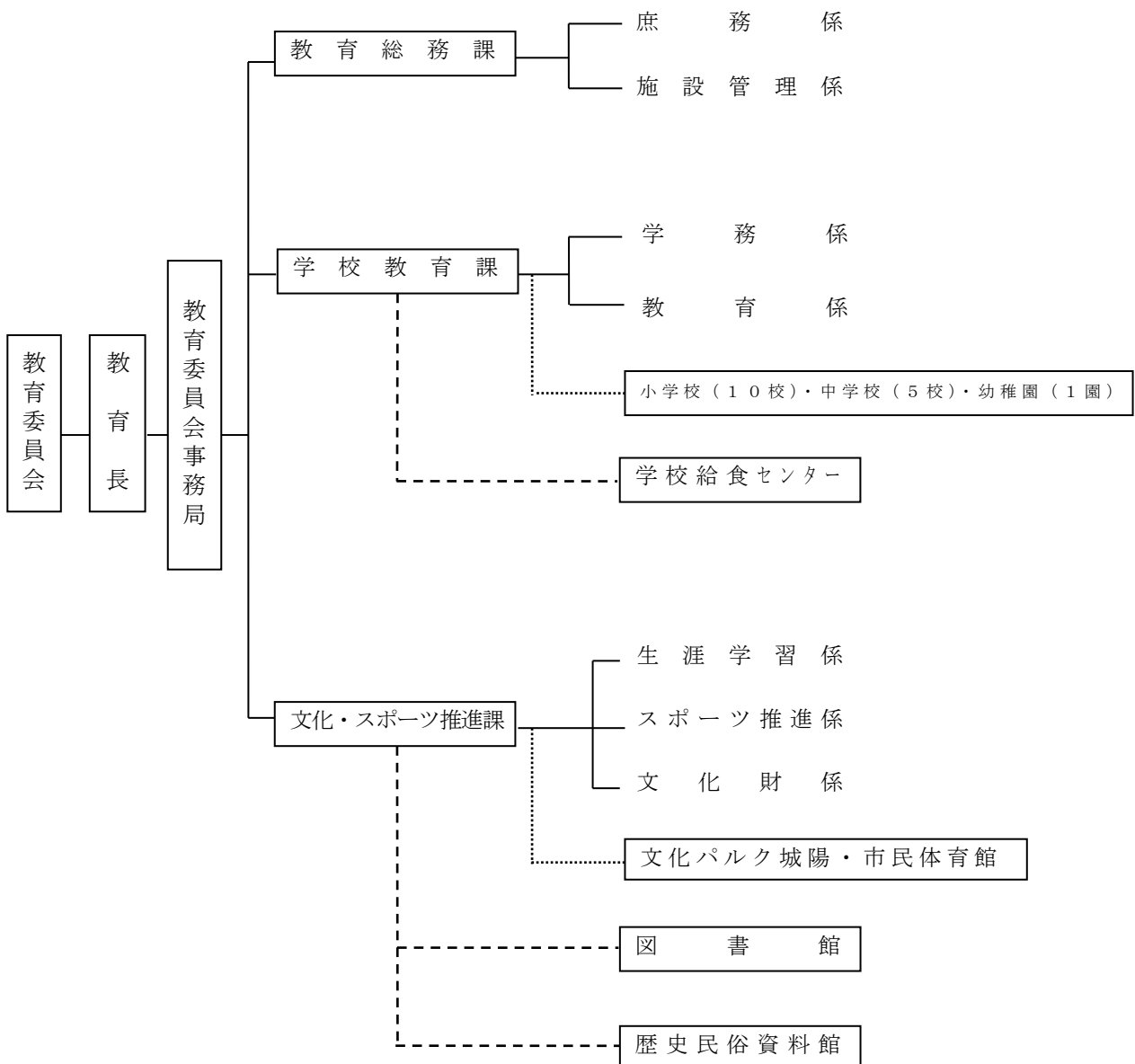
3. 教育委員会事務局・教育機関

事務局の所在地

〒610-0195 城陽市寺田東ノ口16番地、17番地
 電 話 (0774) 56-4003 教育総務課
 (0774) 56-4004 学校教育課
 (0774) 56-4047・4059・4048・4049 文化・スポーツ推進課

事務局組織機構

(平成29年4月1日現在)



教育委員会事務分掌

教 育 総 務 課	
庶 務 係	<ul style="list-style-type: none"> (1) 教育委員会の会議に関する事。 (2) 教育委員会の行う表彰に関する事。 (3) 事務局及び教育機関の職員（府費負担教職員を除く。）の任免その他の人事に関する事。 (4) 教育委員会規則等の制定及び改廃に関する事。 (5) 教育行政の調査及び研究に関する事。 (6) 教育行政の相談に関する事。 (7) 文書の收受に関する事。 (8) 公印の管守に関する事。 (9) 奨学金等の交付に関する事。 (10) 事務局内他課の所管に属さない事。 (11) 事務局内の庶務及び調整に関する事。
施 設 管 理 係	<ul style="list-style-type: none"> (1) 学校施設の建設計画に関する事。 (2) 学校施設の取得及び処分の申出に関する事。 (3) 学校施設の管理に関する事。 (4) 通学の安全指導及び通学路に関する事。 (5) 学校作業員の配置の調整に関する事。 (6) 学校施設の改良及び維持補修に関する事。 (7) 教育施設等の補修に関する事。
学 校 教 育 課	
学 務 係	<ul style="list-style-type: none"> (1) 府費負担教職員の人事に関する事。 (2) 教職員の研修に関する事。 (3) 学級編制に関する事。 (4) 児童及び生徒の就学に関する事。 (5) 通学区域に関する事。 (6) 学校保健に関する事。 (7) 学校安全に関する事。 (8) 私立幼稚園に関する事。 (9) 学校給食センターとの調整に関する事。 (10) 英語指導助手に関する事。
教 育 係	<ul style="list-style-type: none"> (1) 幼稚園及び学校の運営に関する事。 (2) 幼稚園及び学校における教育計画の指導に関する事。 (3) 児童及び生徒の指導及び教育相談に関する事。 (4) 幼稚園及び学校の予算配分に関する事。 (5) 教科用図書の採択に関する事。 (6) 教科用図書の給与に関する事。 (7) 教材、教具その他学校の備品の整備に関する事。 (8) 就学援助及び特別支援教育就学奨励に関する事。 (9) 心身に障がいがある児童及び生徒の就学に関する事。 (10) 教育広報紙の発行に関する事。

文化・スポーツ推進課

生涯学習係	<ul style="list-style-type: none"> (1) 生涯学習に関する施策の総合的な企画及び調整に関すること。 (2) 生涯学習推進会議等に関すること。 (3) 文化パーク城陽に関すること。 (4) 公益財団法人城陽市民余暇活動センターに関すること。 (5) 社会教育委員に関すること。 (6) 社会教育備品の保管及び貸出しに関すること。 (7) 公民館の管理及び運営に関すること。 (8) 生涯学習事業の実施に関すること。 (9) 人権教育の推進に関すること。 (10) 青少年健全育成の団体等に関すること。 (11) 青少年健全育成事業の実施に関すること。 (12) 青少年問題に係る立入調査等に関すること。 (13) 図書館との調整に関すること。
スポーツ推進係	<ul style="list-style-type: none"> (1) スポーツ推進委員に関すること。 (2) 社会体育施設に関すること。 (3) 市民のスポーツ及びレクリエーションに関すること。 (4) 総合運動公園の管理に関すること。
文化財係	<ul style="list-style-type: none"> (1) 文化財保護審議会に関すること。 (2) 文化財の保護及び活用に関すること。 (3) 文化財の調査に関すること。 (4) 歴史民俗資料館との調整に関すること。

歴史民俗資料館

	<ul style="list-style-type: none"> (1) 城陽市歴史民俗資料館に関すること。 (2) 市史に関すること。
--	--

学校給食センター

	<ul style="list-style-type: none"> (1) 学校給食に係る施設及び設備の管理に関すること。 (2) 物資の購入に関すること。 (3) 献立の作成に関すること。 (4) 栄養の指導に関すること。 (5) 調理の指導に関すること。 (6) 衛生管理の指導に関すること。 (7) その他学校給食に関すること。
--	---

図 書 館

- (1) 図書館資料の収集、整理及び保存に関すること。
- (2) 図書館資料の貸出及び返却に関すること。
- (3) 読書案内及びレファレンスに関すること。
- (4) 読書推進事業に関すること。
- (5) 図書館協議会に関すること。
- (6) 施設の管理に関すること。
- (7) その他図書館奉仕に関すること。

事務局・教育機関職員数

(平成30年1月1日現在)

種別 所属	管理職員 (正規職員)	一般職員 (正規職員)	正規職員計	嘱託職員 (週30時間未満を含む)
教育長	1	—	1	
教育部長	1	—	1	
教育部次長	2	—	2	
教育総務課	(兼務1)	9	9	学校施設作業員4 学校作業員4 交通指導員21
学校教育課	1 主幹3	5	9	指導主事3 事務嘱託員3 青少年教育指導員4 図書館司書5 英語指導助手5
文化・スポーツ推進課	(兼務1) 主幹2	8	10	社会教育指導員2 事務嘱託員2 青少年教育指導員3 公民館主事1 社会体育担当指導員1
歴史民俗資料館	—	1	1	歴史民俗資料館長1 学芸員4 古文書・民俗文化財調査員1 埋蔵文化財調査員2
学校給食センター	1	2	3	管理栄養士1 給食配膳員29
図書館	—	1	1	図書館長1 図書館司書17
小学校 (教育総務課)	—	作業員3	3	
中学校	—	—	—	
幼稚園	1	教諭2	3	幼稚園教諭1 幼稚園教諭(パート)1 幼稚園作業員1
計	12	31	43	

※ 小中学校の府費負担教職員を除く

4. 予算・決算

城陽市一般会計 歳出当初予算

区分	26年度		27年度		28年度		29年度	
	予算額 (千円)	構成比 (%)	予算額 (千円)	構成比 (%)	予算額 (千円)	構成比 (%)	予算額 (千円)	構成比 (%)
議会費	260,980	1.0	283,516	1.0	260,967	0.9	260,715	0.9
総務費	3,145,955	12.6	3,411,141	12.2	3,985,500	14.0	4,095,841	14.0
民生費	10,398,875	41.6	10,570,609	37.8	10,973,947	38.6	11,122,033	38.0
衛生費	1,673,568	6.7	1,644,033	5.9	1,684,645	5.9	1,737,175	5.9
土木費	3,039,151	12.2	2,977,752	10.6	3,645,181	12.8	4,060,047	13.9
消防費	861,925	3.5	859,739	3.1	860,766	3.0	1,868,511	6.4
教育費	1,757,273	7.0	2,563,654	9.2	2,799,726	9.8	2,120,189	7.2
公債費	3,178,690	12.7	5,019,393	17.9	3,590,218	12.6	3,330,250	11.4
その他	655,583	2.6	666,163	2.4	658,050	2.3	682,239	2.3
合計	24,972,000	100.0	27,996,000	100.0	28,459,000	100.0	29,277,000	100.0

城陽市一般会計 歳出決算

区分	26年度		27年度		28年度	
	決算額 (千円)	構成比 (%)	決算額 (千円)	構成比 (%)	決算額 (千円)	構成比 (%)
議会費	249,509	1.0	275,725	1.0	257,060	0.9
総務費	3,370,322	13.5	3,890,242	13.5	3,906,066	14.1
民生費	10,364,940	41.5	10,795,081	37.6	11,045,683	39.8
衛生費	1,663,154	6.7	1,607,360	5.6	1,611,599	5.8
土木費	2,479,139	9.9	3,143,328	10.9	3,442,710	12.4
消防費	921,900	3.7	877,090	3.1	879,916	3.2
教育費	2,124,044	8.5	2,401,817	8.4	2,470,507	8.9
公債費	3,164,312	12.7	4,998,249	17.4	3,501,595	12.6
その他	630,062	2.5	748,841	2.6	640,342	2.3
合計	24,967,382	100.0	28,737,733	100.0	27,755,478	100.0

※1 目的別・人件費含む

※2 その他とは、労働費・農林水産業費・商工費・災害復旧費・予備費である。

※3 合計に対する各区分の割合については、各区分で四捨五入しているため、合計が一致しない場合がある。

教育費 歳出当初予算

区分	26年度		27年度		28年度		29年度	
	予算額 (千円)	構成比 (%)	予算額 (千円)	構成比 (%)	予算額 (千円)	構成比 (%)	予算額 (千円)	構成比 (%)
教育総務費	248,818	14.2	235,525	9.2	245,427	8.8	258,016	12.2
教育委員会費	5,454		5,346		5,091		5,098	
事務局費	243,364		230,179		240,336		252,918	
小学校費	338,559	19.3	501,207	19.6	1,343,051	48.0	672,089	31.7
学校管理費	225,906		220,045		206,892		181,784	
教育振興費	112,653		138,955		120,548		116,927	
学校建設費	0		142,207		1,015,611		373,378	
中学校費	216,933	12.3	855,956	33.4	239,097	8.5	197,376	9.3
学校管理費	104,705		117,600		126,340		103,615	
教育振興費	94,728		92,993		112,757		93,761	
学校建設費	17,500		645,363		0		0	
幼稚園費	152,022	8.7	147,369	5.7	156,987	5.6	151,894	7.2
社会教育費	279,457	15.9	289,749	11.3	283,840	10.1	277,046	13.1
社会教育総務費	125,070		131,822		123,204		115,427	
公民館費	11,825		12,268		12,513		12,439	
図書館費	85,033		85,869		88,720		90,077	
文化財保護費	22,103		23,850		22,763		22,711	
歴史民俗資料館費	35,426		35,940		36,640		36,392	
保健体育費	521,484	29.7	533,848	20.8	531,324	19.0	563,768	26.6
保健体育総務費	72,411		75,145		76,641		77,168	
学校給食費 (学校給食施設費) ※3	449,073		458,703		454,683		486,600	
合計	1,757,273	100.0	2,563,654	100.0	2,799,726	100.0	2,120,189	100.0

※1 目的別・人件費含む

※2 合計に対する各区分の割合については、各区分で四捨五入しているため、合計が一致しない場合がある。

※3 H29年より学校給食施設費から学校給食費に名称を変更

教育費 歳出決算

区分	26年度		27年度		28年度	
	決算額 (千円)	構成比 (%)	決算額 (千円)	構成比 (%)	決算額 (千円)	構成比 (%)
教育総務費	297,408	14.0	238,814	9.9	239,293	9.7
教育委員会費	5,380		5,233		4,911	
事務局費	292,028		233,581		234,382	
小学校費	552,382	26.0	488,833	20.4	1,040,382	42.1
学校管理費	231,644		221,096		222,874	
教育振興費	111,927		138,404		116,600	
学校建設費	208,811		129,333		700,908	
中学校費	301,574	14.2	713,954	29.7	226,368	9.2
学校管理費	121,607		116,881		127,112	
教育振興費	90,505		90,349		99,256	
学校建設費	89,462		506,724		0	
幼稚園費	143,666	6.8	142,244	5.9	149,790	6.1
社会教育費	288,320	13.6	278,785	11.6	278,521	11.3
社会教育総務費	134,603		124,115		122,203	
公民館費	13,000		13,655		12,758	
図書館費	85,004		84,905		88,174	
文化財保護費	20,893		21,446		19,209	
歴史民俗資料館費	34,820		34,664		36,177	
保健体育費	540,694	25.5	539,187	22.4	536,153	21.7
保健体育総務費	78,637		76,980		78,531	
学校給食施設費	462,057		462,207		457,622	
合計	2,124,044	100.0	2,401,817	100.0	2,470,507	100.0

※1 目的別・人件費含む

※2 合計に対する各区分の割合については、各区分で四捨五入しているため、合計が一致しない場合がある。

学 校 教 育

1. 学校教育指導の指針
2. 園児・児童・生徒数
3. 教職員数
4. 通学区域
5. 教科書
6. 進路状況
7. 特別支援学級
8. 就学（園）奨励
9. 学校安全
10. 学校施設の概要
11. 奨学金
12. 学校給食

学 校 教 育

1. 学校教育指導の指針

城陽市の学校教育は、学習指導要領並びに京都府教育委員会の「学校教育の重点」等を踏まえ、知・徳・体の調和のとれた発達を図り、基本的人権を尊重し、国際感覚を身に付けた心豊かな人間の育成を目指すものである。

この目標を達成するため、各学校(園)においては校(園)長のリーダーシップの下、自校(園)の教育目標と経営方針を明確にし、創意ある教育課程を編成しながら、特色ある学校づくりを通して、質の高い学力、豊かな人間性、たくましく健やかな身体などの育成を目指し、日々の教育活動の充実に努める。具体的には、京都府の教育振興プランに示された「包み込まれているという感覚」を基盤として「展望する力」「つながる力」「挑戦する力」の3つの「はぐくみたい力」の調和を大切にした教育を進める。このため、常に全教育活動の評価と改善、各種の連携を推進し、学校教育の一層の充実と向上に努める。

平成29年度 重点目標

- 1 質の高い学力をはぐくむ
- 2 人を思いやり尊重する心など、豊かな人間性をはぐくむ
- 3 たくましく健やかな身体をはぐくむ
- 4 一人一人を大切にし、個性や能力を最大限に伸ばす
- 5 社会の変化に対応し、よりよい社会の構築に貢献できる力をはぐくむ
- 6 安心・安全で充実した教育の環境を整備する
- 7 学校の教育力の向上を図る
- 8 すべての教育の出発点である家庭教育を支援する
- 9 地域社会の力を活かして子どもをはぐくむ環境をつくる
- 10 生涯学習社会の実現に向けて学習環境を充実させる

－質の高い学力－

◇基礎的・基本的な知識・技能の習得

◇知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等

◇主体的に学習に取り組む態度

これらが統合された学力を「質の高い学力」という

－3つの「はぐくみたい力」－

◇展望する力・・・夢と希望を持ち、生涯にわたって自ら学び自らを高め、未来を見通し切り拓く力

◇つながる力・・・豊かな感性と情緒、人権意識、道徳心を身に付け、社会を担う責任を自覚し、自然、人、社会とつながり共生できる力

◇挑戦する力・・・自らの目標を実現するため、失敗を恐れず挑戦し続ける、強くしなやかな意志と、健康でたくましく生きる力

1 質の高い学力をはぐくむ

(1) 基礎・基本の定着

ア 学力の充実・向上を目指す取組を計画的、組織的に進める。

- ・「読み・書き・算数・表現力」の伸長を大切にした取組の推進
- ・各学校の重点研究の推進
- ・小学校教育研究会、中学校教育研究会等における研究の推進
- ・研究指定校の研究成果を活用

イ 各種の学力診断テスト等の結果を活用した学習状況の的確な把握と個に応じた指導など授業改善に努める。

- ・小学校は全学年で標準学力調査、中学校3年は実力テスト等を実施
- ・小学校4年、中学校1年、2年は府学力診断テストを実施
- ・小学校6年、中学校3年は全国学力・学習状況調査を実施

ウ 各教科等の指導に当たっては、ICTを積極的に活用し、教材・教具の適切な活用を図る。

エ ユニバーサルデザインの視点（見通し、視覚化、肯定的評価、環境づくり等）を踏まえ、すべての子どもたちにわかりやすい授業づくりに努める。

オ 読書活動を教育活動の中に適切に位置付ける。

- ・朝の読書、ボランティアによる読み聞かせ等の充実

カ 「小学生個別補充学習（ジュニアわくわくスタディ）」、「中1振り返り集中学習（ふりスタ）」、「中2学力アップ集中講座」等を積極的に活用し、基礎・基本の徹底を図る。

キ 市学力向上等推進委員会を設置し、授業力向上のための研修会等を実施する。

- ・大学教授等の指導による授業力向上のための研修を実施

(2) 活用する力の育成

ア 基礎・基本を徹底し、知識・技能を活用する学習活動の充実を図る。

- ・課題を発見し、解決に向けて主体的・対話的で深い学びを大切にした学習を推進
- ・「やましろ授業スタンダード」等を活用した授業改善の推進

イ 言語活動の充実を図る取組を各教科・領域の年間指導計画に位置付け、思考力・判断力・表現力等を育成する。

- ・俳句や古典文学など伝統的な言語文化に親しみ、豊かな言語能力を養う場面の設定

(3) 学習意欲の向上

- ア 児童生徒のよい点や進歩の状況などを積極的に評価し、学習意欲の向上に努める。
 - ・各教科の観点別評価規準、具体的評価規準を明確にし、学習過程の各段階における適切な評価
- イ 家庭との連携を進め、学習習慣の定着に向けた取組を充実する。
 - ・家庭学習の習慣化に向けて、各校の創意ある指導を推進
- ウ 研究者や社会人の専門性を活かした授業を実施する。
 - ・地域の社会人講師や「子どもの知的好奇心をくすぐる体験授業」、「結ネットKYOTO」等の活用
- エ 英語指導助手(AET)の効果的な活用を一層推進する。

2 人を思いやり尊重する心など、豊かな人間性をはぐくむ

(4) 人を思いやり、尊重する心の育成

- ア 校長のリーダーシップの下、道徳教育の基本的な方針を明確にし、心の教育の充実を図る。
- イ 道徳教育推進教師を中心とした校内推進体制の充実を図る。
- ウ 児童生徒の心に響き、道徳的価値の自覚を促す指導方法についての研修を充実する。
 - ・《道徳教育の進め方》京都式ハンドブックの有効活用
 - ・市学力向上等推進委員会において、道徳の教科化を見据えた研修会等を実施
- エ 「京の子ども 明日へのとびら」、「私たちの道徳」、各校の道徳副読本（市補助）等の資料の有効な活用を図る。
 - ・「京の子ども 明日へのとびら」実践事例集第2集等の活用
- オ 年間指導計画の作成に当たっては、内容項目と道徳の時間以外の道徳教育の指導内容と時期に配慮し、相互に効果を高め合うように工夫する。

(5) 豊かな感性、情緒の育成

- ア 豊かな体験活動及び豊かな心を育てる読書活動を進め、道徳の時間との関連を図るなどして、児童生徒の道徳性を育てる。
 - ・学校の工夫を活かしたボランティア活動等の社会奉仕体験や自然体験活動等、豊かな体験活動と道徳の時間等の指導を融合させ道徳的実践力を育成

(6) 読書活動を通じた創造力、表現力の育成

- ア 読書活動を教育活動に適切に位置付け、児童生徒の読書意欲の向上や読書習慣の形成などに努めるとともに、図書館司書等の有効な活用により学習・情報センターとして学校図書館の機能の一層の充実を図る。
 - ・朝の読書、ボランティアによる読み聞かせ、家庭における読書活動等の推進
- イ 各教科等における言語活動の充実を図る。
- ウ 府、本市の「子どもの読書活動推進計画」を踏まえ、家庭、地域社会、学校等が一体となり社会総がかりで子どもの読書活動を推進する。
 - ・府立図書館の学校支援セット貸出の有効活用
- エ 学校図書館を計画的に活用し、市立図書館との連携を図る。

- ・調べ学習での学校図書館の積極的活用
- ・市立図書館の巡回図書やお話キャラバン等の有効活用
- ・市立図書館配布の「おすすめブックリスト100」等の活用推進

(7) 京都の伝統と文化を守り、受けつぎ、新たな文化を創造する心と技の育成

- ア 「KYO発見 仕事・文化体験活動」等の事業を活用し、伝統や文化を学ぶ機会や体験活動等の充実を図る。
- イ 身近にある地域の文化や文化財を教材として取り扱う。
 - ・本市立図書館、歴史民俗資料館、プラネタリウム、コミュニティセンター図書室や社会科副読本「わたしたちの城陽市」等の積極的活用

3 たくましく健やかな身体をはぐくむ

(8) 体力の向上

- ア 小学校における「京の子ども元気なからだスタンダード」等の活用を図る。
- イ 体力・運動能力の課題解決に向けた「体力向上推進プロジェクト」の取組を推進する。
 - ・新体力テストの結果から、自己の体力について理解させ、学校段階の接続及び発達の段階に応じた取組の実施
- ウ 「運動部活動指導ハンドブック」を活用した運動部活動の充実と指導方法の工夫改善に努める。

(9) 健やかな身体の育成

- ア 学校保健計画に基づく保健学習と保健指導の充実を図る。
 - ・スリムになっていきいき教室（肥満指導）やフッ化物洗口等、現代的健康課題の対応を含む保健管理と保健教育の推進
 - ・教科との関連を図りながら発達の段階を考慮した、性に関する教育の適切な指導
- イ 家庭や地域社会、関係機関と連携を図りながら、児童生徒の薬物乱用防止のための教育を徹底する。

(10) 食育の推進

- ア 食に関する指導計画に基づく教科横断的な指導の充実を図る。
- イ 学校給食を中心として食育を推進する。
 - ・本市の学校給食において、地場産物の活用や食文化への理解の促進など、本市の特色を活かした食育の取組を推進

4 一人一人を大切にし、個性や能力を最大限に伸ばす

(11) 魅力ある学校づくり

- ア 創意工夫を生かした教育課程を編成・実施し、特色ある学校づくりを通して教育の活性化を図る。
- イ 京都府や本市が実施する各事業等の活用により、創意ある教育活動を展開する。

- ウ 地域の自然、人材、組織、機関等の資源を積極的に活用し、ふるさと意識の醸成に努める。
- エ 学校評価の充実や積極的な情報提供に努めるとともに、城陽方式によるコミュニティ・スクールの充実により、地域の教育力を活かした教育活動を一層推進する。
- オ 城陽方式による土曜日を活用した教育を推進する。

(12) 人権教育の推進

- ア 自校の課題を明確にした人権教育推進計画を基に、一人一人を大切にしたい教育を推進する。
- イ 基本的人権や同和問題、いじめ問題など様々な人権問題についての正しい理解や認識の基礎を培い、問題解決のために行動できる技能や能力を育成する。
- ウ 互いの個性や価値観の違いを認め、自分の大切さとともに他の人の大切さを認める資質・能力を育成する。
- エ 「人権学習資料集」等の教材を有効に活用し、指導方法等の工夫改善に努める。
- オ 校種間の連携及び学校間の交流を強化し、児童生徒の発達段階に即した体系的・計画的な人権教育を推進する。
- カ 全教職員が、確かな人権意識を持ち、様々な人権問題についての正しい理解と認識を深め、人権教育推進上必要な知識・技能を向上させるため、研鑽に努める。

(13) 特別支援教育の推進

- ア 校(園)内委員会や特別支援教育コーディネーターの機能的な活用と特別支援教育支援員等の有効な活用を図り、特別支援教育を充実する。
- イ 児童生徒本人及び保護者との連携協力のもと「個別の教育支援計画」「個別の指導計画」の作成とその積極的活用を図る。
- ウ 障がいについて正しく認識するとともに、具体的な指導の在り方についての研修を一層深める。
- エ 関係諸機関との連携を深め、就学相談、教育相談、進路相談等の相談活動を充実させ、より有効な指導を図る。
- オ インクルーシブ教育システム構築に向けて、交流及び共同学習をさらに充実させるとともに、合理的配慮の観点を踏まえ、一人一人の障がいの状態や教育的ニーズに応じた支援を充実する。

(14) 幼児教育の推進

- ア 幼稚園教育要領に基づき、創意工夫を活かした教育課程を編成し、特色ある園づくりに努める。
- イ 保育に当たっては、集団での遊びを通して、きまりの必要性について気付くなど、規範意識の基盤を支え、善悪を判断する力や思いやりの心を育てる。
- ウ 多様な体験、絵本や物語などに親しむ活動などを積極的に取り入れ、思いや気持ちを表現する活動を大切にする。
- エ 楽しく体を動かす遊びを通して、幼児期に必要な多様な動きを獲得し、体力・運動能力の基礎を培う。
- オ 幼児期の教育が小学校以降の生活や学習の基盤の育成につながることに配慮し、家庭や幼稚園・保育所、小学校との連携を強化する。

- カ 体験入学等を活用するなど、幼児教育と小学校教育との円滑な接続を図るためにカリキュラムを充実する。
- キ 家庭との連携を強化し、預かり保育を推進するとともに、子育てに関する相談などに応じ、幼児教育センターとしての役割を積極的に果たす。

(15) キャリア教育の推進

- ア キャリア教育を年間指導計画に位置付けて、積極的な推進を図る。
- イ 啓発的経験を得させる活動を充実し、発達段階に応じた組織的・系統的なキャリア教育を推進する。
 - ・小学校では、児童の勤労観や職業観の育成につながる学習の充実
 - ・中学校では、職場体験学習等の充実
- ウ 学級活動における進路指導の充実に努める。
- エ 進路相談を充実して、児童生徒を多面的に理解し、より豊かに自己を活かす能力や態度の育成に努める。
 - ・三者面談、高校体験学習、説明会等を通して、主体的な進路選択に向けた指導の充実

(16) スポーツの推進

- ア 競技スポーツの充実のため、家庭、校種間、地域のスポーツクラブ、競技団体等との連携を進め、競技力の向上に努める。

5 社会の変化に対応し、よりよい社会の構築に貢献できる力をはぐくむ

(17) 規範意識やコミュニケーション能力を高める教育の推進

- ア 学級活動や道徳の時間での指導、非行防止教室等の活用及び家庭との連携により規範意識の醸成を図る。
 - ・法をはじめ、実生活の中でのルールやきまりについて、自ら考え、理解し、行動に移す能力の育成
 - ・「法やルールに関する教育」ハンドブック、実践事例集を活用し、各校の特色や状況に応じた指導計画の作成と指導方法の工夫

(18) 公共の精神や社会参画の意識をはぐくむ教育の推進

- ア ボランティア活動や地域に根ざした活動などを通して、社会に貢献する心やリーダーシップの育成を図る。
- イ 国や社会の問題を自分の問題として捉え、主権者として自ら判断し行動できる資質や能力を育成する。

(19) 現代的課題に対する関心を高め、理解を深める教育の推進

19-1 環境教育の推進

- ア 環境の保全やよりよい環境づくりに主体的に取り組む態度や能力の育成に努める。
 - ・各教科、児童会、生徒会、地域などでの積極的な取組

- ・ J－EMSエコスクールの取組を通して、環境にやさしい学校づくりと環境の保全に配慮した実践的な態度の育成
- イ 校種間の連携や家庭、地域社会、関係諸機関との連携による環境教育の推進を図る。
- 19-2 情報教育の推進
 - ア 情報通信ネットワークやコンピュータ等の情報手段を適切に活用する能力の育成を図る。
 - ・ 「情報活用の実践力」「情報の科学的な理解」「情報社会に参画する態度」で構成される情報活用能力の育成
 - イ 情報に関するルール・マナー等、発達段階に応じた情報モラルの指導を徹底する。
 - ・ 情報化の影の部分についての理解、個人情報取扱いと著作権等についての指導の徹底
- 19-3 国際理解教育の推進
 - ア 人権尊重の精神を基盤にして、我が国の文化と伝統を尊重するとともに、体験的な学習や課題学習等から異文化を理解・尊重する資質や能力の育成を図る。
 - イ 姉妹都市等海外の小中学校との交流や相互の学校訪問による国際交流を図る。
 - ウ 国際化が進展する中、我が国の国歌と国旗の意義を理解し、尊重する態度を育てるとともに、諸外国の国歌と国旗も同様に尊重する態度を育てる。

(20) グローバル化に対応できる人材の育成

- ア 小学校における外国語活動を通じ、コミュニケーション能力の素地の育成を図る。
- イ A E Tの活用と連携の下、教員の英語や外国語活動の指導力の向上を図る。
- ウ 京都にある最先端の資源（人的・物的）を活用し、将来のスペシャリストの積極的な育成を図る。

6 安心・安全で充実した教育の環境を整備する

(21) 学校危機管理・安全対策の充実

- ア 学校安全計画を策定し、児童生徒の安全確保を図るための取組を行う。
 - ・ 防犯訓練、防犯教室、避難訓練、交通安全教室、地域見守り隊の取組等を実施
 - ・ 施設・設備の安全点検、安全指導の実施
 - ・ 学校独自の「危険等発生時対処要領（危機管理マニュアル）」の検証と改善
 - ・ 「通学路あんぜんマップ」の作成と活用
- イ 防災教育や安全教育を計画的に実施し、危機対応能力（自ら判断し、自ら行動する力）を育成する。

(22) いじめや暴力行為の防止対策の充実

- ア いじめ、暴力行為、不登校の未然防止や早期発見・早期対応に努める。
 - ・ 府、本市及び学校の「いじめ防止基本方針」を踏まえ、いじめ防止のための対策に関する基本的な方針に基づく指導の推進

(23) 不登校の子どもへのきめ細やかな支援の充実

- ア 不登校やいじめ問題について、スクールカウンセラー、心の教室相談員と連携し、教育相談の充実に努める。
- イ スチューデントリーダーやスクールサポーター等の有効な活用と生徒指導体制の充実に努める。
- ウ 適応指導教室（ふれあい教室）との連携を図る。

(24) 経済的に困難な環境にある子どもへの支援

- ア 家庭の経済的な理由で子どもの学習機会がそこなわれることのないよう、就・修学等を支援するための援護制度を周知・徹底する。

(25) 学校施設整備の充実

- ア 施設や施設整備を活かした教育環境づくりを推進する。
- イ 防災拠点等、多様な人々の利用に配慮した施設整備に努める。

7 学校の教育力の向上を図る

(26) 質の高い教育環境の充実

- ア 学校図書館の教育的機能の充実と積極的な活用を図る。
- イ ユニバーサルデザインの考え方を踏まえた、安心・安全に学習できる教育環境づくりを推進する。

(27) きめ細かな指導体制の充実

- ア 「子どものための京都式少人数教育」の趣旨を活かし、児童生徒一人一人に応じたきめ細かな学習指導方法の工夫改善に努める。
- イ 城陽市教育充実補助員、学習支援員の有効な活用を図る。

(28) 教職員が子どもに向き合える環境づくり

- ア 教員相互の連携・協働を進める方法を工夫し、教員が一人一人の子どもに向き合う時間の一層の確保に努める。

(29) 教職員の資質・能力の向上

- ア 教職員は、教育公務員として公教育に課せられた使命と責任を自覚し、教育関係諸法令を遵守する。
- イ 教職員は、豊かな人間性、広い社会性及び高い専門性を基盤とした実践的指導力の向上を図り、市民の信託と期待に応えるよう努める。
- ウ 教職員人事評価の活用などを通して、教員の資質・能力の向上に努める。
- エ 教職員は、校（園）内年間研修計画による研修、京都府教育委員会・本市教育委員会による研修、その他公教育を進める各研修会等に積極的に参加し、指導力を向上させ、学校全体の教育力の向上に努める。

- オ 公教育を進める研究会は、教育委員会と密接に連携し、教育水準の維持、向上を図るため、それぞれの教育課題を踏まえた研究活動を進める。
- カ 体罰の根絶に向けた教職員の意識改革と部活動等における指導方法の改善に努める。
- キ 児童生徒の実態把握と分析を進め、課題の解決に向けた校内研修を充実する。

(30) 校種間(保幼小中高) 連携の充実

- ア 体験入学や交流活動等、校種を越えた取組を推進する。
- イ 幼保小連携、小中連携等、校種間の連携に努める。
 - ・中学校区における教科、生徒指導、人権教育等の小中連携
 - ・学校地域連携推進事業等における校種間、家庭、地域社会との連携

(31) 家庭や地域社会とつながり、信頼される学校づくり

- ア 学校から家庭や地域社会への積極的な情報発信及び学校関係者評価の充実を図る。
 - ・学校だより、各種説明会、ホームページ等を通じて学校の情報の積極的な発信
- イ 学校評価等を活用しながら開かれた学校づくりを進め、信頼される学校づくりに努める。
- ウ 城陽方式によるコミュニティ・スクールの充実により、保護者や地域の人々が学校運営に参画し、学校と地域が一体となってよりよい教育の実現を目指すとともに、学校から地域社会への貢献という双方向の連携に努める。

8 すべての教育の出発点である家庭教育を支援する

(32) 学習機会の充実

- ア 子どもの生活習慣の確立や豊かな心の育成のための保護者の学習活動への協力に努める。
 - ・PTA等と連携し、「親のための応援塾」による就学前の子どもを持つ親への支援

(33) サポート体制の充実

- ア 児童虐待を防止するための「児童虐待防止リーフレット」の活用や校内相談体制の整備、関係機関との連携強化に努める。

(34) ネットワークづくり

- ア 薬物乱用防止やネットトラブル等に関する学習資料を活用し、保護者等の研修の実施及び保護者同士のネットワークづくりを進める。

9 地域社会の力を活かして子どもをはぐくむ環境をつくる

(35) 子どもの活動の場の充実

- ア 地域の教育力を活かした体験活動や学習活動を推進する。
- イ 障がいのある子どもと障がいのない子どもが共に行う、子どもの居場所づくりを推進する。

(36) 学校を支援する活動の充実

ア コミュニティ・スクールや「学校支援地域本部事業」などを活かし、学校における学習活動、安全確保、環境整備等で活躍する地域ボランティアとの連携を進める。

(37) 子どもの健全育成のための環境づくり

ア 子どもの健全育成に向けた学校・家庭・地域社会・関係諸機関のネットワークの充実を図る。

・各中学校区の学校地域連携推進事業などを活かし、地域全体で子どもをはぐくむ取組を推進

10 生涯学習社会の実現に向けて学習環境を充実させる

(38) 生涯学習施設などを活用した学習活動の充実

ア 子どもたちの体験活動、学習活動を充実させるため、府立図書館・少年自然の家・郷土資料館、市立図書館・歴史民俗資料館・プラネタリウム・コミュニティセンター図書室等を積極的に活用する。

各校の教育目標等（平成 29 年度）

1 小学校

学校名	教育目標	指定研究等
久津川小学校	意欲的に学び、質の高い学力とたくましく健やかなからだを身に付けた人間性豊かな児童の育成	平成 29 年度 城陽市「特別支援教育充実事業」指定校
古川小学校	意欲的に学び、質の高い学力とたくましく健やかなからだを身に付けた人間性豊かな児童の育成	平成 29 年度 城陽市「特別支援教育充実事業」指定校 平成 29 年度少人数学級編成による指導方法の改善に係る研究指定校
久世小学校	質の高い学力と豊かな人間性を身に付け、生きる力に結び付く行動力・実践力のある児童を育成する。	平成 29 年度 城陽市「特別支援教育充実事業」指定校 平成 29 年度少人数学級編成による指導方法の改善に係る研究指定校 平成 29 年度～31 年度京都府小学校教育研究会音楽科部会研究指定校 平成 29 年度城陽市小中学校研究指定校
深谷小学校	ふるさとを愛し 学び続ける 心豊かな児童の育成 ◇人間尊重の精神に徹し、児童の個性を生かした可能性を引き出すとともに、確かな学力、豊かな心、健康でたくましい体を育て、勤労と責任を重んじる態度を育てる。 ◇人間への深い愛情と郷土・自然愛をはぐくみ、国際感覚を身に付けるなど、社会の変化に柔軟に対応できる実践力のある児童を育成する。	平成 29 年度 城陽市「特別支援教育充実事業」指定校 平成 27 年度～29 年度京都府小学校教育研究会理科部会研究指定校 平成 29 年度城陽市小中学校研究指定校
寺田小学校	「思いやりのあるねばりづよい子どもの育成」を推進し、めざす児童像の具現化を図る。 ＜めざす児童像＞ 「考える子」 「思いやりのある子」 「ねばりづよい子」 「じょうぶな子」	平成 29 年度 城陽市「特別支援教育充実事業」指定校 平成 20～29 年度京都府指定「京都教育大学大学院連合教職実践研究科」連携協力校 平成 22～29 年度京都府「教師力養成講座」実践実習校 平成 29 年度城陽市小中学校研究指定校
寺田南小学校	質の高い学力と豊かな人間性をはぐくみ、たくましく健やかな児童の育成を目指す。	平成 29 年度 城陽市「特別支援教育充実事業」指定校 平成 29 年度「英語教育強化事業」研修協力指定校

学 校 名	教 育 目 標	指 定 研 究 等
寺田西小学校	確かな学力と豊かな人間性を身に付け、生きる力に結び付く行動力・実践力のある児童を育成する。	平成29年度特別支援教育充実に係る研究実践校（『やましろ未来っ子』研究推進校）
今池小学校	学び合い、心豊かに、たくましく — 個が輝き、地域に愛される学校 —	平成29年度特別支援教育充実に係る研究実践校（『やましろ未来っ子』研究推進校） 平成29年度 「心の居場所サポーター」活用調査研究事業校 平成29年度少人数学級編成による指導方法の改善に係る研究指定校
富野小学校	(1)「夢と希望に向かって 自ら学び 助け合い たくましく生きる 児童」の育成 (2)めざす児童像 ○深くみつめ、よく考える子（思考・判断・創造） ○仲よく助け合う子（人権尊重・信頼・友情・協力） ○ねばり強くがんばる子（努力・責任・根気） ○明るく元気な子（健康・明朗・勇気）	平成29年度 城陽市「特別支援教育充実事業」指定校 平成29年度少人数学級編成による指導方法の改善に係る研究指定校 平成29年度「食に関する指導充実事業」指定校 平成29年度京都府「学習習慣確立支援事業」実施校 平成29年度 スクールカウンセラー活用事業校
青谷小学校	(1)本校の校訓 「元気で(生命尊重) まじめに(心の基盤形成) やり通せ(意欲)」…本校の普遍的な教育目標 ☆めざす児童像 ○よく考える子…思考・判断・創造 ○仲よくする子…人権尊重・信頼・友情 ○やりぬく子 …努力・責任・根気 ○元気な子 …健康・明朗・勇気 (2)本校の教育目標 京都府教育委員会の「学校教育の重点」並びに城陽市教育委員会の「学校教育指導の指針」を踏まえ、本校の伝統や校風を大切にしながら、児童一人一人に質の高い学力を身に付けさせ、併せて豊かな人間性を育み、たくましく健やかな心身を育むことを通して、『地域に信頼される開かれた学校づくり』を目指す。	平成29年度特別支援教育充実に係る研究実践校（『やましろ未来っ子』研究推進校） 平成29年度少人数学級編成による指導方法の改善に係る研究指定校

2 中学校

学校名	教育目標	指定研究等
城陽中学校	<p>学習指導要領並びに京都府教育委員会の「学校教育の重点」等を踏まえ、知、徳、体の調和のとれた発達を図り、基本的人権を尊重し、国際感覚を身に付けた生徒の育成を目指す。京都府の教育振興プランに示された「展望する力」「つながる力」「挑戦する力」の3つの「はぐくみたい力」の調和を大切にした教育を進める。このため、教育活動の評価と改善、各種の連携を推進し、教育の充実と向上に努める。</p> <p>【重点目標】</p> <p>『自分で考える力』の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・思考力・表現力・判断力等 ・自分で考え、判断し、行動することができる力 <p>『共に生きる力』の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人を思いやる心、協調性、コミュニケーション力等 	<p>平成20～29年度 府指定「京都教育大学大学院連合教職実践研究科」連携協力校</p> <p>平成22～29年度 府「教師力養成講座」実践実習校</p> <p>平成29年度 スクールカウンセラー活用事業校</p> <p>平成29年度少人数学級編成による指導方法の改善に係る研究指定校</p> <p>平成24～29年度 府「学校支援地域本部事業」指定校</p> <p>平成29年度城陽市小中学校研究指定校</p>
西城陽中学校	<p>学習指導要領及び本府教育委員会の学校教育の重点並びに、本市教育委員会の学校教育指導の指針に基づき、基本的人権を尊重し、国際感覚を身に付け、知、徳、体の調和のとれた人格の形成と、生涯にわたる学習の基盤を培い、確かな見通しを持って主体的に生き抜く、創造性あふれる心豊かな人間の育成をめざす。</p> <p>【重点目標】</p> <p>主体的に生き抜く、創造性にあふれる心豊かな人間の育成</p> <p>(1)「自分で考える力」の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎的・基本的な知識・技能の習得、思考力・判断力・表現力等 ・自分で考え、判断し、行動できる力 <p>(2)「社会の中で生きていく力」の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人を思いやる心、協調性、コミュニケーション力等 ・日常の当たり前を大切にし、実践できる力 	<p>平成22～29年度 府「教師力養成講座」実践実習校</p> <p>平成22～29年度 府「学校支援地域本部事業」指定校</p> <p>平成29年度 府「学習習慣確立支援事業」実施校</p> <p>平成29年度 スクールカウンセラー活用事業校</p> <p>平成29年度少人数学級編成による指導方法の改善に係る研究指定校</p> <p>平成29年度特別支援教育充実に係る研究実践校（『やましろ未来っ子』研究推進校）</p> <p>平成28・29年度京都府教育委員会指定「学力向上システム開発校」</p> <p>平成29年度城陽市小中学校研究指定校</p>

学校名	教育目標	指定研究等
<p>南城陽中学校</p>	<p>学習指導要領及び本府「学校教育の重点」並びに本市「学校教育指導の指針」に基づき、知・徳・体の調和のとれた発達と人格の形成を目指し、生涯にわたる学習の基礎を培うとともに、平和国家の形成者として、自他の人権を尊重し、心豊かにたくましく生きる生徒の育成に努める。</p> <p>【重点目標】</p> <p>『21世紀を心豊かにたくましく生きる生徒の育成』</p> <p>*基礎・基本と学力の充実（基礎・基本の徹底による学力の充実・向上）</p> <p>*豊かな心と健やかな体の育成（助け合い、励まし合い、体を鍛える生徒）</p> <p>*主体的に生きる力の育成（自ら学び、判断、行動、表現する生徒）</p> <p>*人権と個性尊重の重視（自他の人権を尊重し、個性を認め合う生徒）</p>	<p>平成29年度特別支援教育充実に係る研究実践校（『やましろ未来っ子』研究推進校）</p> <p>平成29年度 スクールカウンセラー活用事業校</p> <p>平成29年度京都府「学習習慣確立支援事業」実施校</p> <p>平成29年度京都府山城教育局「学力向上トライアル校」指定校</p> <p>平成29年度城陽市小中学校研究指定校</p>
<p>東城陽中学校</p>	<p>「知・徳・体」の調和のとれた発達を図り、生涯にわたり心豊かに逞しく、主体的に生きる生徒の育成に努める。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 確かな学力 【知】 2 豊かな心 【徳】 3 健やかな体 【体】 4 共に生きる力 【共生】 	<p>平成29年度少人数授業による指導方法の改善に係る研究指定校</p> <p>平成29年度 スクールカウンセラー活用事業校</p> <p>平成29年度京都府山城教育局「学力向上トライアル校」指定校</p> <p>平成29年度城陽市小中学校研究指定校</p>
<p>北城陽中学校</p>	<p>『自ら考え主体的に生きる、心豊かで健やかな生徒の育成』</p> <p>「自立・自律」</p> <p>未来を切り拓く高い「能力」を、優れた「人格」を土台として発揮する。</p> <p><u>高い「能力」</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・確かな学力を備えた生徒 ・たくましく生きる力と意欲あふれる生徒 <p><u>優れた「人格」</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・心豊かな生徒 ・生命・人権を尊重する生徒 	<p>平成29年度 「心の居場所サポーター」活用調査研究事業校</p> <p>平成29年度 スクールカウンセラー活用事業校</p> <p>平成29年度少人数授業による指導方法の改善に係る研究指定校</p> <p>平成29年度城陽市小中学校研究指定校</p>

2. 園児・児童・生徒数

園児・児童・生徒数の現状

(平成29年5月1日現在)

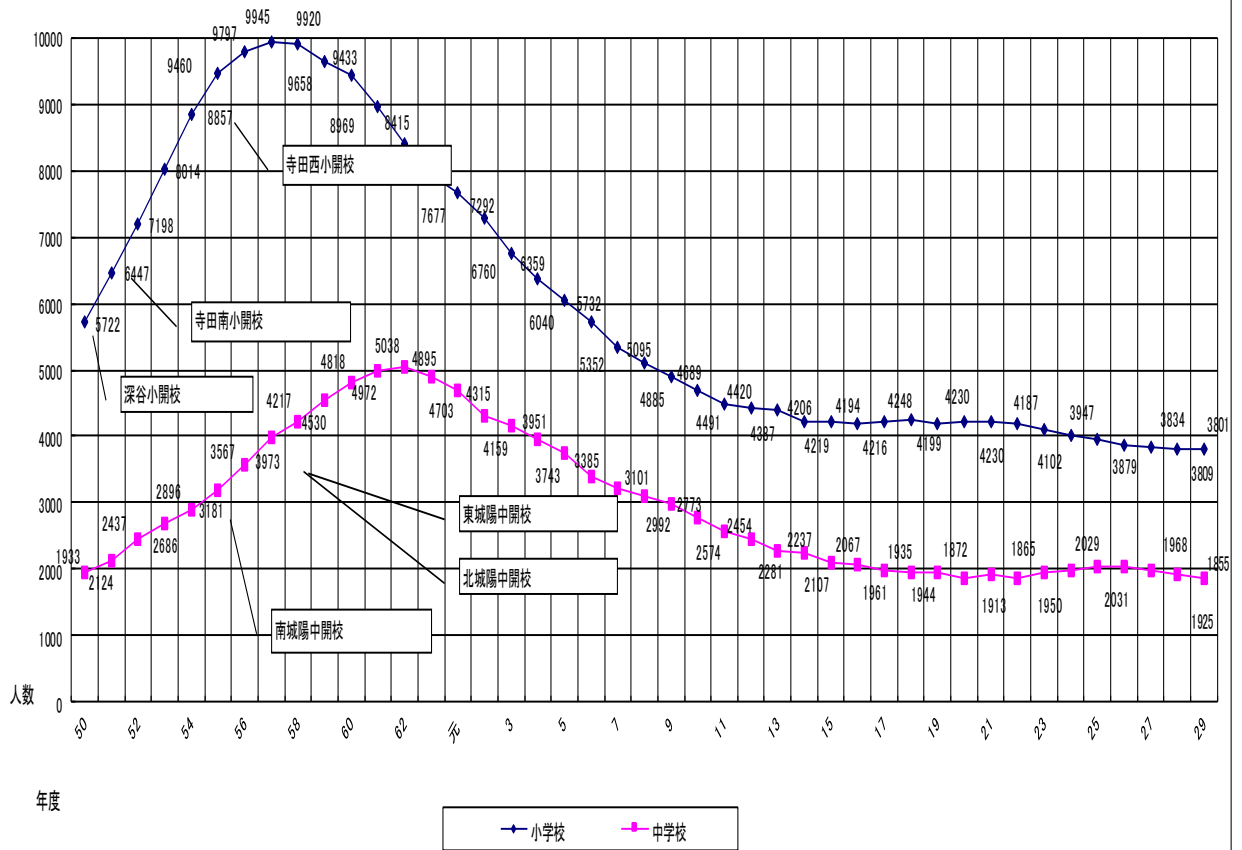
項 目 学校名	1年		2年		3年		4年		5年		6年		特別支援学級		計	
	児童・生徒数	学級数	児童・生徒数	学級数	児童・生徒数	学級数	児童・生徒数	学級数	児童・生徒数	学級数	児童・生徒数	学級数	児童・生徒数	学級数	児童・生徒数	学級数
久津川小学校	45	2	63	2	55	2	47	2	59	2	69	2	9	4	347	16
古川小学校	41	2	33	1	45	2	27	1	49	2	50	2	8	2	253	12
久世小学校	98	3	95	3	116	4	91	3	106	4	109	4	19	4	634	25
深谷小学校	45	2	55	2	41	2	52	2	49	2	32	1	5	2	279	13
寺田小学校	70	2	63	2	78	3	77	3	88	3	85	3	8	2	469	18
寺田南小学校	62	2	59	2	68	2	62	2	46	2	59	2	8	2	364	14
寺田西小学校	51	2	59	2	59	2	50	2	65	2	57	2	7	2	348	14
今池小学校	66	2	55	2	45	2	51	2	40	2	52	2	16	4	325	16
富野小学校	92	3	84	3	87	3	83	3	75	3	73	3	23	4	517	22
青谷小学校	26	1	39	2	40	2	46	2	51	2	52	2	11	2	265	13
計	596	21	605	21	634	24	586	22	628	24	638	23	114	28	3,801	163
城陽中学校	119	4	127	4	147	5							8	3	401	16
西城陽中学校	107	3	104	3	121	4							7	2	339	12
南城陽中学校	140	4	139	4	127	4							10	2	416	14
東城陽中学校	122	4	120	4	133	4							6	2	381	14
北城陽中学校	95	3	105	3	114	4							4	2	318	12
計	583	18	595	18	642	21							35	11	1,855	68
富野幼稚園															48	2
計															48	2

園児・児童・生徒数の推移(10年間)

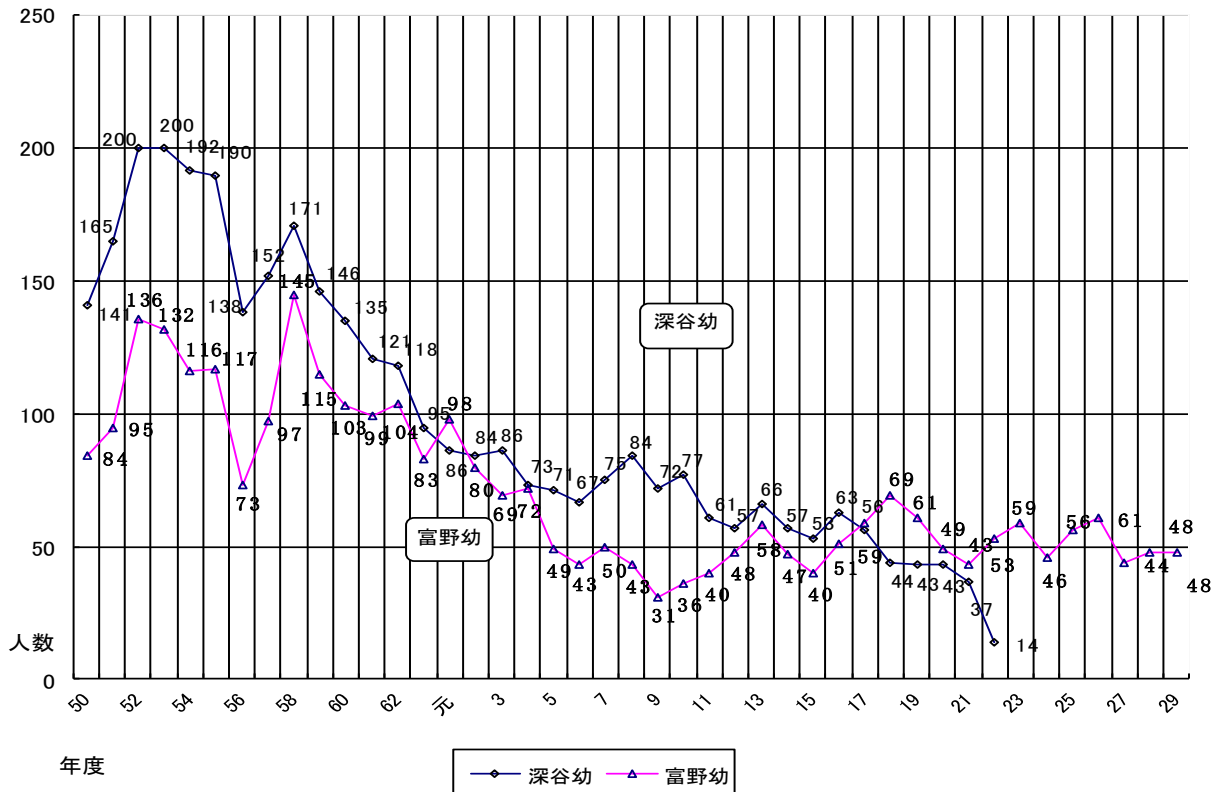
(各年5月1日現在)

年 度		20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
小学校	児童数	4,230	4,230	4,187	4,102	4,003	3,947	3,879	3,834	3,809	3,801
	学級数	150	154	154	159	160	161	160	160	161	163
中学校	生徒数	1,872	1,913	1,865	1,950	1,988	2,029	2,031	1,968	1,925	1,855
	学級数	63	64	63	68	69	71	71	71	69	68
幼稚園	園児数	92	80	67	59	46	56	61	44	48	48
	クラス数	4	4	3	2	2	2	2	2	2	2

児童・生徒数



園児数



3. 教職員数

小学校

(平成 29 年 5 月 1 日現在)

学校名	校長		教頭		主幹教諭		指導教諭		教諭		養護教諭		講師		栄養教諭 (栄養職員)		事務職員		小計		合計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
久津川小学校	1		1					1	3	11		1	1	3				1	6	17	23
古川小学校	1		1						5	5		1	1	3			1		9	9	18
久世小学校	1		1						11	12		1	2	3				1	15	17	32
深谷小学校		1	1						5	6		1		3				1	6	12	18
寺田小学校	1		1						8	12		1		2				2	10	17	27
寺田南小学校		1	1						5	9		1	1	3		1		1	7	16	23
寺田西小学校	1		1						6	8		1		1			1		9	10	19
今池小学校	1			1					6	7		1	2	2				1	9	12	21
富野小学校	1		1						7	14		1	2	2		1	1	1	12	19	31
青谷小学校		1	1						7	7		1						1	8	10	18
合計	7	3	9	1	0	0	0	1	63	91	0	10	9	22	0	2	3	9	91	139	230

中学校

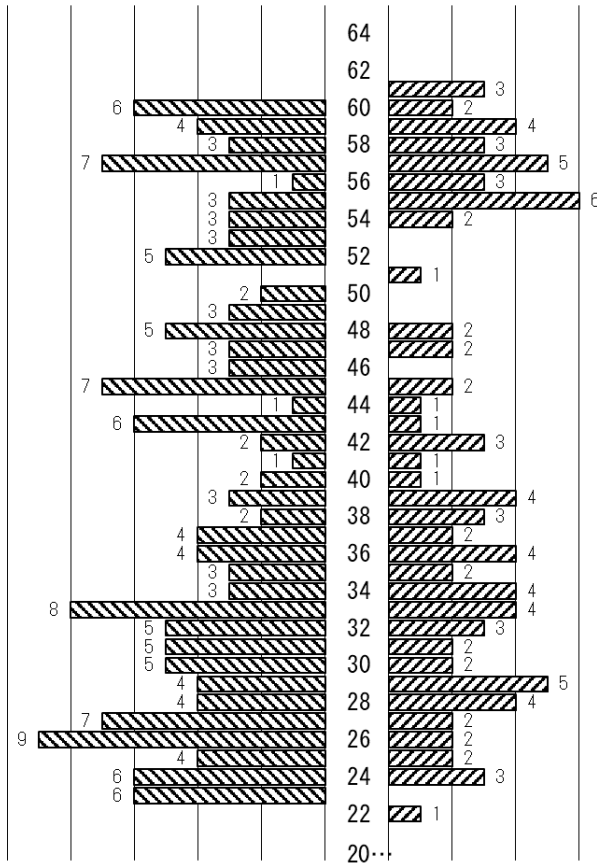
学校名	校長		教頭		主幹教諭		指導教諭		教諭		養護教諭		講師		栄養教諭 (栄養職員)		事務職員		小計		合計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
城陽中学校	1		1				1		13	10		1	2			1		1	18	13	31
西城陽中学校	1		1						13	8		1	2	1				1	17	11	28
南城陽中学校	1		1		1				11	8		2	2	3				2	16	15	31
東城陽中学校	1		1						10	10		1	2	1				1	14	13	27
北城陽中学校	1		1		1				12	8		1		1				1	15	11	26
合計	5	0	5	0	2	0	1	0	59	44	0	6	8	6	0	1	0	6	80	63	143

幼稚園

園名	園長		副園長		教諭		小計		合計
	男	女	男	女	男	女	男	女	
富野幼稚園		1		1		1	0	3	3
合計	0	1	0	1	0	1	0	3	3

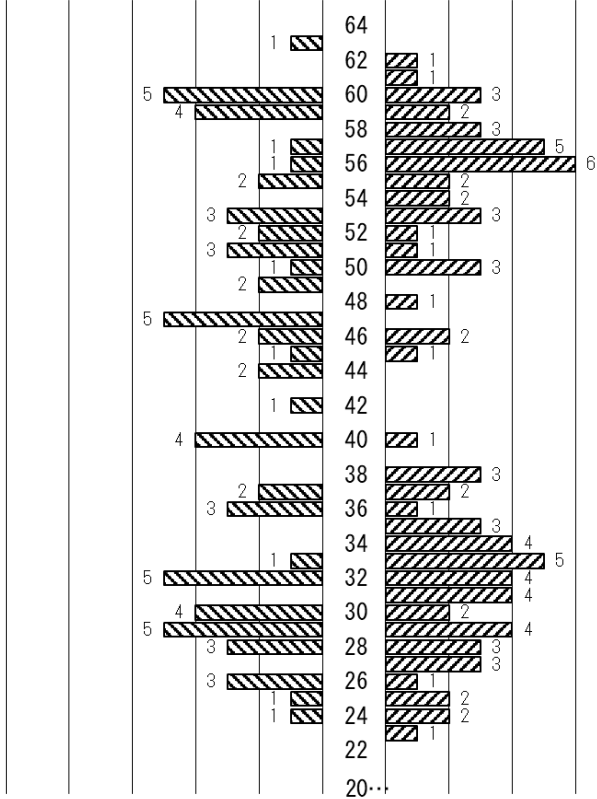
※本務者のみ（育児休業等の職員及びその代替講師等を含む）

小学校教職員の年齢別グラフ



▨ 男
▩ 女

中学校教職員の年齢別グラフ



▨ 男
▩ 女

4. 通学区域

小学校

学校名	区 域	
久津川 小学校	久 世	○北垣内・里ノ西・南垣内の一部
	平 川	○指月・野原・東垣外の全部 ○大將軍・茶屋裏・中道表・長箴・広田・古宮・室木・横道の一部
	寺 田	○垣内後・尺後の一部
古 川 小学校	久 世	○荒内・外島・八丁の全部 ○里ノ西の一部
	平 川	○西六反・浜道裏の全部 ○大將軍・中道表・長箴・広田の一部
	上津屋	全域
久 世 小学校	久 世	○芝ヶ原・下大谷の全部 ○上大谷・北垣内・南垣内の一部
	平 川	○鍛冶塚・車塚・山道の全部 ○茶屋裏・古宮・室木・横道の一部
	寺 田	○尼塚・大谷・正道の一部
深 谷 小学校	久 世	○上大谷の一部
	寺 田	○深谷の全部 ○尼塚・大谷・正道・林ノ口・宮ノ谷の一部
寺 田 小学校	久 世	○里ノ西・南垣内の一部
	寺 田	○北山田・宮ノ平の全部 ○市ノ久保・大川原・垣内後・北東西・尺後・正道・高田・丁子口・ 林ノ口・水度坂・宮ノ谷の一部
寺田南 小学校	久 世	○奥山の全部
	寺 田	○奥山・新池・中大小・築留・庭井・東ノ口・袋尻・南中芝の全部 ○市ノ久保・今堀・大川原・北東西・島垣内・尺後・高田・丁子口・ 西ノ口・樋尻・水度坂の一部
寺田西 小学校	寺 田	○乾出北・今橋・円浄寺・大林・北川顔・北堤下・塚本・浜代・ 南川顔・南堤下の全部 ○今堀・大畔・金尾・島垣内・尺後・西ノ口・樋尻の一部

学校名	区 域	
今池 小学校	寺田	○大畔・金尾・島垣内の一部
	水主	全域
	富野	○高井の全部 ○乾垣内・久保田・西垣内の一部
	枇杷庄	全域
富野 小学校	富野	○荒見田・池ノ内・内川・蛭子前・狼谷・柏平・上ノ芝・北垣内・ 北角・北ノ芝・小樋尻・鷺坂山・中ノ芝・西田部・野路地・長谷山・ 東田部・別所ヶ谷・堀口・南垣内・南清水・森山・吉ノ見の全部 ○乾垣内・久保田・西垣内の一部
	長池	全域
	観音堂	全域
青谷 小学校	中	全域
	奈島	全域
	市辺	全域

中 学 校

学校名	区 域
城陽 中学校	寺田小学校区 寺田南小学校区
西城陽 中学校	寺田西小学校区 今池小学校区
南城陽 中学校	富野小学校区 青谷小学校区
東城陽 中学校	久世小学校区 深谷小学校区
北城陽 中学校	久津川小学校区 古川小学校区

5. 教科書

小学校

(平成 29 年度現在)

種 目	発 行 者 (略称)	教 科 書 等 の 名 称
国 語	光 村	こくご、国語
書 写	東 書	新編 あたらしいしよしゃ、新編 新しい書写
社 会	日 文	小学社会
地 図	東 書	新編 新しい地図帳
算 数	啓林館	わくわく さんすう、わくわく 算数
理 科	啓林館	わくわく理科
生 活	啓林館	わくわく せいかつ、いきいき せいかつ
音 楽	教 芸	小学生のおんがく、小学生の音楽
図画工作	日 文	ずがこうさく たのしいな おもしろいな、図画工作 見つけたよ ためしたよ、図画工作 見つめて 広げて
家 庭	開隆堂	わたしたちの家庭科
保 健	東 書	新編 新しいほけん、新編 新しい保健

中 学 校

(平成 29 年度現在)

種 目	発 行 者 (略称)	教 科 書 等 の 名 称	
国 語	東 書	新編 新しい国語	
書 写	光 村	中学書写 一・二・三年	
社 会	地理的分野	帝 国	中学生の地理
	歴史的分野	東 書	新編 新しい社会 歴史
	公民的分野	東 書	新編 新しい社会 公民
	地 図	帝 国	中学校社会科地図
数 学	大日本	新版 数学の世界	
理 科	啓林館	未来へひろがるサイエンス	
音 楽	一 般	教 芸	中学生の音楽
	器 楽	教 芸	中学生の器楽
美 術	日 文	美術	
保健体育	東 書	新編 新しい保健体育	
技術 家庭	技術分野	開隆堂	技術・家庭（技術分野）
	家庭分野	開隆堂	技術・家庭（家庭分野）
英 語	東 書	NEW HORIZON	

6. 進路状況

中学校卒業後の進路状況（5年間）（平成24年度～平成28年度）

（各年3月卒業）

卒業年 項目				25年 (24年度)	26年 (25年度)	27年 (26年度)	28年 (27年度)	29年（28年度）					
								城陽	西城陽	南城陽	東城陽	北城陽	計
A 進学者 ※就職進学者を含む	高等学校	全日制	国公立	428	471	506	462	110	74	122	84	72	462
			私立	146	171	152	154	33	26	38	37	24	158
		定時制	3	3	13	8	1	2	3	3	2	11	
		通信制	26	13	14	14	5	1	2	2	3	13	
	高等専門学校	2	3	8	3	0	0	0	0	1	1		
	特別支援学校 高等部	2	5	10	8	2	3	1	1	1	8		
小計				607	666	703	649	151	106	166	127	103	653
B 教育訓練 関係等入学者 ※就職して 入学した 者を含む	専修 学校	高 等 課 程	2	0	0	1	0	0	0	1	0	1	
		一 般 課 程	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	各種学校	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0		
	公共職業訓練 施設等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
小計				2	0	0	3	0	0	0	1	0	1
就職者 (A・Bを除く)				3	2	1	3	0	1	3	1	0	5
その他				4	0	2	3	0	0	2	0	0	2
合計				616	668	706	658	151	107	171	129	103	661
進学率 (%)				98.5	99.7	99.6	98.6	100	99.1	97.1	98.4	100	98.8
就職率 (%)				0.5	0.3	0.1	0.5	0	0.9	1.8	0.8	0	0.8
その他率 (%)				1.0	0	0.3	0.9	0	0	1.2	0.8	0	0.5

- (注) ・進学率 = $A / \text{合計} \times 100\%$
 ・就職率 = $\text{就職者 (A・Bを除く)} / \text{合計} \times 100\%$
 ・その他率 = $(B \text{の} \text{小計} + \text{無業者}) / \text{合計} \times 100\%$

7. 特別支援学級

特別支援学級設置状況

(平成 29 年 5 月 1 日現在)

学校名	学級種別	学級数	開設年月	児童数(人)
久津川小学校	知的障害	1	昭和 49. 4	3
	自閉症・情緒障害	1	平成 28. 4	4
	視覚	1	平成 28. 4	1
	肢体不自由	1	平成 29. 4	1
古川小学校	知的障害	1	昭和 49. 4	3
	自閉症・情緒障害	1	平成 24. 4	5
久世小学校	知的障害	1	昭和 55. 4	3
	知的障害	1	平成 28. 4	6
	自閉症・情緒障害	1	平成 11. 4	5
	自閉症・情緒障害	1	平成 29. 4	5
深谷小学校	知的障害	1	昭和 56. 4	3
	自閉症・情緒障害	1	平成 13. 4	2
寺田小学校	知的障害	1	昭和 34. 4	5
	自閉症・情緒障害	1	平成 19. 4	3
寺田南小学校	知的障害	1	昭和 52. 4	3
	自閉症・情緒障害	1	平成 24. 4	5
寺田西小学校	知的障害	1	昭和 54. 4	4
	自閉症・情緒障害	1	平成 26. 4	3
今池小学校	知的障害	1	昭和 56. 4	6
	自閉症・情緒障害	1	平成 8. 4	4
	自閉症・情緒障害	1	平成 28. 4	5
	肢体不自由	1	平成 29. 4	1
富野小学校	知的障害	1	昭和 47. 4	7
	知的障害	1	平成 26. 4	6
	自閉症・情緒障害	1	平成 13. 4	5
	自閉症・情緒障害	1	平成 25. 4	5
青谷小学校	知的障害	1	平成 3. 4	6
	自閉症・情緒障害	1	平成 26. 4	5
計		28		114
城陽中学校	知的障害	1	昭和 40. 4	3
	自閉症・情緒障害	1	平成 25. 4	4
	肢体不自由	1	平成 27. 4	1
西城陽中学校	知的障害	1	昭和 58. 4	3
	自閉症・情緒障害	1	平成 24. 4	4
南城陽中学校	知的障害	1	昭和 54. 4	5
	自閉症・情緒障害	1	平成 23. 4	5
東城陽中学校	知的障害	1	昭和 57. 4	4

	自閉症・情緒障害	1	平成 25. 4	2
北城陽中学校	知的障害	1	昭和 56. 4	2
	自閉症・情緒障害	1	平成 22. 4	2
計		11		35

通級指導教室設置状況

(平成 29 年 5 月 1 日現在)

学校名	教室数	開設年月	児童数 (人)
久津川小学校	1	平成 21. 4	24
寺田南小学校	2	平成 6. 4	60
富野小学校	1	平成 19. 4	38
城陽中学校	1	平成 22. 4	19
南城陽中学校	1	平成 18. 4	16
計	6		157

8. 就学（園）奨励

要保護及び準要保護児童・生徒の就学援助状況

就学援助は、経済的理由により就学困難な学齢児童・生徒に必要な援助を行い、もって小学校・中学校の義務教育を円滑に実施するための制度である。（教育基本法第4条・学校教育法第19条）
（城陽市就学援助規則・城陽市民族学校児童生徒就学援助規則）

（平成28年度実績）

区 分 費 目	小 学 校		中 学 校		計	
	児童数 人	給与額 円	生徒数 人	給与額 円	児童・ 生徒数 人	給与額 円
学用品・通学用品費	625	8,174,190	432	10,052,610	1,057	18,226,800
校外活動費 （泊を伴わないもの）	679	967,294	373	458,385	1,052	1,425,679
校外活動費 （泊を伴うもの）	109	324,563			109	324,563
新入学児童生徒学用品費	69	1,412,430	138	3,249,900	207	4,662,330
修学旅行費	137	2,551,457	122	7,657,225	259	10,208,682
学校給食費	627	26,227,682	430	17,887,977	1,057	44,115,659
医療費	26	109,997	6	21,090	32	131,087
体育実技用具費			67	216,830	67	216,830
通学費			3	46,470	3	46,470
授業料						
計	693	39,767,613	470	39,590,487	1,163	79,358,100

特別支援教育就学奨励

特別支援学校への就学奨励に関する法律の趣旨に基づき、特別支援学級へ就学児童・生徒の保護者の経済的負担を軽減し、特別支援教育の振興に資するための制度である。（城陽市特別支援教育就学奨励費支給要綱）

（平成28年度実績）

区 分 費 目	小 学 校		中 学 校		計	
	児童数 人	給与額 円	生徒数 人	給与額 円	児童・ 生徒数 人	給与額 円
学用品・通学用品購入費	61	333,080	12	131,130	73	464,210
校外活動等参加費 （泊を伴わないもの）	57	42,244	12	10,320	69	52,564
校外活動等参加費 （泊を伴うもの）	11	19,772			11	19,772
新入学児童生徒学用品・通学用品 購入費	14	143,290	3	35,325	17	178,615
修学旅行費	10	90,898	2	44,953	12	135,851
学校給食費	60	1,212,392	12	244,322	72	1,456,714
体育実技用具費			2	3,240	2	3,240
通学費	1	4,000			1	4,000
計	62	1,845,676	12	469,290	74	2,314,966

私立幼稚園就園奨励費

本市に在住し、私立幼稚園に在籍する幼児（満3歳児、3歳児、4歳児、5歳児）の保護者の経費負担を軽減するため、幼児の属する世帯の市民税額に応じた保育料等の減免を行う。

私立幼稚園就園奨励費補助金支給限度額（年額）

（平成29年度）

階層区分		*『第1子・第2子・第3子以降』の数え方 (階層区分1~3に該当する場合) 兄・姉の年齢にかかわらず何番目の子かで算定 (階層区分4~5に該当する場合) 「小学校3年生まで」の兄・姉から数えて何番目の子かで算定 ※第4階層で小学校4年生~18歳未満(18歳に達する日以後最初の3月31日までの間にある者を含む。)の兄・姉があり、18歳未満のすべての兄・姉を第1子、第2子と数え、現在就園している子が、第3子以降となる場合は京都府第3子以降保育料無償化事業により第3子以降と数える。		
		第1子	第2子	第3子以降
1	生活保護世帯	308,000円	308,000円	308,000円
2	市民税非課税世帯および市民税所得割非課税世帯	272,000円	308,000円	308,000円
3	市民税所得割課税額77,100円以下の世帯	139,200円	223,000円	308,000円
4	市民税所得割課税額211,200円以下の世帯	62,200円	185,000円	308,000円
5	市民税所得割課税額211,201円以上の世帯	45,000円	154,000円	308,000円
<p>第2階層及び第3階層の世帯で、ひとり親世帯等に該当する場合の補助額は下記の金額となる。</p> <p>第2階層 第1子→308,000円</p> <p>第3階層 第1子→272,000円 第2子→308,000円</p>				

9. 学校安全

独立行政法人日本スポーツ振興センター

「学校安全」については、独立行政法人日本スポーツ振興センター法第15条において、「学校における安全教育及び安全管理をいう。」と定義され、学校で児童・生徒が負傷等の災害を受けた場合、これら治療等に要する費用として、独立行政法人日本スポーツ振興センター法による災害共済給付制度が設けられている。

加入状況 : 全幼稚園児・児童・生徒が加入

掛金状況 : 総額 5,240,605 円 (平成28年度)

- ・幼稚園 / 295 円 (うち保護者負担 210 円)
- ・小学校 / 945 円 (うち保護者負担 460 円)
- ・中学校 / 945 円 (うち保護者負担 460 円)
- ・要保護 / 65 円 (全額市負担)
- ・準要保護 / 945 円 (全額市負担)

給付件数 :

年 度	24	25	26	27	28
小 学 校	441	379	329	364	375 (給付金額: 2,397,557 円)
中 学 校	519	553	579	543	531 (給付金額: 3,970,334 円)
幼 稚 園	6	1	0	0	3 (給付金額: 7,320 円)

園児・児童・生徒事故災害状況

(平成 28 年度)

区 分		幼稚園	小学校		中学校		小中計		
			一般	交通事故 事件数	一般	交通事故 事件数	一般	交通事故 事件数	
被災者数	男 子	1	236	12	235	6	471	18	
	女 子		137	7	180		317	7	
	計	1	373	19	415	6	788	25	
被災者学年	1 年 (4才)	1	46	5	159	1	205	6	
	2 年 (5才)		49	5	168	2	217	7	
	3 年		53	4	88	4	141	8	
	4 年		66	1			66	1	
	5 年		68	1			68	1	
	6 年		91	3			91	3	
	計	1	373	19	415	7	788	26	
被災の場合	教科体育時			109		79		188	
	体育行事			8		19		27	
	体育クラブ時			9		257		266	
	休憩時	始 業 前		23		3		26	
		放 課 後		8		3		11	
		業 間 時		125		28		153	
	その他の教科・保育		1	68		21		89	
そ の 他			23		5		28		
計		1	373		415		788		
被災場所	校舎内	各 教 室	1	60		32		92	
		廊下・階段等		45		22		67	
		体育館・講堂		81		134		215	
		そ の 他		5		1		6	
	校舎外	運動場・校庭		137		173		310	
		そ の 他		13		8		21	
	学校外	道 路		20		6		26	
		学校外の体育施設		2		36		38	
		そ の 他		10		3		13	
計		1	373		415		788		
主な障害名	骨 折		1	69	1	71		140	1
	脱臼			4		3		7	
	捻挫			90		140	1	230	1
	打撲			127	11	131	3	258	14
	挫創・擦過傷			16	3	14	1	30	4
	切創・裂傷			43	3	5	1	48	4
	歯 折			9	1	5		14	1
	そ の 他			15		46	1	61	
計		1	373	19	415	7	788	25	
被災の程度	死 亡								
	3ヶ月以上			1				1	
	2ヶ月以上			3		3		6	
	1ヶ月以上			2	2	4		6	2
	2週間以上		1	137	4	163	1	300	5
	2週間未満			230	13	245	6	475	19
計		1	373	19	415	7	788	26	

児童・生徒の体格

(平成 28 年度)

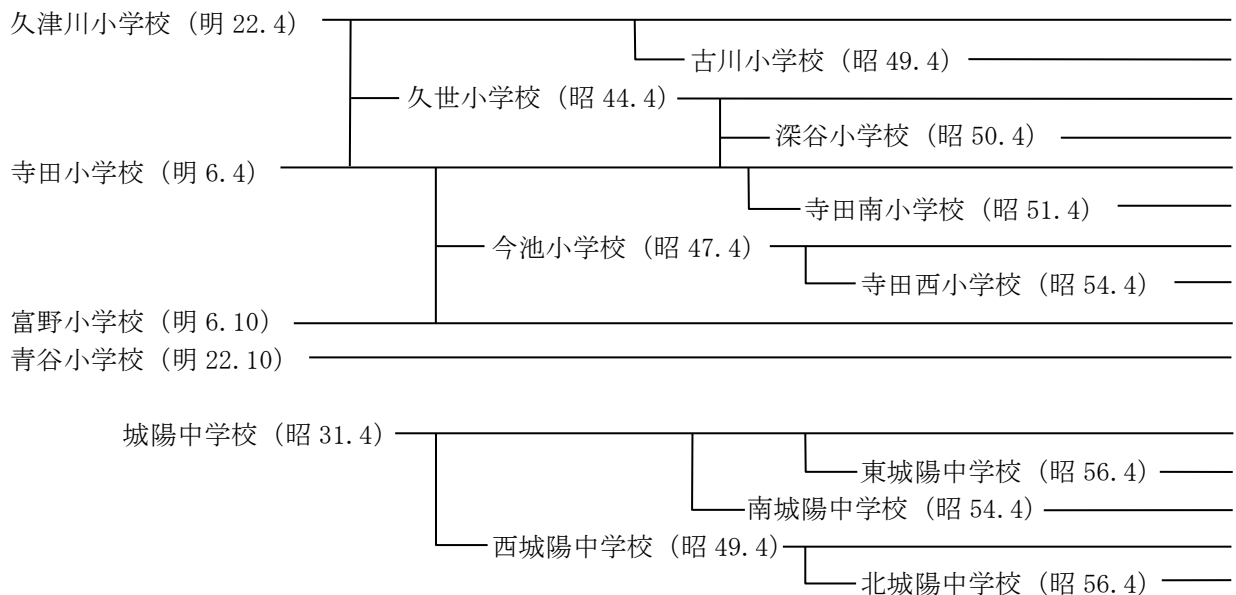
			身 長 (cm)			体 重 (kg)			
			城陽市	京都府	全国	城陽市	京都府	全国	
小 学 校	6 才	男	116.3	116.8	116.5	20.8	21.2	21.4	
		女	115.9	115.9	115.6	20.8	20.9	20.9	
	7 才	男	122.2	122.5	122.5	23.7	23.9	24.0	
		女	121.4	121.6	121.5	23.0	23.1	23.5	
	8 才	男	127.6	128.3	128.1	25.9	26.9	27.2	
		女	127.2	127.6	127.2	26.0	26.3	26.4	
	9 才	男	133.4	133.4	133.6	29.7	29.7	30.6	
		女	133.3	133.4	133.4	29.3	29.6	29.8	
	10 才	男	138.9	138.8	138.8	33.0	33.1	34.0	
		女	140.1	140.4	140.2	33.7	33.5	34.0	
	11 才	男	145.5	145.0	145.2	38.0	37.4	38.4	
		女	146.0	147.0	146.8	37.8	39.3	39.0	
	中 学 校	12 才	男	152.0	152.9	152.7	43.2	42.7	44.0
			女	151.5	151.9	151.9	43.1	43.1	43.7
13 才		男	159.3	160.2	159.9	48.4	48.4	48.8	
		女	155.2	155.1	154.8	47.2	47.2	47.2	
14 才		男	165.0	165.3	165.2	53.0	53.7	53.9	
		女	156.8	156.7	156.5	49.8	49.5	50.0	

10. 学校施設の概要

概 要

	所 在 地		開 校
久津川小学校	610-0101	平川指月 1	明治 22. 4
古川小学校	610-0103	上津屋境端 57	昭和 49. 4
久世小学校	610-0102	久世芝ヶ原 143	昭和 44. 4
深谷小学校	610-0121	寺田深谷 111-2	昭和 50. 4
寺田小学校	610-0121	寺田北山田 2	明治 6. 4
寺田南小学校	610-0121	寺田新池 23-1	昭和 51. 4
寺田西小学校	610-0121	寺田西ノ口 65	昭和 54. 4
今池小学校	610-0121	寺田大畔 177-1	昭和 47. 4
富野小学校	610-0111	富野堀口 1	明治 6. 10
青谷小学校	610-0113	中向河原 1	明治 22. 10
城陽中学校	610-0121	寺田北山田 35	昭和 31. 4
西城陽中学校	610-0121	寺田乾出北 82	昭和 49. 4
南城陽中学校	610-0115	観音堂巽畑 17-4	昭和 54. 4
東城陽中学校	610-0102	久世上大谷 24	昭和 56. 4
北城陽中学校	610-0101	平川長箴 33	昭和 56. 4
富野幼稚園	610-0111	富野南清水 30	昭和 30. 4

市立小・中学校分離図



学校施設の状況

(平成 29 年 5 月 1 日現在)

小学校	保有普通教室	保有特別教室											校舎保有面積	屋体保有面積	プール		敷地面積							
		理科	生活	音楽	図工	家庭	視聴	P C	図書	教相	特活	計			面積	寸法	建物	運動場	その他	借地	計			
久津川	15	1		1	1	1		1	2	1	8			16	4,611	639	282	25 ×10	6,109	5,817	—	440	12,366	
古川	12	1	1	1	1	1		1	2	1	10			19	5,544	716	295	25 ×11.8	8,322	5,463	—	1,304	15,089	
久世	25	1		1	1	1		1	1		2			8	5,383	663	278	25 ×10	7,660	3,663	1,866	—	13,189	
深谷	13	1	1	1	1	1	1	1	2		8			17	5,672	648	309	25 ×11	10,006	5,941	—	—	15,947	
寺田	18	1	1	1	1	1		1	2	1	4			13	4,916	633	375	25 ×15.5	7,901	5,456	175	—	13,532	
寺田南	14	1		1	1	1		1	2		2			9	3,948	691	312.5	25 ×12.5	8,424	6,610	—	—	15,034	
寺田西	14	1	1	1	1	1		1	2	1	11			20	6,009	612	312.5	25 ×12.5	8,884	7,744	140	—	16,768	
今池	16	1		1	1	2		1	2	1	9			18	5,231	696	250	25 ×10	10,133	7,724	—	—	17,857	
富野	22	1		1	1	1		1	1	1	5			12	5,702	626	400	25 ×13	8,151	8,317	—	—	16,468	
青谷	13	1		1	1	1		1	2		2			9	3,696	630	312.5	25 ×12.5	7,716	5,072	—	—	12,788	
計	162	10	4	10	10	11	1	10	18	6	61			141	50,712	6,554	3,126.5	—	83,306	61,807	2,181	1,744	149,038	
中学校		理科	音楽	美術	技術	家庭	英語	視聴	P C	図書	教相	進指	特活	計										
城陽	16	2	2	2	1	2	1		1	2	2		4	19	5,544	1,243	325	25 ×13	8,437	19,857			28,294	
西城陽	12	2	2	1	2	2	2	2	1	2	2	1	5	24	6,487	945	325	25 ×13	14,208	18,074			32,282	
南城陽	15	2	1	1	2	2		1	1	2	1	1	9	23	6,223	806	325	25 ×13	11,697	15,674	784		28,155	
東城陽	14	2	2	1	2	2	1	1	1	2	3	1	5	23	6,397	855	325	25 ×13	12,938	15,413	1,857		30,208	
北城陽	12	2	1	1	1	2	1		1	2	2	1	10	24	6,318	834	325	25 ×13	12,680	14,932			27,612	
計	69	10	8	6	8	10	5	4	5	10	10	4	33	113	30,969	4,683	1,625		59,960	83,950	2,641		146,551	
富野幼	2														453				918	889			1,807	
計	2														453				918	889			1,807	

11. 奨学金

城陽市奨学金

学力優良で学資支出困難な高等学校または高等専門学校の新1年生を対象に奨学金を支給し、教育の振興に寄与することを目的とする。

- [対 象] 次の①～⑤すべてに該当する人
- ①高等学校または高等専門学校の新1学年に在学する人
 - ②学力優良である人
 - ③学資支出が困難な状況にある人
 - ④保護者が市内に在住する人
 - ⑤他の奨学金制度などを受けていない人
- [交付額] 50,000円（1人1回限り）
- [募 集] 時期：毎年6月（初日～末日）／人数：10人以内
- [決 定] 審査の上、教育長が交付の可否を決定
- [交 付] 7月末

辻教育振興奨励金

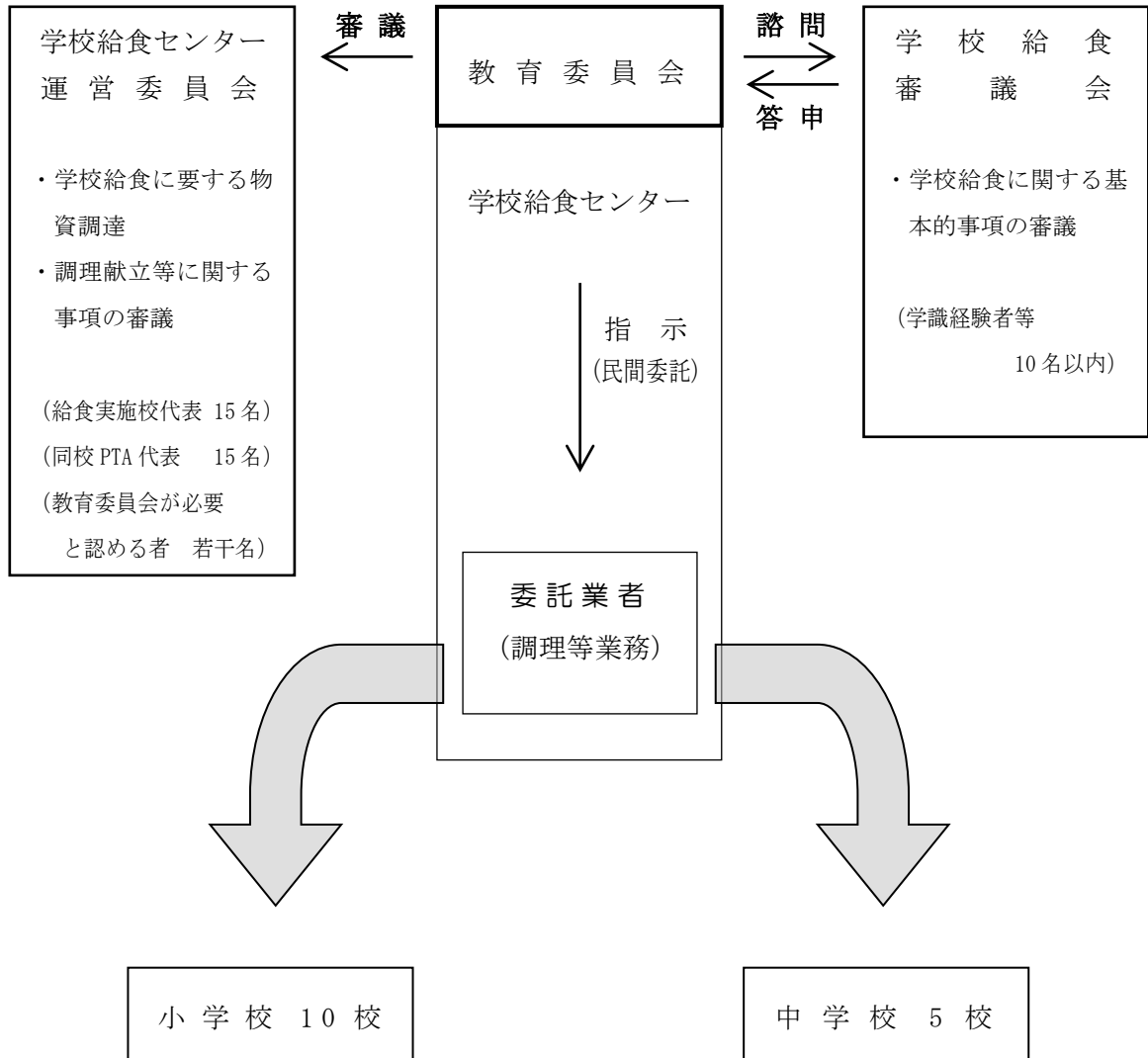
辻勝一氏からの寄附金をもとに設置した辻教育振興基金により、学力・スポーツ・芸術の各分野において特に優秀な者に奨励金を支給し、人材の育成・教育の振興に寄与することを目的とする。

- [対 象] 本人又は保護者が市内に在住しかつ住民基本台帳に登録されている高校（高専）生又は大学（短大・院）生で、次の区分に該当する人
- 勉学奨励金…学力が特に優秀な人（高：3年生以上／大：2年生以上／院：1年生以上）
- スポーツ奨励金…全国規模のスポーツの競技会において特に優秀な成績を収めた人
- 芸術奨励金…全国規模の芸術のコンクールにおいて特に優秀な成績を収めた人
- [交付額] 高等学校・高等専門学校生…年額10万円
- 大学・短期大学生…年額50万円
- [募 集] 時期：毎年7月下旬～8月末日／人数：若干名
- [決 定] 辻奨学生選考委員会により選考の上、教育長が交付の適否を決定
- [交 付] 10月末

12. 学校給食

学校給食は、児童生徒の適切な栄養の摂取による健康の保持増進を図るほか、日常生活における食事について正しい理解と望ましい食習慣を養うなどの目的を達成するための教育活動の一環として実施しており、その充実を図っている。

学校給食の運営



学校給食の沿革

年 月	施 策 項 目
昭 39. 4	町内各小学校（青谷、富野、寺田、久津川）でミルク給食を実施。
昭 42. 3	寺田北山田に学校給食センター竣工。（2,800 食規模）
昭 42. 6	町内各小学校（青谷、富野、寺田、久津川）、中学校（城陽）で完全給食を開始。
昭 47. 4	富野荒見田に第 2 学校給食センター開設。（3,000 食規模）
昭 49. 9	児童生徒数の増加に伴い、第 2 学校給食センターを拡張。（拡張後 5,000 食規模）
昭 54. 4	学校給食審議会を設置。月 2 回の米飯給食を開始。
昭 54. 6	「城陽市における学校給食のあり方について」学校給食審議会に諮問。
昭 54. 9	学校給食審議会の答申。 (1) 教育的意義から小中学校の完全給食。 (2) し好面から小・中学校別献立。 (3) 施設等の有機的な連携等を考慮し、新施設の建設。
昭 56. 3	富野荒見田に新学校給食センターを増設（10,000 食規模）。寺田北山田の学校給食センターを廃止。
昭 56. 4	学校給食センター（第 1 調理場・第 2 調理場）とする。米飯給食を週 1 回に拡大。
昭 58. 9	米飯給食を週 2 回に拡大。
昭 60. 9	給食用食器の改善。（アルマイト製ランチ皿 → ポリプロピレン製 3 点セット）
昭 61. 5	給食費の改定。（小学校 160 円→190 円、中学校 190 円→220 円）
昭 61. 9	米飯給食を週 2.5 回に拡大。
昭 63. 9	米飯給食を週 3 回に拡大。
平 3.11	寺田南小学校に温蔵庫を設置。
平 4. 1	牛乳飲用辞退制度を開始。
平 5.12	全小学校への温蔵庫設置が完了。
平 6.12	全中学校に温蔵庫を設置。
平 9. 4	給食配送業務を委託。
平 11. 3	卒業お祝い給食（パーティー給食）を開始。（小学校）
平 11. 9	給食費の改定。（小学校 190 円→210 円、中学校 220 円→240 円）
平 12. 4	給食費の改定（消費税分）。（小学校 210 円→215 円、中学校 240 円→245 円）
平 13. 4	給食費の改定（消費税分）。（小学校 215 円→220 円、中学校 245 円→250 円）
平 14. 5	パンの個包装を開始。
平 16. 2	卒業お祝い給食を開始。（中学校）
平 16.12	富野森山に新給食センター竣工。（8,000 食規模）富野荒見田の第 1 調理場、第 2 調理場を統合・廃止し、調理場を一元化。
平 17. 1	新学校給食センター稼動。調理洗浄業務の民間委託化実施。 ドライシステムの採用。 調理作業の区割を実施。（汚染区域・非汚染区域〔清潔区域、準清潔区域〕） 各作業室の区分けを実施。（荷受室、検収室、処理室、炊飯室、サラダ・和物室、焼物・揚物室等）

年 月	施 策 項 目
	厨房温度管理を開始。(空調設備の設置) 前室・エアシャワーを設置。 保温性の良い二重食缶を導入。(各学校の温蔵庫を廃止) 食器の材質変更。(ポリプロピレン製→強化磁器製) 児童生徒個人用トレイを導入。 最新鋭厨房機器の導入。(全自動炊飯システム・スチームコンベクションオーブン・真空冷却機・グランドケトル・コンテナ洗浄システム・コンテナイン消毒保管機 等) 米飯の自己炊飯開始。米飯給食を週 3.5 回に拡大。
平 17. 4	給食費の改定。(小学校 220 円→200 円、中学校 250 円→230 円)
平 19. 4	米飯給食に「城陽産ヒノヒカリ」を使用。
平 20. 1	アレルギー対応給食(卵除去食)開始。
平 21. 1	給食費未納分の訪問徴収開始。
平 21.10	「学校給食のあり方について」学校給食審議会に諮問。
平 21.12	給食費支払督促申立開始。
平 22. 1	学校給食審議会の答申。 (1) 給食費について。 (2) 米飯回数について。 (3) 食器について。 (4) アレルギー対応給食について。
平 22. 4	給食費の改定。(小学校 200 円→230 円、中学校 230 円→260 円) 米飯給食を週 4 回に拡大。
平 22. 9	食器の材質変更。(強化磁器製→PEN(ポリエチレンナフタレート)製)
平 24. 3	小学生用給食DVDビデオの制作及び全小学校への配付。「(チキンカレーができるまで)」
平 24.10	放射性セシウムのモニタリング検査を実施。(25年2月まで) 学校給食審議会の答申。(食生活を取り巻く社会環境の変化等から、献立一元化の方向が望ましい。)
平 25. 4	小中学校統一献立の実施。
平 26. 9	保冷食缶を導入。
平 27. 4	給食費の改定。(消費税分) (小学校 230 円→235 円、中学校 260 円→265 円)
平 27.12	アレルギー対応給食(エビ除去食)開始。
平 29. 5	緊急用に給食の備蓄を開始。(備蓄用カレー、ゆかりふりかけ)

栄養基準

児童又は生徒一人1回当たりの学校給食摂取基準

平成25年4月改定

区 分	基 準 値				参考 1日の食事 摂取基準 に対する割 合(%)
	低学年 児童 (6歳～7歳)	中学年 児童 (8歳～9歳)	高学年 児童 (10歳～11歳)	中学生 生徒 (12歳～14歳)	
エネルギー (Kcal)	530	640	750	820	33
たんぱく質 (g)	20	24	28	30	50
範 囲 ※1	16～26	18～32	22～38	25～40	
脂質 (%)	学校給食による摂取エネルギー全体の25%～30%				
ナトリウム (食塩相当量)(g)	2未満	2.5未満	2.5未満	3未満	33未満
カルシウム (mg)	300	350	400	450	50
鉄 (mg)	2	3	4	4	33
ビタミンA (μ gRE)	150	170	200	300	小学校 33 中学校 40
ビタミンB1 (mg)	0.3	0.4	0.5	0.5	40
ビタミンB2 (mg)	0.4	0.4	0.5	0.6	40
ビタミンC (mg)	20	20	25	35	33
食物繊維 (g)	4	5	6	6.5	—

(注)1 表に掲げるもののほか、次に掲げるものについてもそれぞれ示した摂取量について配慮すること。

マグネシウム・・・児童(6歳～7歳)70mg、児童(8歳～9歳)80mg、児童(10歳～11歳)110mg、生徒(12歳～14歳)140mg
亜 鉛・・・児童(6歳～7歳) 2mg、児童(8歳～9歳) 2mg、児童(10歳～11歳) 3mg、生徒(12歳～14歳) 3mg

2 この摂取基準は、全国的な平均値を示したものであるから、適用に当たっては、個々の健康及び生活活動等の実態並びに地域の実情等に十分配慮し、弾力的に運用すること。

※1 範 囲・・・示した値の内に納めることが望ましい範囲

学校給食施設の概要

名 称	城陽市立学校給食センター	
所 在 地	城陽市富野森山 39-3	
敷 地 面 積	5,105.16 m ²	
建 物 面 積	1階	2,249.38 m ²
	2階	563.38 m ²
稼 動 時 期	平成17年1月	
調 理 能 力	1日当たり 8,000食規模	
調 理 食 数 (平成28年度実績)	小学校給食	中学校給食
	3,795食/日	1,919食/日

生涯学習

1. 生涯学習の推進
2. 生涯学習推進会議委員

生涯学習

1. 生涯学習の推進

本市においては、社会情勢等の変化に対応し、今日的な視点から施策を進めるために、平成20年12月に策定した「城陽市生涯学習推進計画」を見直し、平成29年2月に「第2次城陽市生涯学習推進計画」を策定した。「いつでも、どこでも、だれでも、たのしく、ともに学び、ともに育ち、ともにつくる地域社会」をモットーに、「いつでも、どこでも、だれでも」できる生涯学習を「たのしく」することによって人生が豊かなものになり、市民一人ひとりが生涯学習活動を通じて、人と人がつながり、豊かな地域社会を発展させていくことを目指している。

本計画に基づき、生涯学習施策を推進し、城陽市生涯学習推進会議において、調査報告等に基づき、実施状況の点検、有効活用のための検討等を行うことで、総合的な推進体制の整備・充実に努める。また、市民の自主的な生涯学習活動を支援するシステムの導入を進めるとともに、学校教育と社会教育の連携の促進を図る。さらには、市民が自らの意思により、いつでも自由に学習ができる生涯学習施設の整備・充実に努めるとともに、生涯学習施設の機能を有効に活用し、市民の学習ニーズに対応した生涯学習プログラムの内容の充実に努め、積極的な学習情報の提供を推進する。

第2次城陽市生涯学習推進計画の施策体系

1 ライフステージに応じた学習機会の充実

- (1) 子育て世代の学習
- (2) 子どもの学習
- (3) 青少年、若者の学習
- (4) 勤労世代の学習
- (5) シニア世代、高齢者の学習

2 現代的・社会的課題に対応した学習機会の充実

- (1) 現代的課題に対応した学習の推進
- (2) 人権や平和、男女共同参画の推進
- (3) 福祉学習の推進
- (4) 文化芸術活動の振興、文化財や歴史の保存継承の推進
- (5) スポーツ・レクリエーション活動の振興
- (6) 読書活動の推進

3 学習成果を活かした地域づくりの推進

- (1) 学びの場を核とした地域コミュニティの形成の推進
- (2) ボランティア活動の推進
- (3) 学習成果の活用

4 学習環境の整備

- (1) 生涯学習施設の整備・充実
- (2) 関係機関との連携推進
- (3) 情報提供の推進

2. 生涯学習推進会議委員

役職等	氏名	団体等区分
会長	谷口 知弘	福知山公立大学教授 特定非営利活動法人 うつくしい京都副理事長
副会長	奥田 正行	城陽市文化協会 会長
委員	安藤 洋二	公益財団法人城陽市民余暇活動センター 理事長
委員	生駒 教	城陽市図書館協議会 会長
委員	大東 勝利	公募委員
委員	北澤 扶三代	ぱれっと JOYO 市民会議 委員
委員	黒田 行雄	北部コミュニティセンター運営委員会 会長
委員	瀧口 宣男	城陽市社会教育委員 委員長
委員	田中 保美	城陽市立古川小学校 校長
委員	古川 曙美	公募委員
委員	和田本 隆夫	城陽市体育協会 名誉会長

任期：平成 28 年（2016 年）2 月 28 日～平成 30 年（2018 年）2 月 27 日

社 会 教 育

1. 社会教育の重点
2. 社会教育委員
3. 社会教育施設等の概要
4. 社会教育関係団体
5. 生涯学習事業等概要

社 会 教 育

1. 社会教育の重点

本市は、『“笑顔輝く”愛着と創造力を育むまち』を教育の目標に掲げ、社会教育にあつては、文化や歴史が継承され、市民が自ら学び、お互いに学びあい、自己を高め、社会に貢献するとともに、スポーツ・レクリエーションを楽しみ、心身ともに健やかな市民が育つ社会の形成を目指している。

今日、国際化、高度情報化、少子高齢化、地域コミュニティの希薄化など、社会が激しく変化する中で、現代的課題も多く、それらに対応する社会教育を進める必要がある。

最も重要な家庭の教育力の向上を図るとともに、学校、家庭、地域社会が連携を深め、青少年の健全育成や安心・安全な地域づくりを推進する。

人権が尊重される社会の実現に向け、市民の学習活動を推進する。

そのため、「第2次城陽市生涯学習推進計画」及び「第2次城陽市文化芸術振興計画」に基づき、市民が生涯の各時期に応じた自発的に学習に取り組める機会と場の提供を図るとともに、次の重点に沿って本市社会教育の充実に努めるものとする。

生涯学習社会の実現

1 生涯学習の振興

市民が心豊かで充実した生活を営むために、「いつでも、どこでも、だれでも、たのしく、ともに学び、ともに育ち、ともにつくる地域社会」を目指し、様々な方法で、生涯にわたる多様な学習活動を主体的に行えるよう、幅広い分野を視野に入れた生涯学習事業の計画的な推進を図る。

- (1) 「第2次城陽市生涯学習推進計画」の趣旨を踏まえ、社会教育と学校教育との連携を強化し、学校などを社会教育活動の場として積極的に活用し、生涯の各時期に応じた学習機会の充実に努める。
- (2) 市民の自発的な学習活動を充実していくため、学習情報の提供や市民参加の取組に努める。
- (3) 多様な学習ニーズに対応するため、社会教育・学校教育・市内の生涯学習関連機関・その他の行政機関などとの連携・協力により、地域の実情に即した生涯学習の展開に努める。
- (4) 市民のニーズにあった生涯学習事業を実施するため、企画推進委員会を設け、より充実した城陽市民大学を開催する。
- (5) ボランティア活動に対する理解を深めるため、研修の充実に努めるとともに、情報提供や相談に応じるため、関係機関（市民活動支援センターなど）との連携を図る。

2 現代的課題に関する学習活動の推進

国際理解、環境、情報、防災などの現代的課題に関して、市民の自発的な学習活動を推進する。

- (1) 国際理解のための学習活動を推進するとともに、様々な文化交流の促進を図る。
- (2) 災害の歴史、防災及び環境問題について認識を深める学習活動を推進するとともに市民参加への啓発に努める。
- (3) 高度情報化が進展する中で情報の果たす役割や影響を理解するとともに、インターネット上の有害情報対策等の周知を含めた、環境浄化の取組、情報モラルの高揚及び情報活用に関する啓発に努める。
- (4) 本市女性行動計画「城陽市男女共同参画計画ーさんさんプラン」の趣旨を踏まえ、男女共同参画の推進に関する学習活動を進める。
- (5) 高齢者がうるおいと生きがいを感じることでできる生活が送れるよう学習機会を提供し、地域活動など社会参加活動の促進に努める。
- (6) 障がいのある人が社会の一員として、より充実した生活が営めるよう、様々な場面において合理的配慮が実践された学習機会を提供するとともに、市民一人一人が障がいに関する正しい知識と認識を深め、障がいのある人との相互理解を促進することにより、障がいの有無に関わらず共に助け合い、学び合う学習活動の推進を図る。

3 社会教育関係団体などとの連携・協力

市民の相互理解を深め、地域社会の形成を図る上で社会教育関係団体などの果たす役割は重要であり、団体の自主性を尊重しながらその活動の活性化の促進に努めるとともに、より一層の連携・協力を進める。

- (1) 団体が主体的に活動できるよう必要な情報提供と相談への適切な対応に努める。
- (2) 団体やサークルの指導者養成のための研修の充実を図る。
- (3) ともにつくる地域社会の形成を図る団体育成を推進する。
- (4) 社会教育活動の推進を図るため、関係機関との連携・協力を進める。

4 社会教育施設等の総合的な活用

生涯学習を推進するため、社会教育施設等の機能の充実に努めるとともに、学校と連携し、学校教育施設の有効利用を図る。

- (1) 社会教育施設等における生涯学習事業を推進するため、文化パーク城陽を生涯学習の中心的施設として、コミュニティセンター、公民館、総合運動公園等とのネットワークによる連携に努める。
- (2) 城陽市立図書館及び各コミュニティセンターの図書室は、生涯学習や情報提供の拠点として市民の読書活動などの利便性向上に努めるとともに、なお一層の読書活動の推進を図る。
- (3) 学校教育施設等を利用して、地域における自主的な活動を支援し、年代各層にわたる事業や世代間交流事業の充実に努める。
- (4) 市民の学習ニーズに応え、視聴覚資料の情報提供に努める。
- (5) 歴史民俗資料館は、市域の歴史や文化に関する資料の収集・調査・研究を行い、その成果を展示等により公開するとともに、エコミュージアムのコア施設として地域資源等の情報提供を行い、市民一人一人の城陽市への誇りと愛着を育て市民自らの地域活性化の推進に寄与する。

人権教育の推進

一人一人の尊厳を大切にすると人権教育と多様な学習活動の推進

一人一人の尊厳と人権が尊重される社会の実現に向け、生涯にわたり、あらゆる場や機会を通じ、人権尊重の理念や同和問題など様々な人権問題について、正しい理解と認識を深めるとともに、実践につながる自発的な学習活動を推進する。

- (1) 生涯学習の視点に立って、生命の尊さ、個性の尊重、他人との共生など人権尊重の理念や、同和問題をはじめ、インターネット社会の中で多様化・複雑化する人権問題について正しい理解と認識を深める学習機会の拡充を図る。
- (2) 学校、家庭、地域社会、職場など身近な生活の場において、人権意識の高揚に努め、人権尊重を日常生活の習慣として身に付け実践できる態度をはぐくむ。
- (3) いじめ・虐待・体罰・子どもの貧困について社会総がかりで取り組むために、学校、家庭、地域社会及び関係機関・団体などが連携・協働した取組を推進する。
- (4) 様々な人々との交流による人権尊重の心を培う機会として、青少年を対象とするボランティア活動や自然体験活動など多様な体験活動の充実を図る。
- (5) あらゆる人権問題の解決に向けて学習活動の活性化を図るため、社会教育が果たすべき役割の重要性を認識し、社会教育関係職員及び社会教育関係団体指導者の資質向上に努める。
- (6) 人権問題の学習活動を効果的に推進するため、学校、家庭、地域社会及び関係機関などと連携・協働した総合的な取組を推進する。

家庭・地域社会の教育力の向上

1 家庭の教育力の向上

家庭はすべての教育の出発点である。子どもの健全な成長をはぐくむため、家庭の教育力の向上を図るとともに、学校、地域社会及び関係機関と連携・協働しながら家庭教育の充実を図る。

- (1) 生命を大切にする心、思いやりの心など、豊かな心をはぐくむ家庭の教育力を高めるため、家庭教育に関する学習機会の充実に努める。
- (2) 子どもの心身の健康と豊かな人間性をはぐくむため、食育や食習慣の大切さを学ぶ機会の充実に努める。
- (3) 子どもが読書に親しみ、生涯にわたる読書習慣を身に付けることができるよう、乳幼児期から家庭における読み聞かせを行うなど読書の重要性について理解の促進を図る。
- (4) 就学前の子どもを持つ親の子育ての悩みや不安をやわらげ、親同士のつながりを促進する「親のための応援塾」の支援や学習資料の提供など身近な場での交流や学習機会の充実に努める。
- (5) 子どもの発達段階に応じた適切な家庭教育を進めるため、家庭教育に関する資料等を活用し、学習活動の充実を図るとともに、親やこれに準ずる人の役割や協力の重要性について理解の促進に努める。

- (6) 家庭教育に関する研修会やPTA活動などへの積極的な参加を促進するとともに、子育ての悩みや不安に対応するため、学校、地域社会、関係機関（地域子育て支援センター・幼児教育センター・男女共同参画支援センター・家庭児童相談室）及び団体との連携を図り、子育てなどに関する支援体制情報の提供に努める。

2 地域社会の教育力の向上

地域の人々の連携を図り、誰もが地域での様々な体験ができる機会を拡充し、その活動を通して、青少年の健全育成に努め、地域の様々な人たちが交流を深め、誰もが、安心・安全に暮らせる地域づくりを推進する。

- (1) 子どもの健全育成に向けた学校と地域社会の連携の充実に努める。
- (2) 文化・スポーツ・レクリエーション活動を推進するとともに、青少年が地域の一員として、積極的に地域活動や社会参加活動ができるよう努める。
- (3) 青少年を活動の企画段階から参画させることにより、自主性・創造性などを育てるとともに、コーディネーターの資質向上を図り、リーダーの養成に努める。
- (4) 「城陽市子どもの読書活動推進計画」の趣旨を踏まえ、生涯にわたる読書習慣を身に付けることができるよう、図書館や学校教育と連携を図りながら、子どもの読書活動を推進する。
- (5) 関係機関、団体との連携を密にしながら、インターネットの適正な利用及び情報モラルの向上など青少年健全育成活動の推進を図る。
- (6) 地域の人々の絆を強め、子どもをはじめ、人々が安心・安全に暮らせる地域づくりを進めるとともに、地域住民のボランティア活動の充実と参加の促進に努める。
- (7) 大麻などの薬物乱用の防止・根絶やインターネットにおけるいじめ・有害情報対策のための保護者向け啓発資料を研修会等で活用する。

文化芸術・スポーツ・レクリエーション活動の振興

1 文化芸術活動の促進

「第2次城陽市文化芸術振興計画」に基づき、市民の健やかなこころ、豊かな文化をはぐくむまちづくりを目指し、文化的な生活環境の整備・創出、市民文化の創造と交流、地域における文化芸術活動の振興に努める。

- (1) 伝統文化の理解と継承、芸術の鑑賞や創作活動など地域における多様な文化芸術活動の促進を図る。
- (2) 文化芸術活動に関する情報提供や優れた文化芸術に親しむ機会の充実と組織の育成に努める。
- (3) 文化芸術活動を行っている文化協会などの文化団体や個人が共同して取組ができるよう、関係機関や指導者との連携に努めるとともに、文化施設の活用を図る。
- (4) 国民文化祭記念事業を継続することにより、市民の文化芸術活動の一層の促進を図る。

2 文化財の保護と活用

先人が遺した貴重な文化財は、城陽の歴史・文化を考える上で欠くことができない資料であり、市民共有の財産として積極的に保護と活用を図り、市民生活の文化的向上に役立てることに努める。

- (1) 「城陽市文化財保護条例」の趣旨に沿って、郷土の文化財を計画的に調査し、所有者などの理解と協力を得て保護・活用を図る。
- (2) 本市の歴史・文化に関する資料の収集、調査・研究を行い、映像や展示物を作成するなど、各種普及事業などを行う。歴史民俗資料館などにおいてその成果を公開するとともに、学校教育との連携を図り、子どもたちの郷土を愛する心の育成に寄与する。
- (3) 広く市民の間に文化財愛護の心を育て、文化財を次代へ引き継ぐため、文化財ボランティアの育成や啓発に努める。
- (4) 地域資源等を生かし地域を活性化していくエコミュージアムの取組に文化財を活用し、市民一人一人の城陽市への誇りと愛着を育てる。

3 体育・スポーツ・レクリエーション活動の推進

健康でいきいきと生きがいを持って暮らせる社会づくりに向け、市民が生涯にわたってスポーツに親しむことができる生涯スポーツ社会の実現に努める。

- (1) 体育協会・総合型地域スポーツクラブなどの団体や学校・地域との連携を図り、市民が「いつでも」、「どこでも」、「だれでも」、「いつまでも」取り組める生涯スポーツ・レクリエーション活動を推進する。
- (2) 子どもたちが、幼児期から家庭や地域などで運動やスポーツに親しみ、身体を動かす楽しさを味わうことのできる環境づくりに努める。
- (3) 市民のスポーツニーズに対応するため、スポーツ推進委員とともに各種スポーツ関係団体などにおけるスポーツ活動の企画・運営者、指導者、ボランティアなどの育成に努める。

2. 社会教育委員

任期：平成 28 年 5 月 25 日～平成 30 年 5 月 24 日

氏 名	出身母体・知識経験者等	就 任 年 月 日
石 田 初 男	日本労働組合総連合会 京都府連合会南山城地域協議会	平成 26 年 9 月 30 日
稲 味 史 子	城陽市女性会	平成 2 年 5 月 25 日
井 上 征 洋	知識経験者	平成 24 年 5 月 25 日
奥 田 正 行	城陽市文化協会	平成 20 年 5 月 25 日
木 佐 一 憲 治	城陽市体育協会	平成 28 年 5 月 25 日
草 野 京 子	一般公募	平成 26 年 7 月 17 日
黒 川 由 美	城陽市校長会	平成 29 年 4 月 19 日
重 松 希 代 子	知識経験者	平成 2 年 5 月 25 日
園 崎 弘 道	城陽青年会議所	平成 28 年 5 月 25 日
瀧 口 宣 男	知識経験者	平成 13 年 5 月 25 日
筑 紫 貴 美	城陽市 P T A 連絡協議会	平成 28 年 5 月 25 日
中 島 收	知識経験者	平成 28 年 3 月 24 日
長 澤 幸 義	城陽市子ども会後援会協議会	平成 26 年 12 月 25 日
西 脇 一 修	一般公募	平成 26 年 7 月 17 日
芳 川 敏 博	城陽市身体障害者協会	平成 28 年 5 月 25 日

3. 社会教育施設等の概要

施設名	所在地	電話番号	設置年月日	敷地面積 (㎡)	建築面積 (㎡)	集客人員 (人)	備考
北公民館	平川広田 67	55-1001	昭和 55. 8. 1	第三 浄水場 敷地内	935.4	450	ホール1・創作室2・ 学習室2・教養室(和室)2・ 図書室1
久津川公民館	平川野原 88-1	54-1266	昭和 49. 9. 27	464.4	103.5	30	
富野公民館	富野堀口 2-1	55-3030	昭和 37. 4. 1	385.2	103.3	30	
図書館	寺田今堀 1	53-4000	平成 7. 11. 1	18,146.6	2,713.8		図書館及び歴史民俗資料館については、大規模複合施設の「文化 パーク城陽」を構成する施設として 整備されており、敷地面積は、 文化パーク城陽の全体面積を記 載している。
歴史民俗資料館	寺田今堀 1	55-7611	平成 7. 11. 1	18,146.6	1,767.6		
文化パーク城陽	寺田今堀 1	55-1010	平成 7. 11. 1	18,146.6	19,968.9 (図書館・ 歴史民俗 資料館含 む延床面 積)		文化ホール プラムホール(1,305席) ふれあいホール(400席) コミュニティセンター 調理実習室・美術工芸室・ 軽運動室・会議室・講習室 こども館 プラネリウム(コスモホール) プレイルーム

4. 社会教育関係団体

(平成30年1月現在)

項目	区分	登録団体数	備考
文 化	P T A連絡協議会	13	
	女性会	3	
	子ども会后援会協議会	6	
	単位こども会	36	
	連盟・連合体等	18	
	文 学	11	
	音 楽	68	
	民 謡	3	
	吟 詠	7	
	書 道	7	
	茶 華 道	13	
	美 術	31	
	手 芸	11	
	ダンス・舞踊	54	
	パソコン	13	
	語 学	11	
	子育て	8	
	青少年対象	14	
	その他(趣味)	26	
	その他	27	
	小 計	380	
ス ポ ー ツ	団体総括組織	32	
	テ ニ ス	120	
	ソフトテニス	9	
	バレーボール	17	
	バレーボール(ジュニア)	5	
	サッカー	7	
	ラグビーフットボール	1	
	バスケットボール	8	
	バドミントン	15	
	卓 球	52	
	少年野球	9	
	軟式・硬式野球	5	
	ソフトボール	5	
	学童ソフトボール	1	
	陸 上	1	
	武 道	15	
	各種体操	46	
	太 極 拳	12	
	グラウンドゴルフ	15	
	レクリエーション	25	
	小 計	400	
総 合 計		780	

5. 生涯学習事業等概要

(平成30年3月現在)

体系	事業名	月日	曜日	時間	テーマ	講師名	場所	人数
城陽市民大学	開講式 (基調講演)	7月8日	土	14:00 ～ 16:00	空と雲の不思議&テレビ番組の裏話	気象予報士 蓬萊大介 氏	文化パルク城陽 ふれあいホール	299
	自然・科学 コース	7月14日	金	10:00 ～ 11:30	木々の生きる知恵 ～長寿の木から学ぶ～	樹木医 松井裕之 氏	福祉センター ホール	106
		9月28日	木	14:00 ～ 15:30	自然から学ぶエコな暮らし	地球・環境共育事務所 Earth-PAL 遠藤修作 氏	福祉センター ホール	122
		10月24日	火	13:15 ～ 15:00	自然観察 森林浴を楽しみながら自然を感じましょう！(鴻ノ巣山)	大阪ガスシニア大学校	鴻ノ巣山	37
		7月28日	金	10:00 ～ 11:30	肺炎について	京都鞍馬口医療センター 部長 竹村 佳純 氏	文化パルク城陽 ふれあいホール	178
	健康コース	9月7日	木	10:00 ～ 11:30	せぼねの痛みと骨粗鬆症	京都府立医科大学 講師 長江将輝 氏	文化パルク城陽 ふれあいホール	154
		12月1日	金	14:00 ～ 15:30	がんの放射線治療	京都府立医科大学 講師 鈴木弦 氏	文化パルク城陽 ふれあいホール	112
		7月21日	金	14:00 ～ 15:30	古事記の魅力と謎を探る	佛教大学 教授 斎藤英喜 氏	福祉センター ホール	141
	文学・歴史 コース	9月21日	木	14:00 ～ 15:30	山城のなかの源氏物語	宇治市源氏物語ミュージアム 学芸員 家塚智子 氏	福祉センター ホール	132
		11月8日	水	10:00 ～ 11:30	お市と浅井三姉妹の生涯	長浜市市民協働部 歴史遺産課 太田浩司 氏	福祉センター ホール	127
		8月22日	火	10:00 ～ 11:30	学びのコツ ～心理学と脳科学～	京都府立大学 准教授 森下正修 氏	福祉センター ホール	148
	教育コース	10月3日	火	10:00 ～ 11:30	今どきの子どもの事情 ～子どもをはぐくむ地域へ～	京都府健康福祉部 部長 松村淳子 氏	福祉センター ホール	94
		11月13日	月	10:00 ～ 11:30	食がはぐくむところと からだの健康	奈良女子大学 教授 松田寛 氏	福祉センター ホール	112
		8月8日	火	14:00 ～ 15:30	今日からあなたもヘルプマン！～カイゴのゴカイ～	東洋大学 准教授 八木裕子 氏	福祉センター ホール	中止
	ライフコース	10月30日	月	14:00 ～ 15:30	高齢期の心理学 ワンダフル・エイジング	同志社女子大学 教授 日下菜穂子 氏	福祉センター ホール	141
		12月8日	金	10:00 ～ 11:30	シニア世代の消費トラブルと終活	京都府消費生活安全センター 消費生活相談員 三室久枝 氏	福祉センター ホール	135
		9月13日	水	14:00 ～ 15:30	充実させたい第2の人生	京都経営研究所 代表 石田勝士 氏	福祉センター ホール	155
	人間コース	11月21日	火	14:00 ～ 15:30	“老病死”を超えて生きる ～帰れる世界があればこそ～	本願寺派正福寺 住職 末本弘然 氏	福祉センター ホール	113

体系	事業名	月日	曜日	時間	テーマ	講師名	場所	人数
		1月19日	金	14:00 ～ 15:30	男と女のちがいとコミュニケーション	心理カウンセラー 藤田加津子氏	福祉センター ホール	101
	閉講式	1月23日	火	14:00 ～ 16:00	言葉ひとつでこう変わる ～ふれあい・つながり・支えあい～	フリーアナウンサー 羽川英樹氏	文化パルク城陽 ふれあいホール	226
	特設講座	8月4日	金	11:00 ～ 12:00	星の誕生から	プラネタリウム 職員	文化パルク城陽 プラネタリウム	43
		10月13日	金	14:00 ～ 15:30	日本のこころを奏でる	ソプラノ 加治屋菜美子氏 ピアノ 齋藤奈都美氏	文化パルク城陽 ふれあいホール	136
研修会	サークルリーダー研修会	5月20日	土	9:30 ～ 11:30	リーダーとしての若々しくあり続ける心の法則	(一社)日本生活習慣病 予防機構 副理事長 京都外国語大学非常勤 講師 田中正晃氏	文化パルク城陽 ふれあいホール	340
ふれあい登山	第1回自然とのふれあい登山	5月20日	土	8:30 ～ 17:00	稲荷山から清水山	青少年教育指導員	京都市	58
	第2回自然とのふれあい登山	6月3日	土	8:30 ～ 17:00	音羽山・高塚山	青少年教育指導員	京都市	42
	第3回自然とのふれあい登山	6月24日	土	8:30 ～ 17:00	龍王山	青少年教育指導員	天理市	48
	第4回自然とのふれあい登山	9月16日	土	8:30 ～ 17:00	織山	青少年教育指導員	近江八幡市	中止
	第5回自然とのふれあい登山	10月7日	土	8:30 ～ 17:00	三上山	青少年教育指導員	木津川市	中止
	第6回自然とのふれあい登山	10月21日	土	8:30 ～ 17:00	牛松山	青少年教育指導員	亀岡市	中止
	第7回自然とのふれあい登山	11月18日	土	8:30 ～ 17:00	愛宕山	青少年教育指導員	京都市	中止
	第8回自然とのふれあい登山	12月2日	土	8:30 ～ 17:00	蛇谷ヶ峰	青少年教育指導員	高島市	33
	第9回自然とのふれあい登山	1月20日	土	8:30 ～ 17:00	特別企画 木津川左岸 25km	青少年教育指導員	木津～城陽	53
	第10回自然とのふれあい登山	2月10日	土	8:30 ～ 17:00	大文字山	青少年教育指導員	京都市	中止
	第11回自然とのふれあい登山	3月3日	土	8:30 ～ 17:00	鷲峰山	青少年教育指導員	和束町	53
放課後子ども教室	古川「放課後子ども教室」	5月24日 ～ 3月7日	水	14:30 ～ 16:30	<学習活動> 学習(宿題、読書、プリント) まなびコース(書道、絵画、スポーツ)	地域コーディネーター 地域ボランティア	古川小学校	延べ 1,624
		5月20日 ～ 3月10日	土	9:00 ～ 11:30	<体験活動> 茶摘み、草滑り、音楽遊び、 ニュースポーツ、工場見 学、工作、施設訪問交流、 お菓子作り、清掃活動等	地域コーディネーター 地域ボランティア		
	富野小学校「放課後子ども教室」	11月10日 ～ 3月9日	火 金	14:30 ～ 16:30	学習タイム・体験活動等	地域コーディネーター 地域ボランティア	富野小学校	

体系	事業名	月日	曜日	時間	テーマ	講師名	場所	人数
	久世ともだちランド	4月29日 ～ 3月3日	土	9:00 ～ 11:30	自由あそび・昔あそび・ (囲碁・将棋・オセロ) 習字教室	地域コーディネーター 地域ボランティア	久世小学校 運動場・体育館・図書室	延べ 1,273
	富野ふれあい図書室	5月27日 ～ 3月10日	土	9:00 ～ 12:00	読み聞かせ・パネルシアター・紙芝居・工作	地域コーディネーター	富野小学校 図書室	延べ 485
その他	第6回城陽市国民文化祭記念事業	1月14日	日	13:00 ～ 16:00	京都和太鼓フェスティバル in 城陽	<出演> 市内外8団体 プロ奏者1組	文化パルク城陽 プラムホール	1,000
	第6回城陽市国民文化祭記念事業	3月10日	土	12:45 ～ 16:30	大正琴の祭典 in 城陽	<出演> 市内外16団体 ゲスト出演1組	文化パルク城陽 プラムホール	650
	第29回オータムコンサート	11月4日	土	13:30 ～ 16:00	合奏・合唱	<発表者> 市内小中学校、児童・生徒	文化パルク城陽 プラムホール	850
	第34回「青少年の意見」発表会	10月28日	土	13:30 ～ 16:00	青少年による主張大会	<発表者> 市内小・中・高・養、 児童・生徒	文化パルク城陽 ふれあいホール	約 230
	平成30年城陽市成人式	1月8日	月	13:00 ～ 16:00	記念式典、新成人による 企画運営イベント	新成人企画運営委員 21名	文化パルク城陽 プラムホール 他	540

社 会 体 育

1. スポーツ推進委員
2. 社会体育事業
3. 社会体育施設等の概要

社 会 体 育

スポーツ・レクリエーションは、心身ともにすこやかな人間の育成をはかるとともに情操を豊かにし、健康で文化的な生活を営むうえで大いに必要なものである。

本市では市民一人ひとりが日常生活の中へスポーツ・レクリエーションを取り込み、定着できるように体育協会、体育振興会、スポーツ団体連合会、スポーツ少年団等との連携を深め、「親しめるスポーツ・レクリエーション」の「機会」及び「場」づくりに努めている。

1. スポーツ推進委員

任期：平成 28 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日

中学校区	小学校区	氏 名	専 門 ス ポ ー ツ	28 年度末までの在任年数
北城陽	久津川	石 田 良 一	バレーボール	21 年
		松 田 昌 己	ソフトボール・ソフトバレーボール	9 年
	古 川	黒 田 行 雄	ソフトボール	17 年
		新 谷 佳 子	バレーボール	5 年
			木佐一 憲治	サッカー・陸上競技(長距離)
東城陽	久 世	久留米 正子	バレーボール	25 年
		高 橋 裕 幸	サッカー・スキー・バレーボール	9 年
	深 谷	中 川 弘 一	水泳・ラグビー	14 年
		谷 崎 健 司	ハンドボール	1 年
			三 藤 敏 文	ソフトボール・ジョギング
城 陽	寺 田	大 尾 幸 司	バレーボール	5 年
		吉 田 光 孝	バスケットボール・ハンドボール	2 年
	寺田南	上野山 英雄	バスケットボール・スキー	31 年
		渡 邊 毅	野 球	新
			笹 嶋 道 子	バレーボール
西城陽	寺田西	田 中 守	野 球	9 年
		大 橋 圭	バレーボール・テニス	2 年
	今 池	山 下 修 一	ソフトボール	1 年
		林 明花音	バレーボール・ダンス	1 年
			須 崎 貞 子	ソフトボール
南城陽	富 野	谷口 富士夫	バレーボール・ソフトボール	11 年
		角 田 啓 介	野 球	1 年
	青 谷	堀 井 裕	野球・ソフトボール・バドミントン	1 年
		茂 野 彰	陸上競技・スノーボード	5 年
			岡 崎 千 鶴	バレーボール

2. 社会体育事業

事業名	内 容	対 象	備 考
市民総合体育大会	スポーツの振興・競技力の向上（19団体20種目） 参加者数 H28:2,542人、H27:2,417人	市 民	体育協会主催
城陽マラソン大会	スポーツの振興 参加者数 H28:2,070人、H27:1,957人		城陽マラソン実行委員会主催
市民陸上記録会	陸上競技の振興・競技力の向上 参加者数 H28:357人、H27:295人	市 民	体育協会主催
市民エコロベース大会	スポーツの振興 出場 H28:15チーム196人、H27:雨天中止	支部代表	体育振興会主催
市民ソフトバレーボール大会	スポーツの振興 出場 H28:20チーム、H27:20チーム	支部代表	体育振興会主催
市民グラウンドゴルフ大会	スポーツの振興 出場 H28:28チーム168人、H27:中止	支部代表	体育振興会主催
区民運動会	スポーツの振興・地域連帯感の醸成	各校区単位 (10校区)	体育振興会支部主催
各種競技大会等	スポーツの振興・競技力の向上	種目別 団 体	各競技団体主催
各種ニュースポーツ大会	スポーツ・レクリエーションの普及と振興 ファミリーバドミントン大会・ニュースポーツフェスティバル・ラージボール卓球大会・ペタンク大会・ソフトバレーボールフェスティバル H28:783人、H27:849人	市 民	市教委・スポーツ推進委員主催
スポーツ教室	スポーツの普及と振興、場の提供 H28:6事業202人、H27:6事業174人	市 民	市教委・スポーツ推進委員主催
スポーツ推進委員研修会	各種研修 スポーツ・レクリエーション知識の習得	スポーツ 推進委員	
校区民スポーツデー	市民にスポーツの場と機会の提供	市 民	各体育振興会で取組
京都サンガF.C.ホームゲーム観戦	京都サンガF.C.ホームゲーム観戦事業を通してホームタウン意識の高揚を図る。 H28:22回664人、H27:21回707人	市 民	市教委主催
京都サンガF.C.と市民交流会	京都サンガF.C.の練習場でサッカー競技を通して選手と市民相互の親睦を図る。 参加者数 H28:233人、H27:248人	市 民	市教委主催
寺田西総合型地域スポーツクラブ	スポーツ・レクリエーションの普及と振興 ラージボール卓球・ソフトバレーボール・ファミリーバドミントン・子どもスポーツ教室	市 民	

3. 社会体育施設等の概要

施設名	所在地	電話番号	設置年月日	敷地面積 (㎡)	建築面積 (㎡)	備考
市民プール	久世荒内 149	—	昭和 55. 7. 20	3, 531. 4	2, 998. 0	プール延面積 698. 2 ㎡ 附属建物延面積 394. 3 ㎡
木津川河川敷 運動広場	水主下外島 23-1 地先	—	昭和 49. 10. 13	32, 730. 0	—	グラウンド 4 面 テニスコート 8 面
市民テニスコート	平川広田 67	—	平成 5. 9. 1	1, 381. 0	—	テニスコート 2 面 夜間照明あり
総合運動公園	寺田奥山 1	55-6222	昭和 60. 4. 28	160, 283. 3 (レクリエーションゾーン 面積含む)	5, 795. 8 (市民体育館)	市民体育館 競技場 1, 997 ㎡ 格技場 587 ㎡ トレーニングルーム 261 ㎡ 多目的広場 9, 955. 49 ㎡ テニスコート 4 面 2, 753 ㎡ ゲートボールコート 1 面 815 ㎡ 野球場 1 面 8, 362 ㎡ 多目的広場・テニスコートは夜間 照明あり
アイリスイン城陽	寺田大川原 26-8	55-7811	昭和 63. 7. 20	—	949. 98	宿泊室 12 室
プラムイン城陽	寺田大川原 24-4	58-0010	平成 9. 9. 1	—	1497. 77	宿泊室 11 室
東城陽ふれあい スポーツ広場	寺田大谷 124, 126	—	平成 25. 9. 1	7, 305	—	多目的広場 4, 520 ㎡

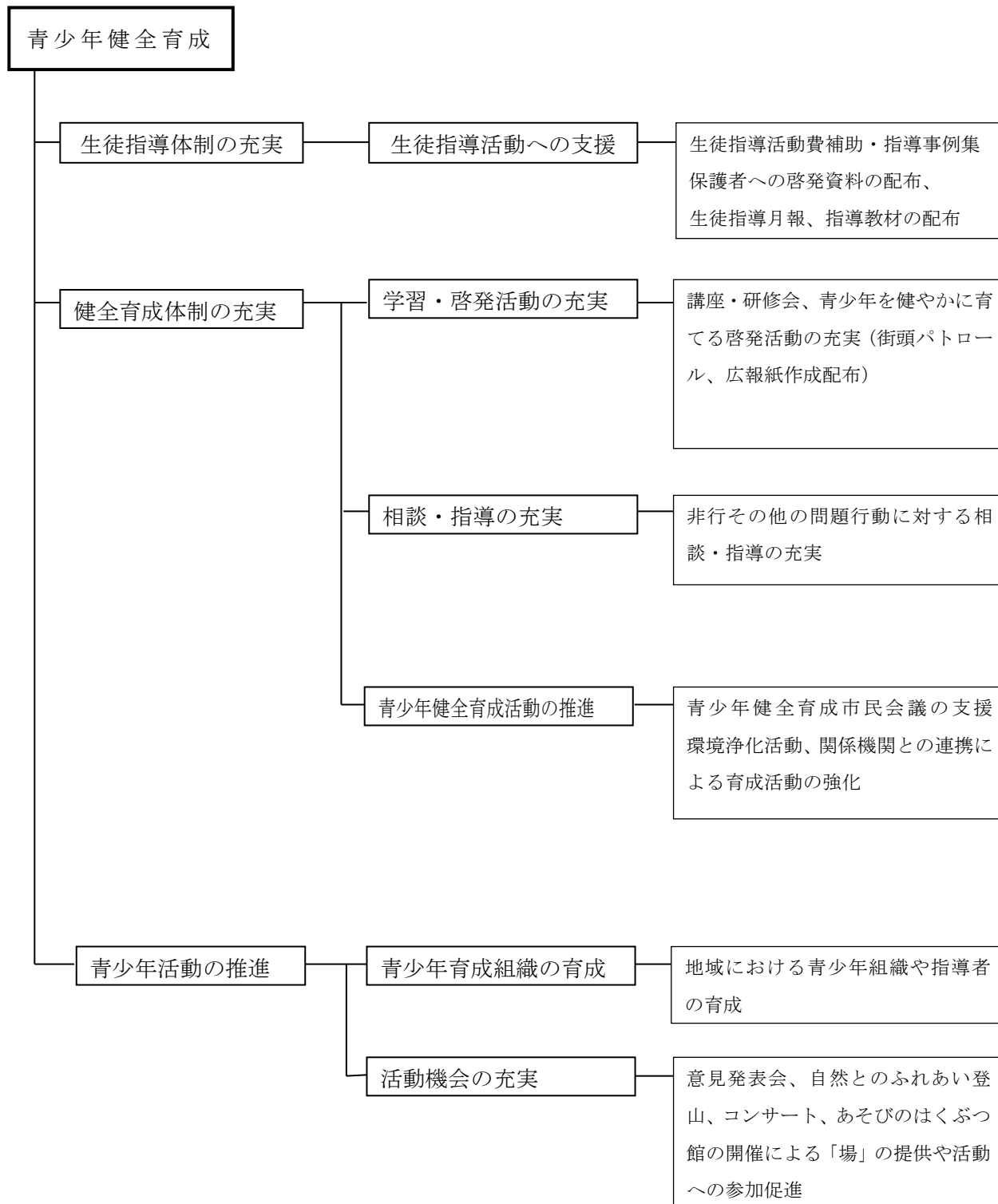
青少年行政

1. 施策体系
2. 生徒指導
3. 健全育成



青少年行政

1. 施策体系



2. 生徒指導

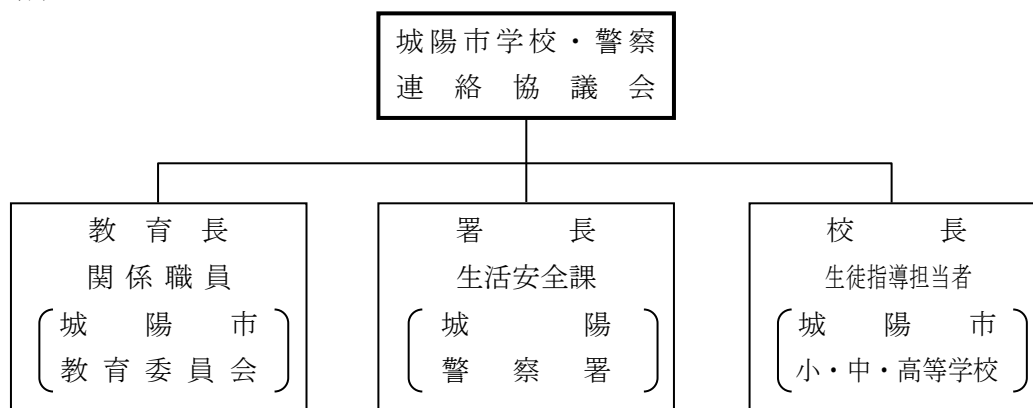
生徒指導関係組織

1. 城陽市学校・警察連絡協議会

(目的)

本会は、学校・警察および教育委員会相互の連絡を緊密にし、児童生徒の非行化防止と健全育成に資することを目的とする。

(組織)



(活動)

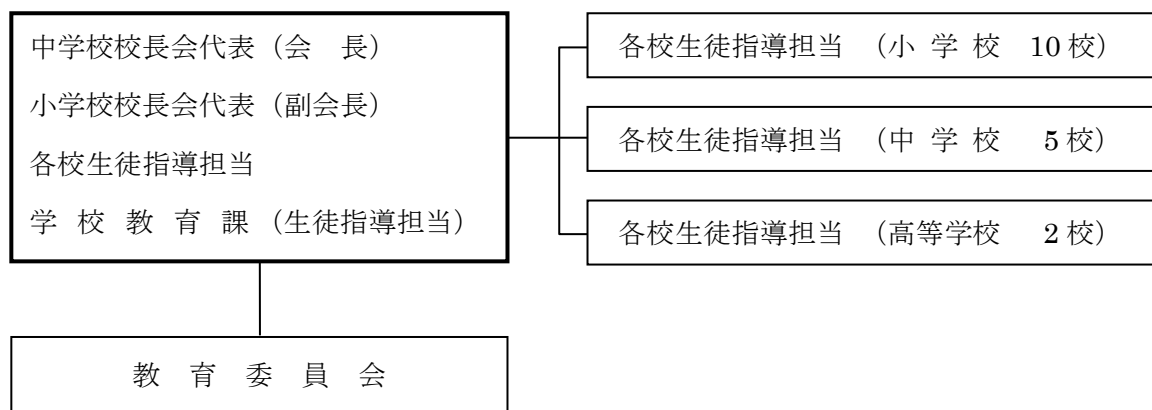
- ・ 非行防止に関する情報交換
- ・ 巡回活動等の検討と実施
- ・ 関係機関・団体およびPTAとの連携
- ・ 研修会の開催

2. 城陽市小・中・高生徒指導連絡会

(目的)

本会は、城陽市立小・中学校及び城陽市内の高等学校が生徒指導に関する諸問題について、相互の連絡を密にし、児童生徒の健全育成を期していくことを目的とする。

(組織)



3. 城陽市いじめ防止対策推進委員会

城陽市いじめ防止対策推進委員会は、いじめ防止等の対策を実効的に行うために設置され、教育委員会の諮問に応じ、市基本方針に基づくいじめ防止等のための有効な対策を検討するとともに、市立小中学校におけるいじめの事案についての調査・調整、重大事態に係る調査を行う。

委員の定数は10人以内とし、任期は2年である。

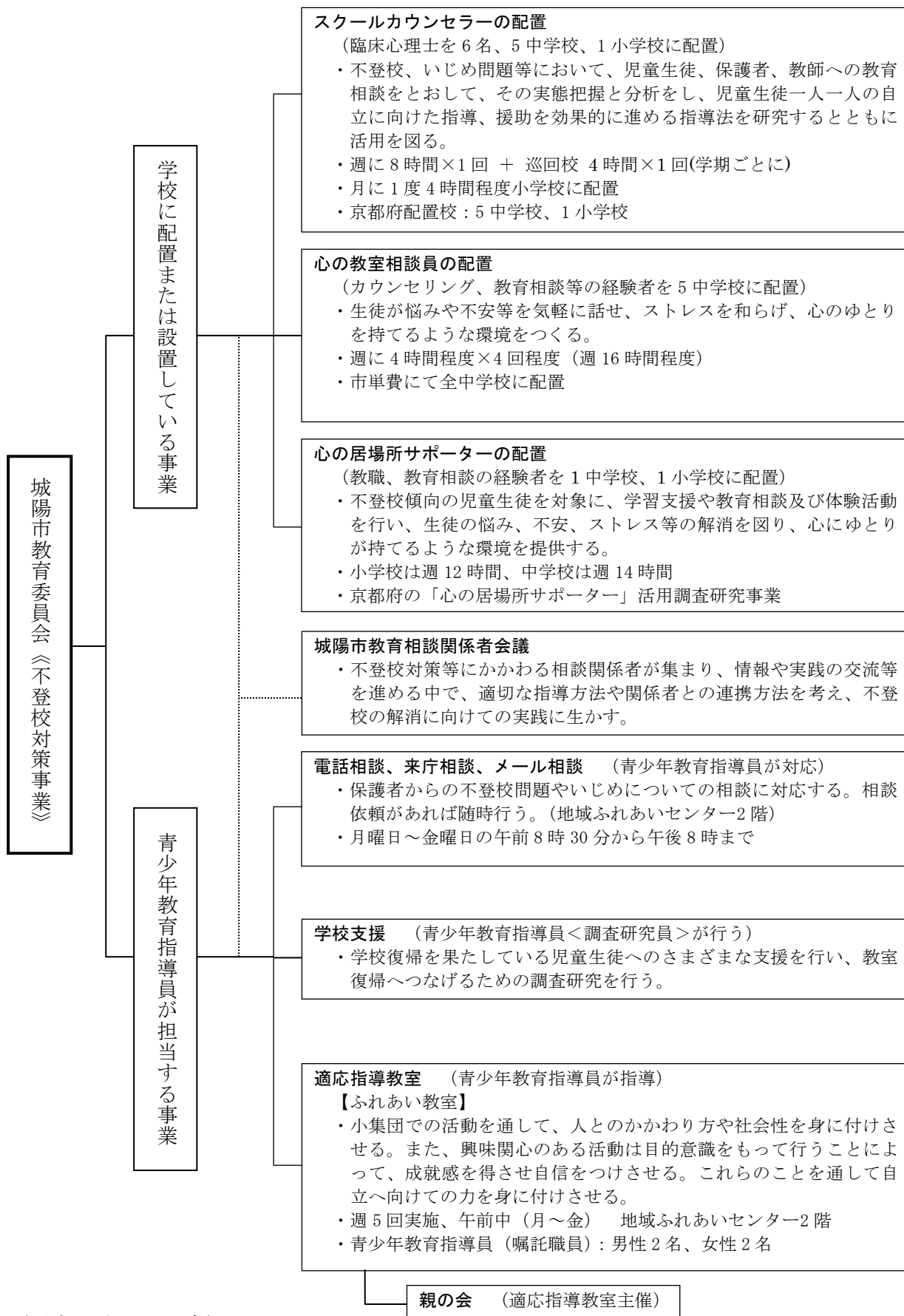
いじめ防止対策推進委員

(敬称略)

(平成29年12月31日現在)

区分	氏名	備考	任期
教育に関する識見を有する者	玉村 公二彦	奈良教育大学教育学部教授	平成31年3月31日まで
	細川 治	弁護士	
	佐々木 貞	歯科医師（元学校歯科医師）	
P T A代表	池野 亮光	城陽市P T A連絡協議会代表	
公募による市民	坂口 知子		
	筑紫 貴美		

不登校対策事業の組織と役割



(平成29年4月現在)

生徒指導上の事象別件数及び人数

校 種		小 学 校									中 学 校										
年 度		26 年度			27 年度			28 年度			26 年度			27 年度			28 年度				
事 象		件数	男子	女子	件数	男子	女子	件数	男子	女子	件数	男子	女子	件数	男子	女子	件数	男子	女子		
反社会的行動	暴力	生徒間	5	5		9	9		11	11		16	16	1	17	18		4	4		
		対教師	7	9		2	2		3	3		8	6	3	6	5	1	3	2	1	
		対人																			
	器物損壊		6	7		3	3		3	3		3	3		7	9					
	いじめ		3	15	1	-	-	-	-	-	-	13	36	14	-	-	-	-	-	-	
	恐 喝																				
	窃 盗	万引き	5	8		7	5	4	4	2	3	3	2	1	3	4					
		金 銭・物品盗	2	1	1	6	3	3	2	2		1		1	1		1				
		バイク・自転車盗	1	1																	
	金銭持ち出し		4	4		4	3	1	5	3	2	1	1		4	4					
	火 遊 び		2	9	2													2	2		
	喫 煙											8	4	5	3	2	2	1	1		
	飲 酒																	1	2		
	薬物乱用																				
	イタズラ・不健全遊び		14	39	4	11	13	3	2	1	1	17	20	7	11	27	1	7	14		
	無断外泊・家出											7	6	2	2	3	1	4	2	2	
	わいせつ行為																				
不純異性交遊																					
その他		26	45	22	55	80	23	42	38	13	227	188	118	234	223	94	177	197	94		
計		75	143	30	97	118	34	72	63	19	304	282	152	288	295	100	199	224	97		

非社会的行動	不 登 校	17	11	6	18	9	9	21	12	9	54	29	25	61	30	31	73	32	41
	そ の 他 (自殺・被害)																		
	計	17	11	6	18	9	9	21	12	9	54	29	25	61	30	31	73	32	41

3. 健全育成

青少年健全育成地域活動の推進

次代をになう青少年が、自らが成長していく力と連帯意識を培い、心身ともに健全に成長するため、学習・文化・スポーツ・レクリエーションなどの社会参加活動を推進する。さらに、青少年をとりまく社会環境が厳しい現況のなかで、学校・家庭・地域および青少年健全育成団体等とより積極的に連携し、地域の教育力を高める学習活動と運動を推進する。また、健全な家庭づくりや社会環境の浄化をすすめる地域活動を推進し、青少年の健やかな成長を図るための支援を行う。

健全育成活動

1. 啓発活動の充実

- ・ 街頭パトロール
- ・ ポスター、広報掲載
- ・ 育成だより（やまびこ）

2. 学習機会の充実

- ・ 講演会、研修会（中央、地域（共催））
- ・ 視聴覚教材の貸出（ビデオ・DVD 映写機、ビデオ・DVD ソフト、プロジェクター、スクリーン）

3. 市民運動の推進

- ・ 城陽市青少年健全育成市民会議への支援（事務局）

4. 関係機関および団体との連絡調整

- ・ 青少健校区会議、城陽警察署、民生児童委員協議会、府青少年育成協会
府少年補導協会 等

5. 青少年活動の育成、援助

- ・ 「青少年の意見」発表会など青少年の社会参加の促進
- ・ 自然とのふれあい登山
- ・ オータムコンサート（支援）、あそびのはくぶつ館

6. 青少年組織の育成

- ・ 地域子ども会の育成、活動支援

城陽市青少年健全育成市民会議

市民一人ひとりが青少年問題を考え、地域社会の問題として、市民総ぐるみで健全育成活動に取り組んでいく目的で、昭和 56 年 8 月に城陽市青少年健全育成市民会議が結成された。

1. 経過

昭和 55 年 11 月 17 日京都府青少年保護育成巡回活動隊の訪問を契機に、市青少年問題懇話会が発足した。市民総ぐるみの青少年健全育成組織の必要性を確認し、懇話会の中から小委員会を構成するなど、市民の手による組織づくりが進められ、昭和 56 年 5 月 21 日の準備総会を経て、市内小（10 校区）、中（5 校区）学校区に校区会議、ブロック会議が結成された。昭和 56 年 8 月 17 日、全市域を対象にして、評議会が発足し、「青少年健全育成のまち」を内外に宣言するとともに活動を展開した。また、小学校区ごとの校区会議では、地域に根ざした諸活動を展開している。

2. 活動の重点

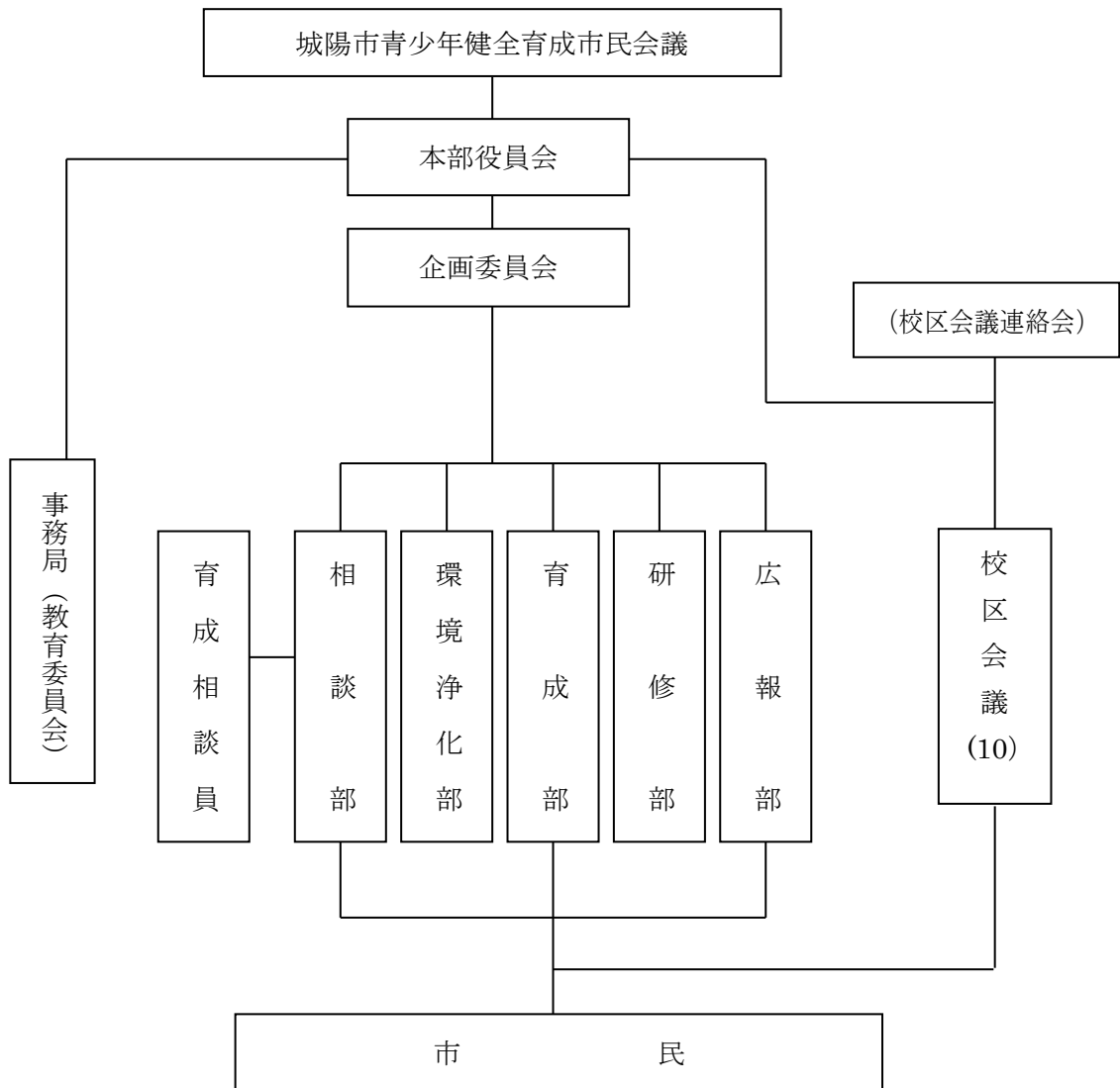
- ・ やまびこ運動の推進（市民意識の高揚）
- ・ 青少年の社会参加（健全育成事業の実施）
- ・ 悪書追放運動（社会環境の浄化）
- ・ 地域懇談会の開催（家庭・地域教育の充実）

3. 事業概要

事業項目	内容
啓発事業	やまびこ運動の推進 ・ 機関紙（健全育成だより）「やまびこ」年 3 回全戸配布 ・ やまびこ運動（あいさつ・愛のひと声）
家庭、地域教育事業	地域教育懇談会の開催 ・ 講演会・研修会・懇談会・映画会 ・ 相談活動
健全育成事業	青少年の社会参加推進 ・ 意見発表会・コンサート・クリーン運動 ・ あそびのはくぶつ館 ・ 標語入り花の種配布（幼・小新入児） ・ 地域行事への積極的参加 ・ 青少年の社会参加
教材貸出事業	・ 視聴覚教材（ビデオ・DVD 映写機、ビデオ・DVD ソフト等）

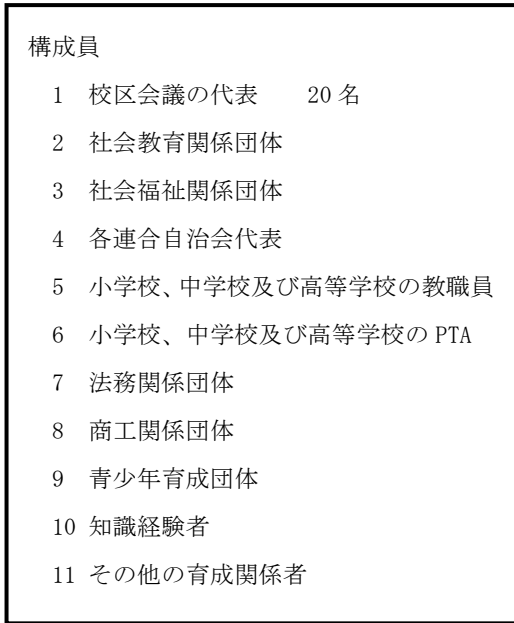
事業項目	内容
環境浄化事業	環境浄化運動の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・立入調査 ・パトロール（長期休業） ・薬物乱用防止街頭キャンペーン
校区会議活動事業	<ul style="list-style-type: none"> ・関係諸団体、機関の連絡調整 ・地域懇談会 ・音楽発表会 ・鑑賞会 ・親子マラソン ・ウォークラリー ・左義長 ・クリーン運動（各校区） ・講演会 ・懇談会 ・映画会 ・啓発活動 ・育成だより ・立看板 ・パトロール（祭礼、長期休業） ・その他の育成活動

4. 青少年健全育成市民会議（略称「青少健」）活動組織図

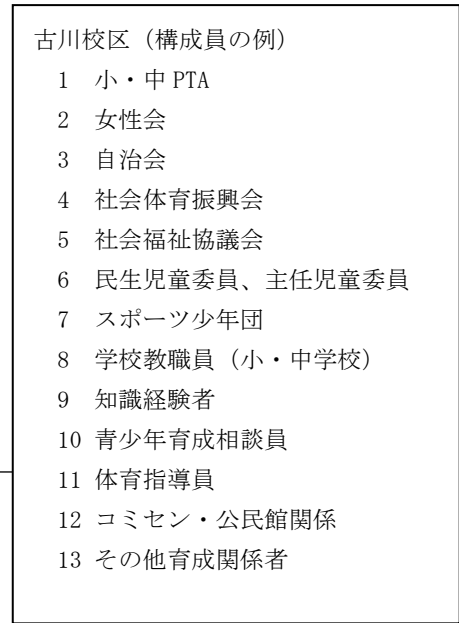


5. 城陽市青少年健全育成市民会議組織図

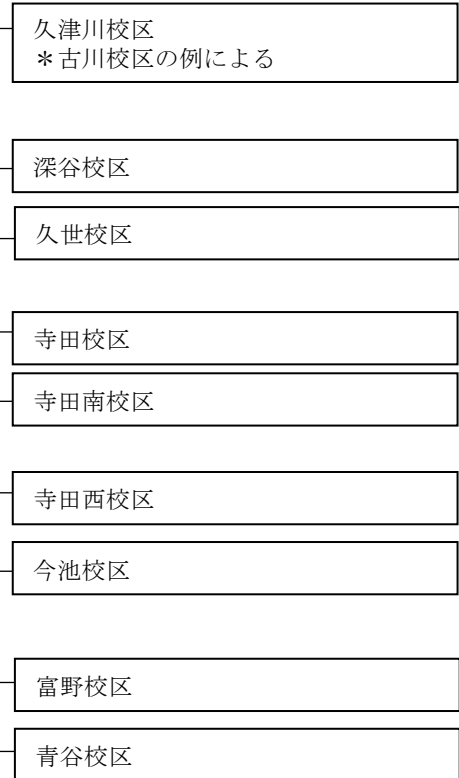
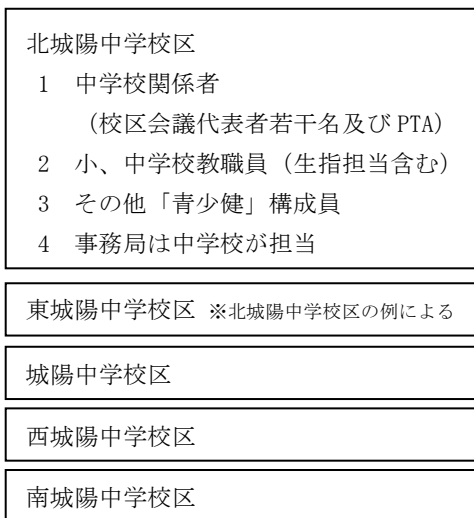
評議会（市域）



校区会議（小学校区）



（校区会議連絡会）



6. 城陽市青少年健全育成市民会議 専門部活動内容

部	活 動 の 内 容
広 報 部	青少年問題や青少年健全育成市民会議に関する活動等 全市民に広報、啓発 (例) 広報誌「やまびこ」の発行(年3回の予定)
研 修 部	青少年問題に関する研修活動の企画、実施 (例) 指導者研修会、交流研修会、講演会、先進地視察など
育 成 部	青少年の補導や社会参加をすすめる事業の企画、実施、協力 (例) 育成のためのパトロール、あそびのはくぶつ館、意見発表会、 オータムコンサート、ふれあい登山、ボランティアなど
環 境 浄 化 部	社会環境の改善、地域づくり等に関する事業の企画、実施、協力 (例) 立入調査、パトロール、有害図書類や玩具類の追放運動、 「青少年健全育成協力店」活動、薬物乱用防止キャンペーン、 深夜営業店問題など
相 談 部	青少年にかかわる家庭・地域の問題等に関する助言、援助 (例) 「青少年育成相談員」の相談活動への援助、研修会 青少年健全育成ネットワークづくり

環境浄化

1. 立入調査

京都府「青少年の健全な育成に関する条例」に基づき、立入調査(調査員は府職員)を青少年健全育成市民会議、警察と合同で実施。

2. 啓発パトロール

啓発パトロールは、教育委員会、青少年健全育成市民会議合同により、全市域対象に実施。市民会議、小・中PTAでは中学校区・小学校区単位ごとに実施。

- (実施内容)
- ① 非行化防止、薬物乱用防止、深夜徘徊、喫煙、飲酒(年間)
 - ② 非行防止、健全育成(夏季、冬季、年度末休業中)
 - ③ 非行防止(秋祭り期間中)

文化財

1. 文化財保護
2. 歴史民俗資料館
3. エコミュージアム

文 化 財

1. 文化財保護

長い歴史と風土に培われてきた自然的環境や歴史的遺産は、等しく市民のものとして保存され、活用されなければならない。そのため、郷土の文化遺産を計画的に調査し、保存・活用を図るとともに積極的にまちづくりのなかに活かすことが必要であることから、昭和61年4月1日「城陽市文化財保護条例」を制定した。

文化財保護審議会委員

(五十音順・敬称略)

氏 名	職 等	備 考
赤 田 光 男	帝塚山大学名誉教授	
大 町 隆	城陽市文化協会監事	
小 池 久	元京都府教育庁指導部理事兼文化財保護課長 事務取扱	
畑 中 和 芳	城陽市観光協会ボランティアクラブ会員	
礪 波 恵 昭	京都市立芸術大学美術学部准教授	
増 渕 徹	京都橘大学文学部教授	
森 田 恒 孝	元京都府文化財保護指導委員	
山 岸 常 人	京都大学教授	
実 方 葉 子	(公財)泉屋博古館学芸課長	
長 友 朋 子	立命館大学文学部教授	

任期：平成28年（2016年）9月4日～平成30年（2018年）9月3日

主な文化財保護の沿革

平成4年12月 「正道官衙遺跡」の環境整備完了

正道官衙遺跡は、広さが約1.1haあり、奈良時代、今の城陽市がある南山城地方の久世郡を治めていた役所跡を当時の掘立柱建物の柱を実際に建ちあげて、見る人に分かりやすく立体的に表現している。ミニ万葉植物園もあり、四季折々の花と万葉歌が楽しめる。

平成7年11月 城陽市歴史民俗資料館の開館

城陽市歴史民俗資料館は、城陽の風土や個性を知る手掛かりとなる「みちー他地域との交流の舞台」・「しぜんー人々の生活の舞台」・「まつりー人々の共同意識」をテーマとしている。市民に歴史や文化に関する情報を提供する場であるとともに、感動や創造・思考・交歓の場を提供する施設である。

平成 8 年 3 月 「森山遺跡」の遺跡公園整備完了

森山遺跡は、縄文時代後期～古墳時代に木津川を望む標高 35m～40mの段丘上に営まれた集落遺構を中心とする複合遺跡であることから、体験学習や市民の憩いの場として、縄文時代の住居跡等を復元し整備をした。

平成 19 年 4 月 城陽市歴史民俗資料館常設展示室リニューアル開館

常設展示室をこれまでの考古中心の展示から、城陽市の歴史・文化が分かる通史型の展示とし、また展示替え可能な施設とした。城陽市の歴史や文化の常設テーマ展示や拡大特別展などに利用できるようにリニューアルした。

平成 26 年 3 月 「芝ヶ原古墳」の遺跡公園整備完了

芝ヶ原古墳は、大谷川を望む標高 50mの丘陵上に立地する前方後方形の古墳で、出土した土器から 3 世紀前半に築造されたと考えられている。歴史学習や市民の憩いの場として、墳丘の復元や体験学習広場、多目的広場、便益施設等の整備を行った。

平成 27 年 2 月 「久津川車塚古墳」の史跡整備のための発掘調査に着手

久津川車塚古墳は、5 世紀前半に築造された大谷川扇状地に立地する山城地域最大の前方後円墳で、外濠を含めた全長は 272m、墳丘長は 180mある。歴史学習や市民の憩いの場として保存・活用する整備を行う資料を得るための発掘調査に着手した。

平成 28 年 10 月 「芭蕉塚古墳」と「久世小学校古墳」の史跡追加指定及び名称変更

平成 28 年 10 月 3 日付けで、芭蕉塚古墳と久世小学校古墳(芝ヶ原 9 号墳)が「史跡久津川車塚・丸塚古墳」に追加指定され、4 基の古墳をあわせて「史跡久津川古墳群」に名称変更された。芭蕉塚古墳は、5 世紀中頃に久津川車塚古墳に続いて築造された大谷川扇状地に立地する大型の前方後円墳で、周濠を含めた全長 161m、墳丘長は 114mある。久世小学校古墳(芝ヶ原 9 号墳)は、5 世紀中頃に築造された大谷川扇状地の南側丘陵上に立地する直径 27.5mの大型の円墳である。

文化財一覧

区分	名称	所在地	対象物件・特色	時代
重要文化財	木造薬師如来立像 (阿弥陀寺)	(京都国立博物館寄託) 枇杷庄大堀	一木造、高さ 95 cm	平安時代
	久世神社本殿	久世芝ヶ原	一間社流造、檜皮葺	室町時代
	水度神社本殿	寺田水度坂	一間社流造、檜皮葺	室町時代
	荒見神社本殿	富野荒見田	三間社流造、檜皮葺	桃山時代
	芝ヶ原古墳出土品一括	(城陽市保管)	青銅製銅釧 2 点他	古墳時代初期
	木造阿弥陀如来立像 (極楽寺)	富野南垣内	一木造 像高 79.5 cm	鎌倉時代
史跡	正道官衙遺跡	寺田正道	官衙・古墳時代住居跡 昭和 49 年 9 月史跡指定	古墳時代～ 奈良時代
	平川廃寺跡	平川古宮	法隆寺式寺院跡 昭和 50 年 11 月史跡指定	奈良時代
	森山遺跡	富野森山	縄文時代後期～古墳時代集落跡 昭和 53 年 2 月史跡指定	縄文時代～ 古墳時代

区分	名称	所在地	対象物件・特色	時代
	久津川古墳群 久津川車塚古墳 丸塚古墳 芭蕉塚古墳 久世小学校古墳	平川車塚 平川茶屋裏 久世芝ヶ原	久津川古墳群の代表的古墳 昭和54年1月史跡指定 平成28年10月追加指定及び名称変更	古墳時代中期
	芝ヶ原古墳	寺田大谷	発生期の古墳 平成元年9月史跡指定	古墳時代初期
	久世麩寺跡	久世芝ヶ原	法起寺式寺院跡 平成19年12月史跡指定	奈良時代
国登録文化財	近藤家住宅主屋・離れ座敷	寺田乾出北	主屋は南山城で最初期の瓦葺農家 離れ座敷は瀟洒な数寄屋風書院造	江戸時代後期
	堀家住宅主屋・離れ座敷・乾蔵・古蔵・東蔵・南蔵及び南蔵座敷・長屋門	寺田中大小	近世の伝統的な農家建築形式	江戸時代末期～近代
府文化財	旦棕神社本殿	観音堂甲畑	登録文化財 二間者流造、こけら葺	江戸時代初期
	天満神社本殿	市辺城下	登録文化財 附棟札10枚 一間社流造、檜皮葺	桃山時代
	御霊社 (荒見神社境内)	富野荒見田	登録文化財 附棟札8枚 一間社流造、檜皮葺	桃山時代
	平井神社本殿	平川東垣外	登録文化財 一間社流造、鉄板葺、 附板札1枚、棟札6枚	江戸時代初期
	末社若宮八幡社本殿		一間社流造、鉄板葺	江戸時代初期
	鳥居		石造明神鳥居	江戸時代初期
	木造地藏菩薩坐像 (念仏寺)	寺田北東西	指定文化財 寄木造、像高137.8cm	平安時代後期
	旅籠松屋関係資料	長池北清水	登録文化財	江戸時代～ 明治時代
	おかげ踊り 図絵馬 (水度神社)	寺田水度坂	登録文化財	江戸時代後期
	おかげ踊り 図絵馬 (中天満神社)	中黒土	登録文化財	江戸時代末期
市文化財	谷口家文書	(城陽市歴史民俗資料館寄託) 富野南垣内	大工関係を中心とした文書126点	江戸時代初期～ 明治初期
	芭蕉塚古墳	平川茶屋裏	前方後円墳	古墳時代中期
	天満宮社本殿	枇杷庄大堀	三間社流造、鉄板葺 附棟札3枚	江戸時代初期
	三縁寺大門	寺田中大小	一間一戸向唐門、棧瓦葺	桃山時代
	木造天部半跏像 (万福寺)	久世南垣内	一木造 像総高70.3cm	平安時代後期
	木造天部形立像 (長光寺)	寺田北東西	一木造 像総高127.5cm	平安時代後期
	鉄湯釜 (水度神社)	寺田水度坂	鑄鉄製 口径36.0cm 現状高38.8cm	室町時代
	上田氏旧記	寺田北東西	507項目に及ぶ寺田村の記録	江戸時代中期
	上大谷古墳群	久世上大谷	10基に及ぶ各種の古墳	古墳時代
	宝篋印塔 (深広寺)	奈島久保野	5基の花崗岩製の石塔	鎌倉時代後期
	脱活乾漆造菩薩形立像 (三縁寺)	寺田中大小	像高73.9cm	奈良時代
	中島家資料	(城陽市歴史民俗資料館寄託) 寺田北東西	2,435点の神職家資料	江戸時代初期～ 昭和中期

区分	名称	所在地	対象物件・特色	時代
	枇杷庄 ^{ハナカ} 風呂及び関連資料	(城陽市保管)	城州一心講の組立て式風呂小屋	明治時代
	木造阿弥陀如来坐像 (阿弥陀寺)	枇杷庄大堀	寄木造 像高 86.2 cm	鎌倉時代
	木造大將軍神像 (且棕神社)	(城陽市歴史民俗資料館寄託) 観音堂甲畑	一木造 像高 12.5~19.1 cm 19 軀	平安時代後期
	木造阿弥陀如来立像 (長光寺)	寺田北東西	一木造 像高 70.2 cm	平安時代
	木造阿弥陀如来立像 (念仏寺)	寺田北東西	一木造 像高 49.2 cm	平安時代
	芝ヶ原 11 号墳出土品一括	(城陽市保管)	出土品一括 鏡、滑石製刀子、鉄刀残欠 短甲残欠他	古墳時代中期
	木造阿弥陀如来立像 (念仏寺)	寺田北東西	一木造 像高 82.9 cm	鎌倉時代
	初寅の山の神まつり (中自治会)	中地区	毎年正月の初寅の日に行われる、山仕事の安全と稲の豊穰を山の神に祈る素朴な年中行事	江戸時代～現代
	水主神社本殿	水主宮馬場	一間社流造 檜皮葺	江戸時代後期
	木造阿弥陀如来立像 (正行寺)	富野堀口	寄木造 像高 98.4cm	鎌倉時代前期
	荒見神社 神門、透垣、中門	富野荒見田	神門 切妻造、本瓦葺 透垣 棧瓦葺 中門 切妻造、檜皮葺	江戸時代
	木造阿弥陀如来立像 (長光寺)	寺田北東西	一木造 像高 96.2 cm	平安時代
	上大谷古墳群出土銅鏡 3 面	(城陽市保管)	銅鏡 3 面 (き鳳鏡、飛禽文鏡、だ龍鏡)	2~5 世紀
	大般若経全六〇一卷 経箱七箱 (水度神社)	(城陽市歴史民俗資料館寄託) 寺田水度坂	大般若経全六〇一卷 経箱七箱 鎌倉時代前期の書写経を中心とする混合経	鎌倉時代前期 ～江戸時代中期
	虎図蒔絵繪馬 (森山地蔵堂)	(城陽市歴史民俗資料館寄託) 長池北裏	縦 62.8cm 横 76.3cm 杉または檜製 寛永九年(1632)の制作	江戸時代初期
	黒土 1 号墳 (中天満神社境内)	中黒土	南北約 30m、東西約 26m の楕円形墳 横穴式石室の全長約 9.5m	古墳時代後期
	家造作願書	久世南垣内	全長 1,075cm、縦 29.4cm 江戸時代の寺田村農民の貴重な史料	江戸時代中期
	黒土 1 号墳出土品一括	(城陽市保管)	須恵器、土師器、金属製品(耳環・馬具片・武器片・工具片等)、石棺片、白雲母片、ガラス玉片、埴輪片など一括	古墳時代後期
	平川廃寺出土塑像一括(158 点)	(城陽市保管)	頭髮片、衣片、指片、鼻片、筋肉の膨らみを露わにした関節を含んだ断片、装身具片など 158 点	奈良時代
	狛犬 (2 点) (水主神社)	(城陽市歴史民俗資料館寄託) 水主宮馬場	鎌倉時代前期の墨書銘がある洲浜座をもつ木製の狛犬像 2 点 像本体は近世の補作	本体：近世 洲浜座：鎌倉時代前期
	蓮開寺春まつり	平川地区	毎年 2 月 15 日に行われる、大般若経六百巻を転読する行事。	江戸時代～現代

刊行物一覧

書名	発行年月日	規格	内容
埋蔵文化財調査報告書 第 1 集	昭和 48 年 7 月 31 日	B5 版 106 ページ	芝ヶ原遺跡、塚本遺跡、水主遺跡、平川廃寺、正道遺跡などの発掘調査概報

書名	発行年月日	規格	内容
埋蔵文化財調査報告書 第2集	昭和49年3月25日	B5版 56ページ	下大谷古墳群、平川廃寺の発掘調査概報
埋蔵文化財調査報告書 第3集	昭和50年3月31日	B5版 46ページ	平川廃寺、梶塚古墳の発掘調査概要
埋蔵文化財調査報告書 第4集	昭和51年3月31日	B5版 34ページ	久世廃寺、車塚古墳の発掘調査概報
埋蔵文化財調査報告書 第5集	昭和52年3月31日	B5版 22ページ	久津川古墳群の発掘調査概報 (車塚古墳・芭蕉塚古墳・丸塚古墳)
埋蔵文化財調査報告書 第6集	昭和52年10月15日	B5版 78ページ	森山遺跡、恵美塚古墳、正道遺跡、 下大谷2号墳の発掘調査概報
埋蔵文化財調査報告書 第7集	昭和53年3月31日	B5版 68ページ	芝山遺跡、芝ヶ原13号墳、車塚古墳、 正道遺跡、芝ヶ原遺跡の発掘調査概報
埋蔵文化財調査報告書 第8集	昭和54年3月31日	B5版 42ページ	寺山古墳、久世廃寺などの発掘調査概報
埋蔵文化財調査報告書 第9集	昭和55年3月31日	B5版 46ページ	正道遺跡、久世廃寺、車塚古墳、大谷古墳群な どの発掘調査概報
埋蔵文化財調査報告書 第10集	昭和56年3月31日	B5版 70ページ	宮ノ平遺跡、平川廃寺、車塚古墳、久世廃寺の 発掘調査概報
埋蔵文化財調査報告書 第11集	昭和57年3月31日	B5版 60ページ	久世廃寺、車塚古墳、正道遺跡、芝ヶ原遺跡の 発掘調査概報
埋蔵文化財調査報告書 第12集	昭和58年3月31日	B5版 58ページ	芝ヶ原古墳群、平川廃寺、赤塚古墳、森山遺跡、 芝ヶ原遺跡の発掘調査概報
埋蔵文化財調査報告書 第13集	昭和59年3月31日	B5版 62ページ	車塚古墳、正道遺跡、芝ヶ原遺跡、芭蕉塚古墳、山道古墳、 梶塚古墳の発掘調査概報と民俗文化財の調査報告
埋蔵文化財調査報告書 第14集	昭和60年3月30日	B5版 44ページ	正道遺跡、芝ヶ原遺跡の発掘調査概報と城陽市 内における墓制の変遷
埋蔵文化財調査報告書 第15集	昭和61年3月31日	B5版 122ページ	車塚古墳、梶塚古墳、芝ヶ原10・11号墳、丸塚古墳、 平川廃寺の発掘調査概報、城陽市域の年中行事
芝ヶ原古墳 (12号)	昭和61年11月1日	B5版8ページ パンフレット	調査の概要、出土遺物
埋蔵文化財調査報告書 第16集 (芝ヶ原古墳)	昭和62年1月16日	B5版 34ページ	芝ヶ原古墳の発掘調査概報
埋蔵文化財調査報告書 第17集	昭和62年3月31日	B5版 58ページ	車塚古墳、丸塚古墳、正道遺跡、柏平古墳の発 掘調査概報、水度神社祭礼栗非榊神饌の復元
埋蔵文化財調査報告書 第18集	昭和63年3月31日	B5版 44ページ	梅の子塚古墳群、梶塚古墳の発掘調査概報 講演会要旨
埋蔵文化財調査報告書 第19集	平成元年3月31日	B5版 66ページ	梶塚古墳、車塚古墳、梅の子塚古墳群、正道遺跡、 芭蕉塚古墳の発掘調査概報、出土遺物の材質鑑定
埋蔵文化財調査報告書 第20集	平成2年3月31日	B5版 49ページ	梅の子塚古墳群、梶塚古墳、車塚古墳、芭蕉塚古墳、 芝ヶ原8号墳、久世廃寺瓦、窯跡の発掘調査概報
城陽の文化財案内	平成2年3月31日	B5版 24ページ	遺跡・遺物を中心としたパンフレット
埋蔵文化財調査報告書 第21集	平成3年3月30日	B5版 54ページ	平川廃寺、車塚古墳、横道遺跡、正道遺跡、芝ヶ原 遺跡、黒土1号墳、の発掘調査概報と芝ヶ原古墳出 土のヒスイ製勾玉・碧玉製管玉の産地分析
城陽市の文化財案内 第2集	平成3年3月31日	B5版 24ページ	神社・仏像を中心としたパンフレット
埋蔵文化財調査報告書 第22集	平成4年3月31日	B5版 76ページ	横道遺跡、北垣内1号墳、平川廃寺、古宮遺跡 の発掘調査概報と中島家資料調査報告
文化財講演会記録集 第1集	平成4年3月31日	B5版 69ページ	第1回から第3回までの内容を収録
埋蔵文化財調査報告書 第23集	平成5年3月31日	B5版 35ページ	平川廃寺、箱塚古墳(北垣内遺跡)、恵美塚古墳 の発掘調査概報
埋蔵文化財調査報告書 第24集 (正道官衙遺跡)	平成5年3月31日	B5版 202ページ	正道遺跡の正式報告書
埋蔵文化財調査報告書 第25集	平成6年3月31日	B5版 40ページ	室木遺跡、西山古墳群、北垣内遺跡、古宮遺跡、 横道遺跡の発掘調査概報
埋蔵文化財調査報告書 第26集	平成6年12月28日	B5版 19ページ	室木遺跡の発掘調査概報
埋蔵文化財調査報告書 第27集	平成7年3月31日	B5版 52ページ	北垣内遺跡、水主遺跡(水主城跡)、正道遺跡、芝ヶ原遺跡、 横道遺跡、平川廃寺、車塚古墳、芭蕉塚古墳の発掘調査概報

書名	発行年月日	規格	内容
埋蔵文化財調査報告書 第28集	平成7年3月31日	B5版 63ページ	芝山遺跡の発掘調査概報
埋蔵文化財調査報告書 第29集	平成7年3月31日	B5版 6ページ	正道遺跡の発掘調査概報
城陽市文化財地図	平成8年10月	A0版	城陽市内の文化財地図
埋蔵文化財調査報告書 第30集	平成8年3月31日	B5版 40ページ	水主遺跡、(水主城跡)、梶塚古墳、芝ヶ原遺跡、塚本遺跡、塚本東遺跡の発掘調査概報
埋蔵文化財調査報告書 第31集	平成8年3月31日	B5版 34ページ	芝ヶ原遺跡、塚本東遺跡、正道遺跡の発掘調査概報
城陽市緑と歴史の散歩道 (文化財案内)	平成8年3月	A4版 12ページ	緑と歴史の散歩道の案内パンフレット
埋蔵文化財調査報告書 第32集 (森山遺跡)	平成9年3月31日	A4版 78ページ	森山遺跡の正式報告書
埋蔵文化財調査報告書 第33集	平成9年3月31日	A4版 44ページ	塚本遺跡、塚本東遺跡、梶塚古墳、室木遺跡、古宮遺跡、梅の子塚古墳群、久津川車塚古墳の発掘調査概報
埋蔵文化財調査報告書 第34集	平成10年3月31日	A4版 40ページ	梅の子塚古墳群、塚本東遺跡、芝ヶ原遺跡横道遺跡の発掘調査概報
埋蔵文化財調査報告書 第35集	平成10年3月31日	A4版 24ページ	横道遺跡、久津川車塚古墳の発掘調査概報
埋蔵文化財調査報告書 第36集	平成11年3月31日	A4版 40ページ	塚本東遺跡、横道遺跡、黒土1号墳の発掘調査概報
埋蔵文化財調査報告書 第37集	平成11年3月31日	A4版 44ページ	芝山遺跡の発掘調査概報
埋蔵文化財調査報告書 第38集	平成12年3月31日	A4版 40ページ	塚本東遺跡、正道遺跡、室木遺跡、黒土1号墳の発掘調査概報
埋蔵文化財調査報告書 第39集	平成13年3月30日	A4版 34ページ	古宮遺跡の発掘調査概報
埋蔵文化財調査報告書 第40集	平成13年3月30日	A4版 39ページ	黒土1号墳、久津川車塚古墳、芭蕉塚古墳、芝ヶ原遺跡の発掘調査概報
埋蔵文化財調査報告書 第41集	平成13年3月30日	A4版 17ページ	横道遺跡の発掘調査概報
極楽寺阿弥陀如来立像修理報告書	平成13年3月30日	A4版 16ページ	阿弥陀如来像の修理の際に仏像内から鎌倉時代の仏師の快慶、行快の活動を示す文書が発見され、美術史と文献史学の立場で論考したもの
埋蔵文化財調査報告書 第42集	平成14年3月29日	A4版 37ページ	正道遺跡、芭蕉塚古墳、芝ヶ原遺跡の発掘調査概報
埋蔵文化財調査報告書 第43集	平成15年1月31日	A4版 31ページ	小樋尻遺跡の発掘調査概報
埋蔵文化財調査報告書 第44集	平成15年3月31日	A4版 33ページ	正道遺跡、芭蕉塚古墳の発掘調査概報
埋蔵文化財調査報告書 第45集	平成15年3月31日	A4版 20ページ	芭蕉塚古墳の発掘調査概報
埋蔵文化財調査報告書 第46集	平成15年3月31日	A4版 14ページ	横道遺跡の発掘調査概報
埋蔵文化財調査報告書 第47集	平成16年3月31日	A4版 16ページ	平川廃寺の発掘調査概報
埋蔵文化財調査報告書 第48集	平成16年3月31日	A4版 8ページ	芭蕉塚古墳の発掘調査概報
埋蔵文化財調査報告書 第49集	平成16年3月31日	A4版 7ページ	芭蕉塚古墳の発掘調査概報
埋蔵文化財調査報告書 第50集	平成17年3月31日	A4版 26ページ	芭蕉塚古墳の発掘調査概報
埋蔵文化財調査報告書 第51集	平成18年3月31日	A4版 116ページ	芭蕉塚古墳の発掘調査報告書
埋蔵文化財調査報告書 第52集	平成18年3月31日	A4版 23ページ	正道遺跡、横道遺跡の発掘調査概報
埋蔵文化財調査報告書 第53集	平成18年3月31日	A4版 18ページ	久津川車塚古墳の発掘調査概報
埋蔵文化財調査報告書 第54集	平成19年3月31日	A4版 38ページ	芝ヶ原9号墳の発掘調査概報と黒土1号墳出土金属製品の整理調査

書名	発行年月日	規格	内容
埋蔵文化財調査報告書 第55集	平成20年3月31日	A4版 33ページ	平川廃寺、芝ヶ原9号墳、山道東古墳の発掘調査概報
埋蔵文化財調査報告書 第56集	平成20年3月31日	A4版 117ページ	土地区画整理事業に伴う芝ヶ原遺跡、古宮遺跡、横道遺跡の発掘調査報告書
埋蔵文化財調査報告書 第57集	平成21年3月31日	A4版 64ページ	芝ヶ原9号墳の発掘調査報告書
埋蔵文化財調査報告書 第58集	平成21年3月31日	A4版 55ページ	山道東古墳の発掘調査報告書
埋蔵文化財調査報告書 第59集	平成21年3月31日	A4版 16ページ	史跡芝ヶ原古墳の整備に伴う発掘調査概報
埋蔵文化財調査報告書 第60集	平成22年3月31日	A4版 36ページ	芝ヶ原1～7号墳の墳丘測量調査報告書
埋蔵文化財調査報告書 第61集	平成22年3月31日	A4版 12ページ	史跡芝ヶ原古墳の整備に伴う発掘調査概報
埋蔵文化財調査報告書 第62集	平成23年3月31日	A4版 37ページ	横道遺跡の発掘調査報告書
埋蔵文化財調査報告書 第63集	平成23年3月31日	A4版 16ページ	市道拡幅に伴う横道遺跡の発掘調査報告書
埋蔵文化財調査報告書 第64集	平成24年3月31日	A4版 44ページ	青塚古墳出土埴輪の整理調査報告書
埋蔵文化財調査報告書 第65集	平成24年3月31日	A4版 16ページ	久津川車塚古墳の発掘調査報告書
埋蔵文化財調査報告書 第66集	平成25年3月31日	A4版 37ページ	冑山遺跡の発掘調査と、梶塚古墳出土埴輪の整理調査の報告書
埋蔵文化財調査報告書 第67集	平成26年3月31日	A4版 37ページ	冑山遺跡、古宮遺跡の発掘調査と、山道東古墳出土埴輪の整理調査の報告書
埋蔵文化財調査報告書 第68集	平成26年3月31日	A4版 141ページ	芝ヶ原古墳の発掘調査・整備報告書
埋蔵文化財調査報告書 第69集	平成27年3月31日	A4版 35ページ	青塚古墳の発掘調査と、城陽市域の古墳・遺跡出土埴輪の整理調査の報告書
埋蔵文化財調査報告書 第70集	平成28年3月31日	A4版 29ページ	正道遺跡、塚本遺跡の発掘調査と、青塚古墳出土埴輪の整理調査の報告書
埋蔵文化財調査報告書 第71集	平成28年6月30日	A4版 16ページ	小樋尻遺跡の発掘調査報告書
埋蔵文化財調査報告書 第72集	平成29年3月31日	A4版 37ページ	石神遺跡、北垣内遺跡、塚本東遺跡の発掘調査と、青塚古墳出土遺物の整理調査の報告書
埋蔵文化財調査報告書 第73集	平成29年3月31日	A4版 17ページ	久津川車塚古墳の発掘調査報告書
埋蔵文化財調査報告書 第74集	平成29年3月31日	A4版 116ページ	塚本遺跡、塚本東遺跡の発掘調査報告書

2. 歴史民俗資料館

城陽市歴史民俗資料館（平成7年11月開設）では、市域の歴史や文化に関する資料の収集・調査・研究を行い、その成果を展示や刊行物（図録、調査報告書など）で公開、情報を発信・提供するとともに、文化財講演会や文化財見学会、ふれあい教室などの普及活動を通して市民の文化活動に寄与する。

なお、平成19年度の常設展示室等のリニューアル開館と同時に、城陽市内在住の小・中学生、65歳以上の方、障害者手帳等をお持ちの方の観覧料を免除する措置を講じた。

資料館の使命

1 城陽の歴史・民俗・文化を次世代に伝えます。

- ①楽しく学べる資料館
- ②普及活動の充実

2 市民を中心とした館運営を目指し、市民の文化的活動を支援します。

- ①地域と歩む資料館
- ②市民の優れた技能・知識を活用した資料館
- ③市民の自発的な学習を支援する資料館
- ④出会いの場となる資料館

3 資料館資料の充実に努め、情報発信基地（エコミュージアムコア施設）としての役割を果たします。

- ①城陽市の歴史・文化がわかる資料館
- ②調査・収集・研究活動の充実

施設の概要

（所在地）	城陽市寺田今堀1番地（文化パーク城陽内）
（電話・FAX）	電話番号 0774-55-7611 FAX 0774-55-7612
（開館時間）	午前10時から午後5時まで（入館午後4時30分まで）

1 史料としての古文書調査・研究・活用・保存

昨今の都市化の進行、家屋の改築等によって、数百年にわたって保有されている貴重な歴史資料である古文書の多くが散逸しつつある現状に鑑み、古文書の調査・研究・保存を進める。併せて古文書の目録をデータ化することにより保存・活用を図る。調査・研究の成果は展示や刊行物によって情報発信し、市民の歴史に対する関心に応える。

2 民俗文化財調査・保存・紹介

長い年月にわたって先人たちが築き上げてきた暮らしの有様、生活用具、風俗・習慣等の民俗文化財は、都市化により急激に変貌し失われつつある。この民俗文化財について計画的な調査を実施し、その保存・継承また活用を進め、地域の伝統に根ざした文化の発展に資する。

3 特別展・資料紹介等による情報発信・提供

歴史民俗資料館では、市域の歴史資料、民俗資料、考古資料の収集・調査・研究を行い、人びとの暮らしや自然、趣味を歴史・民俗の視点から取り上げる特別展・資料紹介等を開催することにより、市民に情報を発信・提供する。

利用者状況の推移

年 度	観覧者数			貸館入場者・ 講演会等参加者	利用者合計
	おとな	こども	合 計		
平成7年度	6,660	4,419	11,079	1,625	12,704
平成8年度	6,362	3,871	10,233	1,446	11,679
平成9年度	4,334	3,316	7,650	1,027	8,677
平成10年度	3,795	3,351	7,146	1,117	8,263
平成11年度	4,188	3,188	7,376	855	8,231
平成12年度	3,782	2,713	6,495	815	7,310
平成13年度	8,652	2,586	11,238	986	12,224
平成14年度	2,866	2,227	5,093	359	5,452
平成15年度	4,025	2,970	6,995	551	7,546
平成16年度	3,467	2,819	6,286	1,352	7,638
平成17年度	2,578	2,177	4,755	1,429	6,184
平成18年度	2,679	2,149	4,828	2,071	6,899
平成19年度	6,021	5,048	11,069	2,401	13,470
平成20年度	4,299	5,851	10,150	2,340	12,490
平成21年度	3,729	5,746	9,475	3,298	12,773
平成22年度	3,468	6,817	10,285	2,508	12,793
平成23年度	5,281	6,307	11,588	4,584	16,172
平成24年度	2,343	3,373	5,716	2,771	8,487
平成25年度	2,597	4,384	6,981	4,502	11,483
平成26年度	2,841	4,035	6,876	3,227	10,103
平成27年度	3,462	3,689	7,151	4,311	11,462
平成28年度	3,029	3,426	6,455	3,029	9,484
合 計	90,458	84,462	174,920	46,604	221,524

※平成7年度は11月～平成8年3月31日

※平成18年度は1月30日から3月31日まで休館

(人)

※平成24年度は8月14日から11月30日まで休館

刊行物一覧

書 名	発行年月日	規 格	内 容
城陽町史 第1巻	昭和44年3月30日	A5版 207ページ	古代～近世
城陽市近代のあゆみ	昭和50年3月28日	A5版 120ページ	明治時代～昭和20年の主要史料目録
城陽市史年表	昭和52年3月31日	A5版 211ページ	紀元前B.C.2000～A.D.1976年政治、行政、産業、文化等 3,000項目
城陽市史 第2巻	昭和54年6月30日	A5版 1,100ページ	明治時代～昭和20年
城陽の歴史をたずねて	昭和58年3月31日	B6版 56ページ	埋蔵文化財、神社と祭礼、旧農村の生活風習
史料が語る城陽近世史 第1集 青谷地域編	昭和59年3月31日 (在庫切れ)	A5版 189ページ	村の政治と生活文化、山と生活、川と生活をテーマに史料84点の紹介と解説
史料が語る城陽近世史 第2集 富野荘地域編	昭和60年7月30日 (在庫切れ)	A5版 226ページ	村政と農民、洪水と村、旅と長池宿、農村の職人(大工)をテーマに99点の紹介と解説
史料が語る城陽近世史 第3集 寺田地域編	昭和63年3月31日	A5版 236ページ	領主支配と村、村の中の町、氏神と村人、村の伊勢講をテーマに史料119点の紹介と解説
史料が語る城陽近世史 第4集 久津川地域編	平成2年3月31日	A5版 238ページ	村と領主、村と村人、村の1年、風土と暮らしをテーマに史料100点の紹介と解説
城陽の民話と暮らし	平成5年10月30日	A5版 169ページ	古老からの聞き取りを基に、民話やかつての暮らしを200話、話し言葉で収録
城陽市歴史民俗資料館展示図録1 常設展示案内「古墳のまつり」	平成7年11月1日	A4版 63ページ	久津川車塚古墳を中心に常設展示の紹介と解説

書名	発行年月日	規格	内容
城陽市歴史民俗資料館展示図録 2 開館記念特別展「城陽の指定文化財」	平成 7 年 11 月 1 日	A4 版 43 ページ	城陽市指定文化財 27 件と姉妹都市大韓民国慶山市の文化財の紹介と解説
城陽市民俗調査報告書 第 1 集 -ムラのしくみ・なりわい・いのり-	平成 7 年 12 月 1 日	B5 版 266 ページ	市内の全旧集落を対象とした、3 年間にわたる、村落組織・生業・社寺信仰に関する民俗調査の報告書
城陽市歴史民俗資料館展示図録 3 春季企画展「よみがえる甬山古墳群」	平成 8 年 2 月 15 日	A4 版 32 ページ	甬山古墳群とその関連資料の紹介と解説
城陽市歴史民俗資料館 館報 創刊号	平成 8 年 3 月 31 日	A4 版 40 ページ	開館までの経過と施設の概要を紹介
城陽市史 第 4 巻	平成 8 年 6 月 30 日	A5 版 924 ページ	応仁の乱 (1467 年) から明治維新にかけての 400 年間の市域の歴史に関する資料と村絵図などの歴史地理資料を収録した資料編
城陽市歴史民俗資料館展示図録 4 夏季企画展「久津川古墳群を掘る」	平成 8 年 7 月 20 日	A4 版 32 ページ	近年の久津川古墳群の発掘調査成果の紹介と解説
城陽市歴史民俗資料館展示図録 5 開館 1 周年記念特別展「古代役人のしごととくらし」	平成 8 年 11 月 1 日	A4 版 48 ページ	正道官衙遺跡を中心に京都府内の官衙 (役所) 遺跡の紹介と解説
城陽市歴史民俗資料館展示図録 6 春季企画展「青谷梅林と奈良鉄道」	平成 9 年 2 月 8 日	A4 版 32 ページ	青谷梅林と奈良鉄道の歴史について紹介と解説
城陽市歴史民俗資料館 館報 2 号	平成 9 年 3 月 31 日	A4 版 56 ページ	平成 7 年度の事業活動を紹介
城陽市歴史民俗資料館展示図録 7 夏季企画展「木津川と流れ橋」	平成 9 年 7 月 19 日	A4 版 32 ページ	木津川の自然や川と人のくらしの関わりを紹介と解説
城陽市歴史民俗資料館展示図録 8 特別展「鏡と古墳」	平成 9 年 11 月 1 日	A4 版 48 ページ	久津川古墳群から出土した鏡とその役割の紹介と解説
城陽市歴史民俗資料館展示図録 9 春季企画展「古代人との出会い」	平成 10 年 2 月 7 日	A4 版 32 ページ	赤塚古墳出土の人物埴輪を中心に当時の人々の暮らしや風俗の紹介と解説
城陽市歴史民俗資料館 館報 3 号	平成 10 年 3 月 31 日	A4 版 56 ページ	平成 8 年度の事業活動を紹介
城陽市歴史民俗資料館展示図録 10 夏季企画展「火と人のくらし」	平成 10 年 7 月 4 日	A4 版 32 ページ	火と人との関わりを民俗資料を含めて紹介・解説
城陽市歴史民俗資料館展示図録 11 特別展「絵図が語るふるさとの景観」	平成 10 年 10 月 24 日	A4 版 48 ページ	城陽に残されている絵図や地区の紹介と解説
城陽市歴史民俗資料館展示図録 12 春季企画展「クヌギくんの発掘たんけん」	平成 11 年 2 月 6 日	A4 版 32 ページ	平成 7～9 年度に発掘された遺跡の紹介と南山城各地の関連資料を紹介
城陽市歴史民俗資料館 館報 4 号	平成 11 年 3 月 31 日	A4 版 56 ページ	平成 9 年度の事業活動を紹介
城陽市史 第 3 巻	平成 11 年 3 月 31 日	A4 版 937 ページ	市内の全遺跡を解説した考古編と古代から応仁の乱 (1467 年) までの歴史資料を収録した資料編
城陽市歴史民俗資料館展示図録 13 企画展「山」	平成 11 年 8 月 28 日	A4 版 32 ページ	里山のくらしと歴史について紹介と解説
城陽市歴史民俗資料館展示図録 14 特別展「花」	平成 11 年 10 月 23 日	A4 版 48 ページ	城陽の古代寺院跡と寺院の萱の軒先に花開く文様 (古瓦) の紹介と解説
城陽市歴史民俗資料館 館報 5 号	平成 11 年 12 月 15 日	A4 版 56 ページ	平成 10 年度の事業活動を紹介
城陽市歴史民俗資料館展示図録 15 春季企画展「旅」	平成 12 年 2 月 5 日	A4 版 32 ページ	江戸時代の宿場町の様子や役割の紹介と解説
城陽市民俗調査報告書 第 2 集 -ふるさとの暮らしを訪ねて-	平成 12 年 3 月 31 日	B5 版 207 ページ	市内の 6 地域の古老から聞いた、かつての年中行事や衣・食・住などに関する報告書
城陽市歴史民俗資料館展示図録 16 秋季企画展「お茶・人・くらし」	平成 12 年 8 月 26 日	A4 版 28 ページ	城陽の茶業に関する資料から茶業商人の交流や通信販売の様子、さらに城陽の製茶の移り変わりの紹介と解説
城陽市歴史民俗資料館展示図録 17 特別展「首長の装身具」	平成 12 年 11 月 3 日	A4 版 44 ページ	久津川古墳群を中心に古墳から出土した装身具や近世の髪飾り、髪型などの紹介と解説
城陽市歴史民俗資料館展示図録 18 春季企画展「金銀糸」	平成 13 年 2 月 3 日	A4 版 28 ページ	金銀糸の主な種類・基本的な製造工程の紹介と解説
城陽市歴史民俗資料館 館報 6 号	平成 13 年 3 月 31 日	A4 版 52 ページ	平成 11 年度の事業活動を紹介
城陽市歴史民俗資料館 館報 7 号	平成 14 年 3 月 29 日	A4 版 52 ページ	平成 12 年度の事業活動を紹介
城陽市歴史民俗資料館 館報 8 号	平成 15 年 3 月 28 日	A4 版 50 ページ	平成 13 年度の事業活動を紹介

書名	発行年月日	規格	内容
城陽市歴史民俗資料館展示図録 19 夏季企画展「城陽の自然－地形から みた城陽」	平成 13 年 8 月 11 日	A4 版 28 ページ	地形からみた城陽をテーマに自然の偉大さ、雄 大さを探り、自然との共存について考える。
城陽市歴史民俗資料館展示図録 20 特別展「平山郁夫作品展」	平成 13 年 11 月 23 日	A4 版 44 ページ	日本文化の源流、シルクロードや京都・奈良の 寺院を題材した作品を展示
城陽市史 第 1 巻	平成 14 年 1 月 10 日	A4 版 1,016 ページ	自然環境と原始古代から近世までの通史
城陽市歴史民俗資料館展示図録 21 春季企画展「自然を織る、染める、纏 う－古代の布と色－」	平成 14 年 2 月 9 日	A4 版 28 ページ	人びとの営みの中で培われてきた織りや染め の技術を紹介、植物繊維の美しさや植物染料の 色を実感する。
城陽市歴史民俗資料館展示図録 22 夏季企画展「自然と人間－ふるさと の生き物たち－」	平成 14 年 7 月 20 日	A4 版 28 ページ	地球環境の保全が最重要課題となっている状 況を踏まえて、自然との共生や自然の再生を考 える。
城陽市歴史民俗資料館展示図録 23 特別展「まつりのかたち」	平成 14 年 10 月 26 日	A4 版 42 ページ	市制施行 30 周年・市史完結記念として、さま ざまな“まつり”を取り上げ、人びとが何を願 い、祈ってきたのかを考える。
城陽市歴史民俗資料館展示図録 24 春季企画展「江戸のいろどり－城陽 の近世絵画－」	平成 15 年 2 月 15 日	A4 版 28 ページ	宿場町長池をはじめ市域に残されている江戸 時代のすぐれた絵画“江戸のいろどり”を紹介
城陽市歴史民俗資料館展示図録 25 夏季企画展「模型の世界」	平成 15 年 7 月	A4 版 28 ページ	みんなが憧れ、関心を抱く模型を取上げて模型 の果たした役割を考える。
城陽市歴史民俗資料館展示図録 26 秋季企画展「時は江戸 江戸の事件 簿－砲術・水論・土砂留－」	平成 15 年 10 月	A4 版 28 ページ	絵図を通して見るふるさと城陽の江戸時代
城陽市歴史民俗資料館展示図録 27 春季特別展「さくら」	平成 16 年 2 月	A4 版 42 ページ	さくらの入門編。鑑賞する他にも文学作品、芸 術作品など様々な形で登場するさくらを紹介。 日本人とさくらの関わりを考える。
城陽市歴史民俗資料館展示図録 28 夏季企画展「オバケモノノケー異界 からの使者－」	平成 16 年 7 月	A4 版 28 ページ	日本人の生活や文献に深く関わってきた妖怪 を紹介する。
城陽市歴史民俗資料館展示図録 29 秋季特別展「古墳のできるまで」	平成 16 年 10 月	A4 版 28 ページ	古墳の模型づくりを通じて古墳がどのように 築造されたかを探る。
城陽市歴史民俗資料館展示図録 30 春季特別展「creators 20 世紀のフ ァッション」	平成 17 年 2 月	A4 版 28 ページ	オートクチュール（誂え服）がファッションに 与えた影響から 20 世紀の女性像を探る。
城陽市歴史民俗資料館展示図録 31 夏季特別展「考古学者になろう 2005 夏」	平成 17 年 7 月	A4 版 20 ページ	考古学入門編、未来の考古学者養成
城陽市民俗調査報告書 第 3 集 －ふるさとの暮らしを訪ねて－	平成 18 年 1 月	B5 版 195 ページ	市内の 6 地域の古老から聞き取った、かつての 年中行事や衣・食・住などに関する報告書
城陽市歴史民俗資料館展示図録 32 春季特別展「いい湯だな お風呂の はなし こよじづくり」	平成 18 年 2 月	A4 版 20 ページ	風呂の歴史・文化を通じて日本人にとっての風 呂を紐解く。
城陽市歴史民俗資料館展示図録 33 夏季特別展「芭蕉塚古墳と王のまつ り」	平成 18 年 7 月	A4 版 20 ページ	芭蕉塚古墳の調査結果とそこから浮かび上が ってくる畿内政権との関係と王のまつりにつ いて考察
城陽市歴史民俗資料館展示図録 34 秋季特別展「食の道－未来の人に伝 える食文化－」	平成 18 年 10 月	A4 版 20 ページ	縄文時代から現代までの食生活の変遷を紹介
城陽市歴史民俗資料館展示図録 35 常設展示図録「城陽の歴史と文化財」	平成 19 年 4 月	A4 版 40 ページ	市域の歴史を時代毎に特徴的な事象を中心に 紹介
城陽市歴史民俗資料館展示図録 36 第 1 回拡大特別展「十五年戦争と城 陽」	平成 19 年 7 月	A4 版 20 ページ	十五年戦争当時の生活と人々の思いについて 紹介
城陽市歴史民俗資料館展示図録 37 春季特別展「銘仙－レトロでモダン でおしゃれな着物－」	平成 20 年 2 月	A4 版 20 ページ	大正から昭和初期にかけて親しまれた銘仙を 紹介
城陽市歴史民俗資料館展示図録 38 夏季特別展「昭和のおもちゃとこど もの遊び」	平成 20 年 7 月	A4 版 20 ページ	H19 年に寄贈を受けた田中清コレクションの 玩具資料の紹介。合わせて、昭和の暮らしや子 どもの遊びの紹介と解説
城陽市歴史民俗資料館展示図録 39 春季特別展「久津川古墳群の衰退と 新勢力の台頭－黒土 1 号墳とその時 代－」	平成 21 年 2 月	A4 版 20 ページ	黒土 1 号墳を中心として南山城の後期古墳の 紹介と解説

書名	発行年月日	規格	内容
城陽市歴史民俗資料館展示図録 40 夏季特別展「えころじー江戸学」	平成 21 年 7 月	A4 版 20 ページ	江戸時代の「ありがたい」「もったいない」の心を大切にしたり暮らしたり文化から、今に生きるエコロジーのヒントを紹介
城陽市歴史民俗資料館展示図録 41 春季特別展「城陽を語る 100 枚の写真」	平成 22 年 1 月	A4 版 20 ページ	近代から現代の城陽の風景の、変わったもの、変わらないもの、市民の暮らしの様々な場面や市域で起こった出来事を 100 枚の写真で紹介
城陽市歴史民俗資料館展示図録 42 夏季特別展「商いの顔」	平成 22 年 7 月	A4 版 16 ページ	人々の心を掴んだ看板の「デザイン」に注目し、見る人を楽しませてくれる「商いの顔」を紹介
城陽市歴史民俗資料館展示図録 43 第 2 回拡大特別展「藍 Japan blue -生活の中に息づくものたち-」	平成 23 年 1 月	A4 版 16 ページ	藍の型染木綿を中心に、藍の染色や型紙の世界・文様の多様さを紹介
城陽市歴史民俗資料館展示図録 44 夏季特別展「あの世・妖怪-闇にひそむものたち-」	平成 23 年 7 月	A4 版 18 ページ	人びとが抱いていた人の死にまつわる不安や恐れなどについて、絵巻物、日本画、浮世絵などの資料を通して紹介
城陽市歴史民俗資料館展示図録 45 春季特別展「城陽を走った電車の話-奈良電から近鉄へ-」	平成 24 年 1 月	A4 版 16 ページ	今では私たちの生活になくてはならない交通機関として親しまれている近鉄京都線の前身である奈良電気鉄道とその頃の城陽を紹介
城陽市歴史民俗資料館展示図録 46 市制施行 40 周年記念 夏季特別展 「天地を巡る日月星宿-七夕・乞巧奠 奠と夏の大祓い-」	平成 24 年 7 月	A4 版 16 ページ	朝鮮半島の古墳や中国の書籍、日本の仏教絵画、中世時代以降の絵巻物や古文書などより七夕伝承や星空に対する人々の想いを探り紹介
城陽市歴史民俗資料館展示図録 47 拡大特別展「福よ来い！こい！めでた尽くし」	平成 25 年 1 月	A4 版 16 ページ	新春にちなんで、松竹梅、鶴亀、七福神、宝船福助、達磨など広く親しまれた吉祥文様や縁起物を紹介
城陽市歴史民俗資料館展示図録 48 夏季特別展「学校の歴史」	平成 25 年 7 月	A4 版 16 ページ	明治 6 年に設立された寺田小学校・富野小学校が創立 140 周年を迎えたことを一つの契機として、市域の学校の歴史を紹介
城陽市歴史民俗資料館展示図録 49 春季特別展「願いいろいろ絵馬いろいろ-板に込めた切なる思い-」	平成 26 年 1 月	A4 版 16 ページ	江戸時代以降に奉納された絵馬を中心に、絵馬の起源と変遷を概観しながら、当時の人たちが絵馬に込めた願いや思いを紹介
城陽市歴史民俗資料館展示図録 50 芝ヶ原古墳史跡整備完成記念 夏季特別展「芝ヶ原古墳と卑弥呼の時代」	平成 26 年 7 月	A4 版 26 ページ	芝ヶ原古墳の史跡整備の完成を記念し、芝ヶ原古墳が築造された 3 世紀前半の古墳や集落跡、出土遺物等を紹介
城陽市歴史民俗資料館展示図録 51 春季特別展「土・仏・祈-古代の信仰をみつめて-」	平成 27 年 1 月	A4 版 16 ページ	市内に存在する古代寺院跡から出土した埴仏や塑像を中心に、周辺地域の関連資料も紹介
城陽市歴史民俗資料館展示図録 52 夏季特別展「石に刻まれた先人たちの想いをみつめて-みなさんの質問を中心に-」	平成 27 年 7 月	縦 210mm× 横 110mm 20 ページ 2 冊	市民学芸員とともに城陽市域の石造物の所在確認作業や拓本採取を行ない、調査してきた成果を石造物編・道標編にまとめて紹介
城陽市歴史民俗資料館展示図録 53 春季特別展「ふるさとの至宝を今ここに-城陽の文化財展-」	平成 28 年 1 月	A4 版 16 ページ	開館 20 周年を記念し、新たに指定された文化財を含む城陽市の指定文化財を紹介
城陽市歴史民俗資料館展示図録 54 夏季特別展「川と人々の暮らし」	平成 28 年 7 月	A4 版 16 ページ	木津川がもたらす恵みと災害の歴史を振り返り、川と人々の暮らしを紹介
城陽市歴史民俗資料館展示図録 55 春季特別展「ちょっと昔の暮らしと風景-昭和 30 年代を中心に-」	平成 29 年 1 月	A4 版 16 ページ	寄贈された生活用品・写真資料の中から昭和 30 年代の暮らしを紹介

3. エコミュージアム

(城陽市エコミュージアム基本方針より抜粋)

城陽市エコミュージアムの取り組みについて

城陽市には6ヶ所の国指定史跡があり、史跡の多い“まち”といえます。近畿地方では数少ない縄文時代後期の集落跡である史跡森山遺跡、卑弥呼の時代と呼ばれる3世紀に築造された史跡芝ヶ原古墳、古墳時代中期の大規模な古墳群である史跡久津川古墳群、奈良時代の地方の役所跡である史跡正道官衙遺跡、奈良時代の寺院跡である史跡久世廃寺跡や史跡平川廃寺跡は、この地域がそれぞれの時代において重要な場所であったことを示すものです。特に史跡久津川古墳群は、京都府内はもとより全国的にもよく知られた古墳群で、大規模な前方後円墳である久津川車塚古墳と芭蕉塚古墳は二代にわたる大首長が南山城地域を治めていたことを示す貴重な古墳です。

城陽市には比較的狭い範囲に縄文時代から奈良時代の史跡がまとまって所在しており、このような地域は全国的にもあまりみられません。縄文時代から奈良時代の人々の営みをこれらの史跡をつうじて実際に体験できる貴重な地域といえます。

また、歴史学習の場などとして活用するため、史跡森山遺跡、史跡芝ヶ原古墳、史跡正道官衙遺跡の史跡整備が行われています。これらは、市街地にある史跡を市民の理解を得ながら整備が行われた事例としてお手本となるものといえます。

貴重な文化遺産である史跡の保存を図るとともに、活用していくことが重要です。城陽市のエコミュージアム構想は、史跡を活用していく一つの手法として、貴重な取り組みになるものと期待します。また、城陽市エコミュージアム構想は、歴史だけではなく自然や産業を含めた先端的な取り組みであり、京都府とも連携をしてより一層の史跡の活用を積極的に進めていただければと考えます。

平成28年(2016年)9月

文化庁 文化財部記念物課 埋蔵文化財部門 森先文部科学技官

1 エコミュージアムによるまちづくりの背景

日本文化の中心である京都から五里(約20km)、奈良から五里(約20km)のちょうど中間に位置する城陽市は、古くから「五里五里の里」と呼ばれ、これまで京都・大阪圏のベッドタウンとして発展してきました。交通の要衝として古くから重要な役割をはたしてきており、先人が築き上げてきた豊かな歴史資源に恵まれております。比較的狭い範囲に縄文時代から奈良時代の史跡がまとまって所在する地域は全国的にもあまりみられないため、文化庁からも各時代の人々の営みを史跡を通じて実際に体験できる貴重な地域という評価を受けております。

城陽市では、1996年の8万6千人をピークに人口が減少に転じており、少子高齢化の流れは年々進行しております。また、数多くの歴史・自然・産業などの地域資源を有しているものの、市民や市外からの観光客に十分に認識されておらず、観光客数についても全国的に名が知られている平等院のある宇治市や、石清水八幡宮のある八幡市と比較すると、大きな差があります。

しかし、平成28年度末には新名神高速道路の「城陽―八幡」間が開通することとなり、平成35年度には「大津-城陽」間が全線供用開始されることに合わせ、ジャンクション・インターチェンジに直結する新市街地や東部丘陵地を中心に、商業・工業・流通機能をはじめとする多様な都市機能の集積が進みつつあります。

さらに、JR奈良線の複線化による鉄道網の充実も進むなど、今後かつてない交流人口の大幅な増加が見込まれることから、新たなまちづくりに向けて大きな転換期を迎えております。悠久の時を経て今再び交通の要衝となるこの絶好の機会を捉え、市民はもとより、府内や全国から来訪する観光客等に、城陽の魅力を発信し、それを活かしたまちづくりを進めていく必要があります。

そのため、市内一円の歴史・自然・産業などの地域資源を市民とともに掘り起こして活用することにより、市民がふるさとに対する誇りと愛着をもってまちづくりに参画するとともに、広く市外に城陽市の魅力を発信して多くの人たちを呼び込むことを目的として、市全体でエコミュージアムに取り組んでまいります。

2 城陽市の歴史・自然・産業

城陽市は、古くから交通の要衝として重要な地であったことから、市内にはその歴史を物語る遺跡が数多く存在しています。縄文時代から古墳時代にかけての集落跡である史跡森山遺跡、卑弥呼の時代と呼ばれる3世紀に築造された史跡芝ヶ原古墳、古墳時代中期の大規模な古墳群である史跡久津川古墳群(久津川車塚古墳・丸塚古墳・芭蕉塚古墳・久世小学校古墳)、奈良時代の地方の役所跡である史跡正道官衙遺跡、奈良時代の寺院跡である史跡久世廃寺跡と史跡平川廃寺跡といった6件の国指定史跡をもち、府内でも3番目の数を誇ります。

そのほかにも、水度神社・久世神社・荒見神社といった重要文化財となる本殿を持つ神社や、極楽寺・阿弥陀寺といった重要文化財となる仏像をもつ寺、江戸時代に宿場町として栄えた長池など、多くの歴史資源を有しています。

城陽市南部の青谷地域には、およそ20haの面積を誇る青谷梅林が広がり、毎年2月から3月にかけて梅が咲き誇り、訪れる多くの人々の目を楽しませています。また、京都の自然200選にも選ばれている鴨谷の滝の周辺には、豊かな自然が多く残されています。市の西端には木津川が流れ、堤防は桜づつみとして整備され、河川敷には茶畑が広がり、独特の景観を楽しむことができます。市街地と東部の丘陵地の間に位置する鴻ノ巣山は、桜やツツジなど植物の宝庫となっているほか、緑豊かな自然と小鳥のさえずりが満喫できる市民の憩いと散策の場となっています。さらに、城陽市・井手町・木津川市の3つの市町にまたがり、地域の歴史や自然などの地域資源を結ぶ全長約25kmの散策道である「山背古道」の北の起点となっています。

また、温暖な気候と豊かな土壌、そして良質な水に恵まれた城陽市では、梅、お茶、イチジク、寺田イモ、花しょうぶ、カキツバタ、カラー、ハスなど様々な農産物が栽培され、いずれも市の特産品となっています。そのほか、伝統産業である金銀糸は、全国生産の約60パーセントのシェアを占めています。また、良質な地下水と熟練の技が融合した地酒も全国に誇れるものとして知られています。一方、青色発光ダイオード（LED）を独自に開発し、新たな時代にチャレンジしている先端企業もあります。

3 エコミュージアムとは

エコミュージアムは、1960年代にフランスで生まれた「地域全体を博物館」としてとらえたまちづくりの考え方です。

1960年代後半のフランスは、長年続いてきた中央集権的な制度のために、地方から中央への人口流出が続いて過疎化が進行していたこと、すでに少子化や高齢化の問題が表面化していたこと、地域の環境汚染問題が議論され始めていたことなど、現在の日本と同じように地方から元気が失われていました。これに対して、地方分権を進めて活性化していこうという機運が巻き起こっていたのです。

こういった状況を背景として、地域に残された史跡、建造物、産業遺跡などに注目し、これらを将来にわたって保存すべき「遺産」ととらえ、展示したり、活用したりすることで、その地域全体を屋根のない博物館とすることが提唱されました。

1990年代に入ると、日本でも地方の活性化の動きとともに、エコミュージアムへの関心が高まり、全国で取り組みが展開されるようになっていきました。地方が自信を取り戻し、ふたたび元気になるためには、各地において地域のアイデンティティーすなわち「その土地らしさ」を確認していくことが重要であるという考えが生まれ、それを具体化する実践が始まります。昔ながらの町並みを保存しようという動き、地域の特産品にふたたび光をあて都会

との間に新しい関係を結ぼうという動き、また、地域の伝統を高齢者から若い世代に伝えていこうという動きなどです。

現在、国内の多くの地域で、エコミュージアムにヒントを得た様々なタイプの地域おこしの活動が推進されています。

エコミュージアムは、それぞれの土地ごとの文化・風土に合わせて多様に展開していきましたが、共通して次の3つの重要な機能をもっています。

①地域にある地域資源(遺産)を現地で保存する機能

②地域に密着した博物館としての機能

③住民が主体的に参加する場を保障する機能

城陽市においても、住民が主体的に参加する運営により、地域内にある歴史・自然・産業などの地域資源を現地で保存し、調査・研究、展示、活用等を継続して行うことで、地域を見直し、その活性化や発展を目指すために、エコミュージアムの手法を取り入れることといたしました。

4 エコミュージアムによるまちづくりの目指す姿（基本方針）

エコミュージアムは、城陽市の今後のまちづくりを進めていくための基本的な枠組みとなるものです。

市内各所にある歴史・自然・産業などの地域資源の掘り起こしから始まり、保存、活用へとつなげていくことで、市民ひとりひとりが「城陽市はどういうところなのか」「城陽市にはこんな素晴らしいものがある」ということを再認識し、住んでいることへの誇りと地域に対する愛着をもち、住み続けたいまち、ふるさとに帰ってきたいまちを目指します。

また、市民ひとりひとりが城陽市に誇りをもつことにより、さらに城陽市を良くしていこうとエコミュージアムという枠組みの中で市民自らが地域を活性化していくための取り組みを行っていきけるまちを目指します。取り組みにおいては、城陽の未来を担う子どもが活躍する場の創設についても目指していきます。

さらに、城陽市の魅力を広く市外に発信していくとともに、市民の主体的な参画により地域資源の積極的な活用やイベントの開催などを実施していくことで、市外から多くの人を呼び込むことのできるまちを目指します。

5 城陽市エコミュージアムの仕組み

城陽市エコミュージアムは、住民の主体的な参加により、地域全体を屋外博物館として運営していくため、エコミュージアムの基本的な考え方にに基づき、「コア施設」、「案内施設」、「サテライト」、「ディスカバリートレイル(発見の小径)」という構成要素の組み合わせにより運営していきます。

(1) コア施設

城陽市の様々な地域資源についての掘り起しが進められるにしたがって、地域資源に関する情報や資料を集積する必要があります。そうした、地域資源の情報や資料の収集・保存・活用のための活動を中心に、エコミュージアム全体の円滑な運営を進めていく施設が「コア施設」です。

城陽市では、歴史民俗資料館が、城陽市の歴史に関する展示、エコミュージアムに関する資料・情報の提供や、地域資源の調査研究などのさまざまな活動を行うことで、その役割を果たしていきます。

(2) 案内施設

エコミュージアムに関する情報を、市内各地区において訪れた人に提供する施設が「案内施設」です。以下のような市内の各施設がその役割を果たしていきます。市内6ヶ所のコミュニティセンター、市役所、文化パーク城陽、図書館、ぱれっとJYOYO、観光協会、五里五里市、旬菜市、市民体育館、プラムイン城陽、アイリスイン城陽など

(3) サテライト

エコミュージアムの中(市内)で、現地に保存された展示場として設定される地域資源が「サテライト」です。地域資源の種類ごとに市内の様々なものが該当します。

歴史資源…史跡(芝ヶ原古墳など6件)、神社仏閣(水度神社など重要文化財の本殿3件、極楽寺など重要文化財の仏像2件など)、古民家・土蔵等の建造物、古い橋、石碑 など

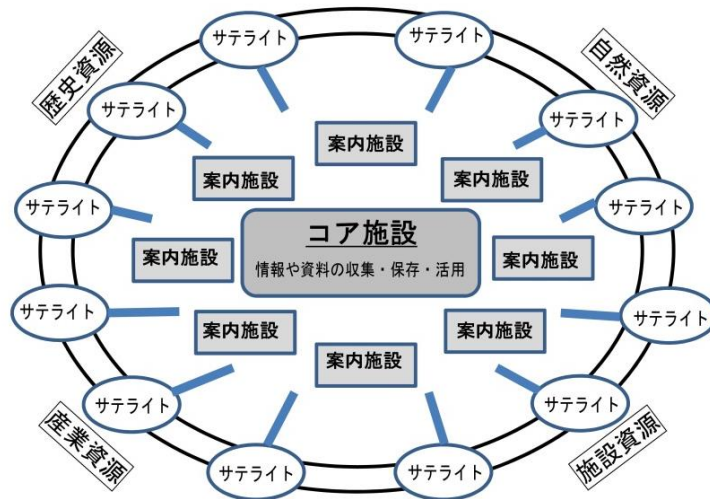
自然資源…名木古木、青谷梅林、鴻ノ巣山、天山、鴨谷の滝、天井川 など

産業資源…茶畑、イモ畑、イチジク畑、酒造会社、金銀糸工場 など

施設資源…文化パーク城陽、総合運動公園、府立木津川運動公園、サンガタウン城陽、五里五里市、旬菜市、軒店 など

(4) ディスカバリートレイル(発見の小径)

サテライト相互をつなぎ、地域の魅力再発見へと導くためのルートが、「ディスカバリートレイル(発見の小径)」です。テーマごとに、「史跡を巡るルート」「自然を巡るルート」「産業を巡るルート」とともに、季節ごとにあるイベントなどを取り入れたルートを設定していきます。



城陽市エコミュージアム概念図

6 城陽市エコミュージアムの展開

城陽市エコミュージアムを構成する地域資源や地域資源を活用したイベントなどは、すでに行政だけでなく様々な市民団体等が所管・運営を行っております。市全体としてエコミュージアムに取り組んでいくためには、行政各部署や各市民団体が連携をとり、城陽市エコミュージアムという枠組みのもと、個々の特色のある事業を展開していく必要があります。具体的な展開として、以下の取り組みについて進めていきます。

(1) 地域資源の掘り起こしとストーリー化

市内各所にある、地域を特徴付ける歴史・自然・産業などに関わる地域資源の掘り起こしを行い、その情報をまとめていきます。

また、それぞれの地域資源について、ゆかりのある歴史上の人物などをモチーフにしたイメージキャラクターを作成するとともに、歴史的背景・自然環境などをもとにしたストーリーとしてまとめて広く示していくことにより、多くの人に分かりやすく親しみがもてるような形でそれぞれの地域資源の魅力を高めていきます。

(2) 地域資源を結ぶルート(ディスカバリートレイル)の設定

掘り起こした地域資源について、その位置や内容をもとにテーマを設定し、散策により地域の魅力を再発見できるルートを組み立てます。例として、以下のようなものが考えられます。

久津川周辺の古墳と古代遺跡を巡るルート
近鉄久津川駅…芭蕉塚古墳…久津川車塚古墳…平川廃寺跡…丸塚古墳…芝ヶ原古墳
…正道官衙遺跡…芝ヶ原古墳群…久世廃寺跡…J R城陽駅

(3) 散策会、体験・探検ツアー等の実施

エコミュージアムの枠組みの中で、行政各部署や各市民団体等が協力し、地域住民や市外からの観光客を対象に、テーマに応じた散策会、体験・探検ツアー等のイベントを実施します。その取り組みの一つとして、例えば子どもボランティアガイドなど、子どもが活躍する場をつくります。イベントの例として、以下のようなものが考えられます。

歴史の散策 … 史跡めぐり、歴史上の人物めぐり
農業体験 … イモ掘り体験、島利兵衛の碑
花しょうぶ見学、花摘み・生け花体験、ハス酒
梅の採り入れ、梅酒漬け体験
茶畑見学、茶摘み体験、抹茶体験、臼ひき、お点前体験
商業体験 … 工場見学
酒造体験
金銀糸工場見学、金銀糸を使ったものづくり体験
自然体験 … 自然めぐり(古川、木津川、鴻ノ巣山、名木古木、動物)
まち歩き … 鐘馗さん、お地蔵さん、蔵などの建物
グルメツアー… 飲食店めぐり、和菓子体験、料理体験(地元産品)

(4) 商品開発

市内業者等との協働により、城陽市の特産物を活かした菓子やパン、料理などを開発し、市内の菓子店・喫茶店・レストラン・居酒屋等で提供していきます。

内容としては、城陽の特産品を使ったものや、城陽をイメージするもの、B級グルメのメニューなどが考えられます。

(5) 市内外へのPR活動

市内の各地域資源や、地域資源を活用した散策会・体験ツアーといった、エコミュージアムに関する様々な情報を、単発的なお知らせではなく有機的なつながりをもたせた戦略的なPR方法により、市内外に広く発信していきます。

PRの手段としては、対象や目的に合わせ、HPや広報紙・ポスター、ソーシャルネットワークなど様々な広報媒体を活用していきます。

7 地方創生に向けた取り組みとの関連

城陽市は、平成 27 年 12 月に「山背五里五里のまち 創生総合戦略」を策定し、人口動向等を踏まえた各種対策の実施により転入拡大、転出抑制を行うとともに出生率の向上を図り、2060 年に人口約 7 万人を確保することを目指すこととしております。

この総合戦略の基本目標の一つとしてあげている「まちの魅力発信！ひとを呼び込むまちづくりの推進」は、地域の魅力に市民が気づき、誇りと愛着をもってもらえるよう、魅力を市内外に向けて発信していくとともに、市外から人を呼び込む仕掛けづくりを進めることを目指すものです。目標実現に向けた施策の一つとして、「市民ボランティア等との協働によるエコミュージアムの開設」を掲げております。

図 書 館

1. 図書館
2. コミセン図書室
3. 利用状況

図 書 館

1. 図書館

沿革

年 月	施 策 項 目
昭 48. 4	市民図書室開設 グループ登録による貸出開始
昭 50. 4	個人貸出開始
12	地域文庫へ貸出開始
昭 55. 10	市民図書室を市立図書館へ改称
昭 62. 4	社団法人丹後視力障害者福祉センターから録音図書を借入・貸出開始
昭 63. 4	録音図書を購入・貸出開始
平元. 4	大活字本の貸出開始
平 7. 9	城陽市図書館協議会発足
11	文化パーク城陽内に新図書館（城陽市立図書館）開館 コンピューターを導入 市内コミュニティセンター図書室とオンラインで結ぶ
平 8. 1	市内コミュニティセンター図書室に物流の宅配便開始
3	図書館報「じょうようとしょかんだより」創刊 新図書館開館記念講演会開催
10	盲人用録音物等の発受開始 対面朗読サービス開始
平 12. 2	雑誌リサイクルデー実施
8	文化パーク城陽開館 5 周年記念特別講演会開催（歴史民俗資料館と共催）
平 15. 10	学校巡回図書貸出開始
平 16. 11	学校おはなしキャラバン（読み聞かせ・ブックトーク等）開始
平 17. 4	図書館登録ボランティア活動開始
9	文化パーク城陽・図書館開館 10 周年記念特別講演会開催
平 18. 4	図書館情報システム本稼動 図書館ホームページ立ち上げ インターネット検索開始
7	学校図書館司書教諭連絡会実施
9	学校における児童生徒のインターネット検索による学校団体貸出開始
平 19. 11	図書館資料所蔵 20 万冊達成 視聴覚資料所蔵 1 万点達成 インターネット予約開始 団体特別貸出開始
平 20. 1	市制 35 周年特別文化講演会開催
平 21. 8	図書館おすすめブックリストの作成・配布開始（3ヶ年計画） 図書館登録ボランティアサークルによる第 1 回「本の広場」フェスティバル開催
平 22. 1	DVD 貸出開始
9	読書ラリー事業開始（小学生対象）
11	開館 15 周年記念事業図書館文化講演会開催
平 23. 4	映像ライブラリー（成人向け事業）開始
9	読書ラリー事業開始（中学生対象）
平 24. 10	雑誌スポンサー制度導入
11	図書館マスコットキャラクター「JOYO アイラブブックちゃん」決定
平 25. 4	雑誌スポンサー制度による雑誌の配架開始 「図書館だより」（年 3 回発行）廃刊、「JOYO としょかん通信」を創刊（毎月発行）
11	市制 40 周年文化講演会開催（歴史民俗資料館との共催事業）
平 26. 4	リサイクル雑誌の月 1 回提供を開始
平 27. 4	「土曜サロン」に替わり「大人のためのおはなし会」を開始
11	開館 20 周年記念文化講演会開催（歴史民俗資料館と共催） 「読書日記」の配布開始
平 28. 4	広報じょうよう「まちの本棚」掲載開始
5	「子育て支援雑誌コーナー」の新設
11	図書館情報システム更新及びホームページリニューアル 学校おはなしキャラバン（読み聞かせ・ブックトーク等）全校実施

施設状況・利用方法

1 施設の状況

(所在地)	城陽市寺田今堀1番地（文化パーク城陽内）
(電話・FAX)	T E L 0774-53-4000 F A X 0774-53-7878
(ホームページアドレス)	https://library.city.joyo.kyoto.jp/
(休館日)	毎週月曜日（祝日の場合は翌日） 毎月最終木曜日（祝日の場合は開館） 祝日の翌日（土・日の場合は平日に振替） 年末年始、特別整理期間
(開館時間)	10時～18時 なお、6月～10月の※平日のみ10時～20時 ※平日：祝日を除く月～金

2 利用方法

(貸出冊数と期間)	図書・雑誌は8冊まで、視聴覚資料は2点まで、貸出期間は2週間
(登録資格)	城陽市内に在住、又は市内に通勤通学する人
(閲覧)	誰でも自由
(予約・リクエスト)	資料貸出中の場合は予約可能。所蔵のない図書・雑誌はリクエスト可能
(全域サービス)	・市内5ヶ所のコミュニティセンター図書室（以下「コミセン図書室」という。）でも図書館と共通の利用券を発行して図書・雑誌を貸出 ・図書館ホームページからインターネット検索・予約が可能

2. コミセン図書室

施設名	所在地	電話番号	開室時間
北部コミセン図書室	平川広田 67	55-1001	10時～17時 (12時～13時は閲覧利用のみ)
南部コミセン図書室	富野東田部 70-1	55-1002	
東部コミセン図書室	寺田正道 152	55-7858	
青谷コミセン図書室	市辺五島 7-1	53-8273	
今池コミセン図書室	枇杷庄知原 15-1	56-0525	

※ 各コミセン図書室とも休室日は、月曜日・祝日・12月29日～1月3日

3. 利用状況

年度別貸出冊数等

人口については、各年10月1日現在

年度	貸出		市民1人 当たり	登録者1 人当たり	一月 平均	蔵書数		図書費 万円	登録 者数 人	人口 人
	冊数 冊	前年比 %	貸出 冊数 冊	貸出 冊数 冊	貸出 冊数 冊	冊数 冊	前年比 %			
昭和 63	295,069	93	3.49	18	24,589	70,395	103	469	17,004	84,487
平成 元	287,682	97	3.38	18	23,974	72,297	103	567	16,434	85,232
2	299,495	104	3.53	17	24,958	86,848	120	691	17,518	84,770
3	289,340	97	3.42	16	24,112	88,576	102	720	18,828	84,501
4	272,686	94	3.22	15	22,724	90,786	103	750	18,182	84,784
5	287,315	105	3.38	16	23,943	92,247	102	790	18,408	85,106
6	289,296	100	3.39	16	24,108	94,600	103	770	17,939	85,265
7	308,340	107	3.60	11	25,695	168,503	178	2,049	28,581	85,523
8	554,373	180	6.48	16	46,198	188,994	112	2,049	34,028	85,503
9	533,379	96	6.25	14	44,448	203,936	108	2,081	37,309	85,286
10	563,665	106	6.61	14	46,972	213,179	105	2,429	40,531	85,233
11	577,484	102	6.81	13	48,124	227,190	107	2,706	43,444	84,826
12	572,309	99	6.79	12	47,692	241,199	106	2,792	45,969	84,347
13	555,261	97	6.62	11	46,272	254,293	105	2,692	48,433	83,916
14	565,173	102	6.77	11	47,098	261,410	103	1,702	50,849	83,443
15	573,354	101	6.89	11	47,780	267,189	102	1,802	53,081	83,206
16	562,702	98	6.82	10	46,892	274,976	103	1,656	54,990	82,518
17	510,423	91	6.25	9	46,402	284,608	104	1,579	56,648	81,641
18	539,009	106	6.64	9	44,917	292,469	103	1,660	58,259	81,213
19	571,975	106	7.08	12	47,665	304,046	104	1,813	47,294	80,780
20	632,363	111	7.85	14	52,697	299,917	99	934	46,293	80,561
21	619,720	98	7.73	14	51,643	295,371	98	899	44,738	80,214
22	604,362	98	7.56	14	50,364	298,944	101	990	43,600	79,994
23	572,371	95	7.20	14	47,698	302,674	101	1,138	41,805	79,508

年度	貸出		市民1人 当たり	登録者1 人当たり	一月 平均	蔵書数		図書費 万円	登録 者数 人	人口 人
	冊数 冊	前年比 %	貸出 冊数 冊	貸出 冊数 冊	貸出 冊数 冊	冊数 冊	前年比 %			
24	450,045	79	5.70	11	37,504	301,484	100	1,132	40,444	78,888
25	493,493	110	6.30	13	41,125	303,060	101	991	38,607	78,322
26	470,708	95	6.04	13	39,226	307,044	101	1,029	37,555	77,878
27	471,888	100	6.14	13	39,324	304,423	99	1,018	37,685	76,869
28	452,806	96	5.94	12	37,734	303,420	99	1,047	36,865	76,263

(注)

- ・7年度：図書館は4月～10月、コミセンは各2ヵ月～5ヵ月の間、開館準備及び蔵書整理により休館
- ・7年度～：貸出冊数及び蔵書冊数には視聴覚資料等の点数を含む
- ・17年度：図書館情報システム更新及び蔵書点検に伴い2月休館
- ・19年度～：登録者数（未利用者）を整理
- ・24年度：集中豪雨により図書館臨時休館（8月14日～11月30日）

分類別貸出冊数

(平成 27 年度)

分類	図 書 館		北部コミセン		南部コミセン		東部コミセン		青谷コミセン		今池コミセン		小 計		合 計
	成人書	児童書	成人書	児童書	成人書	児童書	成人書	児童書	成人書	児童書	成人書	児童書	成人書	児童書	
総記	2,178	320	136	23	76	43	340	97	40	7	66	20	2,836	510	3,346
哲学	6,213	1,066	998	85	365	104	966	162	256	97	134	81	8,932	1,595	10,527
歴史	14,157	3,246	893	393	1,000	331	1,453	1,013	447	274	197	246	18,147	5,503	23,650
社会科学	10,608	1,271	954	106	548	72	1,183	112	472	105	204	42	13,969	1,708	15,677
自然科学	10,268	4,253	1,099	563	512	577	1,424	846	367	403	201	158	13,871	6,800	20,671
技術	16,080	3,161	2,817	188	2,267	216	3,787	382	1,305	119	828	108	27,084	4,174	31,258
産業	3,473	1,173	313	34	245	47	449	96	126	50	69	26	4,675	1,426	6,101
芸術	10,451	4,031	2,686	592	1,326	1,650	1,886	728	1,045	302	787	398	18,181	7,701	25,882
言語	2,919	604	160	151	179	40	245	86	147	32	24	19	3,674	932	4,606
文学	74,230	27,152	19,142	2,982	12,028	2,912	19,082	4,648	5,346	1,977	7,519	2,169	137,347	41,840	179,187
行政郷土	224	0	8	0	29	0	24	0	23	0	4	0	312	0	312
姉妹都市(米)	205	10	0	0	0	0	5	0	1	0	0	0	211	10	221
姉妹都市(韓)	292	3	1	0	0	0	1	0	8	0	0	0	302	3	305
大活字本	2,250	0	9	0	5	0	6	0	1	0	97	0	2,368	0	2,368
洋書	1	384	0	1	0	0	0	14	0	0	0	0	1	399	400
絵本	0	42,167	0	6,854	0	6,025	0	13,503	0	4,297	0	3,352	0	76,198	76,198
紙芝居j	0	1,994	0	159	0	194	0	275	0	112	0	70	0	2,804	2,804
点字	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	5
計	153,554	90,835	29,216	12,131	18,580	12,211	30,851	21,962	9,584	7,775	10,130	6,689	251,915	151,603	403,518
雑誌	20,420	1,317	1,324	152	1,387	36	1,735	175	919	215	1,094	235	26,879	2,130	29,009
視聴覚資料	39,361	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	39,361	0	39,361
小計	213,335	92,152	30,540	12,283	19,967	12,247	32,586	22,137	10,503	7,990	11,224	6,924	318,155	153,733	471,888
合計	305,487		42,823		32,214		54,723		18,493		18,148		471,888		471,888

分類別貸出冊数

(平成 28 年度)

分類	図書館		北部コミセン		南部コミセン		東部コミセン		青谷コミセン		今池コミセン		小計		合計
	成人書	児童書	成人書	児童書	成人書	児童書	成人書	児童書	成人書	児童書	成人書	児童書	成人書	児童書	
総記	1,759	393	98	18	78	40	382	90	53	9	60	63	2,430	613	3,043
哲学	5,528	921	964	55	375	140	1,004	153	255	90	138	114	8,264	1,473	9,737
歴史	12,649	3,851	816	478	666	619	1,324	1,477	495	338	170	265	16,120	7,028	23,148
社会科学	9,245	1,246	927	116	596	98	1,120	129	415	112	206	83	12,509	1,784	14,293
自然科学	9,053	4,679	868	593	568	777	1,545	935	343	313	234	260	12,611	7,557	20,168
技術	14,648	3,076	2,878	182	2,361	217	3,701	326	1,242	98	813	148	25,643	4,047	29,690
産業	2,902	1,160	294	32	253	70	401	75	131	52	82	43	4,063	1,432	5,495
芸術	8,961	3,799	2,403	556	1,200	1,523	1,868	771	771	266	870	358	16,073	7,273	23,346
言語	2,439	742	167	111	90	39	198	58	84	25	22	24	3,000	999	3,999
文学	70,296	26,414	19,399	2,764	11,997	3,075	17,661	4,201	5,335	1,889	6,472	2,388	131,160	40,731	171,891
行政郷土	209	0	9	0	28	0	19	0	30	0	3	0	298	0	298
姉妹都市(米)	202	4	0	0	1	0	2	0	0	0	1	0	206	4	210
姉妹都市(韓)	219	11	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	221	11	232
大活字本	1,969	0	11	0	10	0	4	0	0	0	109	0	2,103	0	2,103
洋書	2	546	0	0	0	11	0	12	0	4	0	0	2	573	575
絵本	0	43,346	0	7,149	0	6,859	0	12,311	0	4,335	0	3,065	0	77,065	77,065
紙芝居j	0	2,030	0	148	0	144	0	218	0	113	0	119	0	2,772	2,772
点字	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	6
計	140,087	92,218	28,836	12,202	18,223	13,612	29,229	20,756	9,154	7,644	9,180	6,930	234,709	153,362	388,071
雑誌	20,229	1,625	1,445	207	1,476	59	1,601	146	858	186	1,046	264	26,655	2,487	29,142
視聴覚資料	35,593	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	35,593	0	35,593
小計	195,909	93,843	30,281	12,409	19,699	13,671	30,830	20,902	10,012	7,830	10,226	7,194	296,957	155,849	452,806
合計	289,752		42,690		33,370		51,732		17,842		17,420		452,806		452,806

資 料

その他の教育関係施設



その他の教育関係施設

京都府立高等学校 等

学 校 名	学 校 長	住 所	電 話
城陽高等学校	國府 功	城陽市寺田宮ノ平 1	52-6811
西城陽高等学校	稲川 孝幸	城陽市枇杷庄京繩手 46-1	53-5455
城陽支援学校	竹尾 章彦	城陽市中芦原 1-4	53-7100

私立幼稚園

幼 稚 園 名	園 長	住 所	電 話
京都文教短期大学附属家政城陽幼稚園	内山 真澄	城陽市久世下大谷 6	52-1542
平川幼稚園	北澤 善信	城陽市平川大將軍 77-3	53-1288
白鳥幼稚園	岡村 倫子	城陽市寺田水度坂 15-105	54-2800
佐伯幼稚園	浅井 達司	城陽市寺田今橋 68	52-3669
青谷聖家族幼稚園	畑中 美智子	城陽市中向河原 11	53-9303
芽生え幼稚園	西岡 京子	城陽市寺田大谷 126-2	54-1288